

**子供の生活実態調査結果**  
**(尾道市分)**

**令和6年12月**  
**尾道市**



# 目次

I 調査の概要 .....	1
1 調査概要 .....	1
2 回収結果 .....	1
3 調査結果の見方 .....	1
II 保護者票調査結果 .....	2
1 属性 .....	2
2 暮らしの状況 .....	4
(1) 世帯収入 .....	4
(2) 現在の暮らしの状況 .....	7
(3) 食料における経済的状況 .....	9
(4) 衣服における経済的状況 .....	10
(5) 公共料金が経済的な理由で未払いになった経験 .....	11
3 親の状況 .....	13
(1) 婚姻状況 .....	13
(2) 日本語以外の言語の使用状況 .....	15
(3) 修了課程 .....	16
(4) 就労状況 .....	17
4 利用した教育・保育施設等 .....	20
(1) 0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等 .....	20
(2) 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等 .....	22
5 子供との関わり方 .....	23
(1) 子供との関わり方 .....	23
(2) 子供の行事への参加状況 .....	25
6 子供の将来の進学展望 .....	28
7 頼れる人の有無 .....	34
8 保護者の心理的な状態 .....	40
9 生活における満足度 .....	43
10 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大後の変化 .....	45
11 支援制度の利用状況 .....	48
12 子供に関する取組で力を入れてほしいこと .....	60
III 子供票調査結果 .....	63
1 属性 .....	63
2 学習状況 .....	64

(1) 授業以外での勉強状況.....	64
(2) クラス内での成績の順位 .....	74
(3) 授業の理解度 .....	76
(4) 希望する進学先 .....	80
3 地域のクラブや学校の部活動への参加状況 .....	88
4 生活習慣.....	93
(1) 食事習慣.....	93
(2) 睡眠習慣 .....	94
5 悩みや困りごと .....	95
6 生活における満足度.....	97
7 子供の心理的な状態 .....	99
(1) 情緒(不安や抑うつなど)の問題.....	102
(2) 仲間関係の問題.....	104
(3) 向社会性の問題.....	106
8 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大後の変化.....	108
9 逆境体験.....	114
10 子供の居場所.....	116
11 家族の世話の状況.....	118
(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度.....	118
(2) 自身の「ヤングケアラー」への該当状況.....	119
(3) 家族の中での世話が必要な人の有無.....	120
12 子供に関する取組で力を入れてほしいこと .....	121

# I 調査の概要

## 1 調査概要

広島県が、子供の生活実態を把握するために令和5（2023）年に実施した「広島県子供の生活に関する実態調査」の尾道市分のデータを集計した。

調査対象	①尾道市内の小学5年生の子供とその保護者 ②尾道市内の中学2年生の子供とその保護者
抽出方法	各小学校・中学校にて原則として各1組を抽出
調査方法	学校を通じて配布・回収（インターネット回答も可）
調査期間	令和5（2023）年6月～7月

## 2 回収結果

		有効回収数(票)
全体	保護者	821 票
	子供	812 票
小学5年生	保護者	458 票
	子供	457 票
中学2年生	保護者	363 票
	子供	355 票

## 3 調査結果の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

## Ⅱ 保護者票調査結果

### 1 属性

#### (1) 子供との関係

	回答数	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全体	821	751	59	4	3	4
	100.0%	91.5%	7.2%	0.5%	0.4%	0.5%
小学5年生保護者	458	424	30	3	1	-
	100.0%	92.6%	6.6%	0.7%	0.2%	-
中学2年生保護者	363	327	29	1	2	4
	100.0%	90.1%	8.0%	0.3%	0.6%	1.1%

#### (2) 家族の人数

	回答数	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	821	20	95	350	356	-
	100.0%	2.4%	11.6%	42.6%	43.3%	-
小学5年生保護者	458	9	53	187	209	-
	100.0%	2.0%	11.6%	40.8%	45.5%	-
中学2年生保護者	363	11	42	163	147	-
	100.0%	3.0%	11.6%	44.9%	40.4%	-

#### (3) 世帯構成

	回答数	ふたり親世帯	母子世帯	父子世帯	その他	無回答
全体	821	707	93	10	3	8
	100.0%	86.1%	11.3%	1.2%	0.4%	1.0%
小学5年生保護者	458	392	53	6	3	4
	100.0%	85.6%	11.6%	1.3%	0.6%	0.9%
中学2年生保護者	363	315	40	4	-	4
	100.0%	86.8%	11.0%	1.1%	-	1.1%

#### (4) 母親の年齢

	回答数	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
全体	821 100.0%	238 29.0%	484 59.0%	67 8.2%	— —	32 3.9%
小学5年生保護者	458 100.0%	168 36.7%	248 54.1%	23 5.0%	— —	19 4.1%
中学2年生保護者	363 100.0%	70 19.3%	236 65.0%	44 12.1%	— —	13 3.6%

#### (5) 父親の年齢

	回答数	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
全体	821 100.0%	183 22.3%	414 50.4%	115 14.0%	6 0.7%	103 12.5%
小学5年生保護者	458 100.0%	138 30.1%	211 46.1%	45 9.8%	2 0.4%	62 13.5%
中学2年生保護者	363 100.0%	45 12.4%	203 55.9%	70 19.3%	4 1.1%	41 11.3%

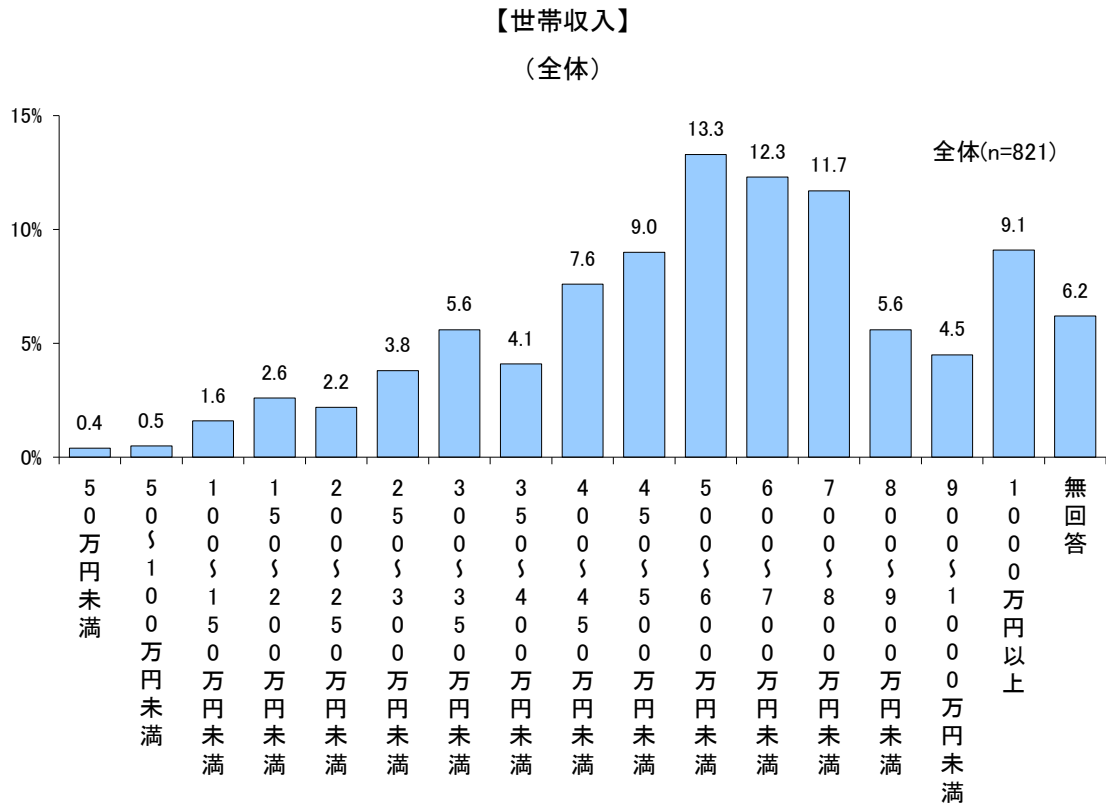
#### (6) 単身赴任の状況

	回答数	お子さんの 母親が単 身赴任中	お子さんの 父親が単 身赴任中	その他	単身赴任 中の者は いない	無回答
全体	821 100.0%	2 0.2%	43 5.2%	14 1.7%	747 91.0%	16 1.9%
小学5年生保護者	458 100.0%	— —	24 5.2%	7 1.5%	420 91.7%	7 1.5%
中学2年生保護者	363 100.0%	2 0.6%	19 5.2%	7 1.9%	327 90.1%	9 2.5%

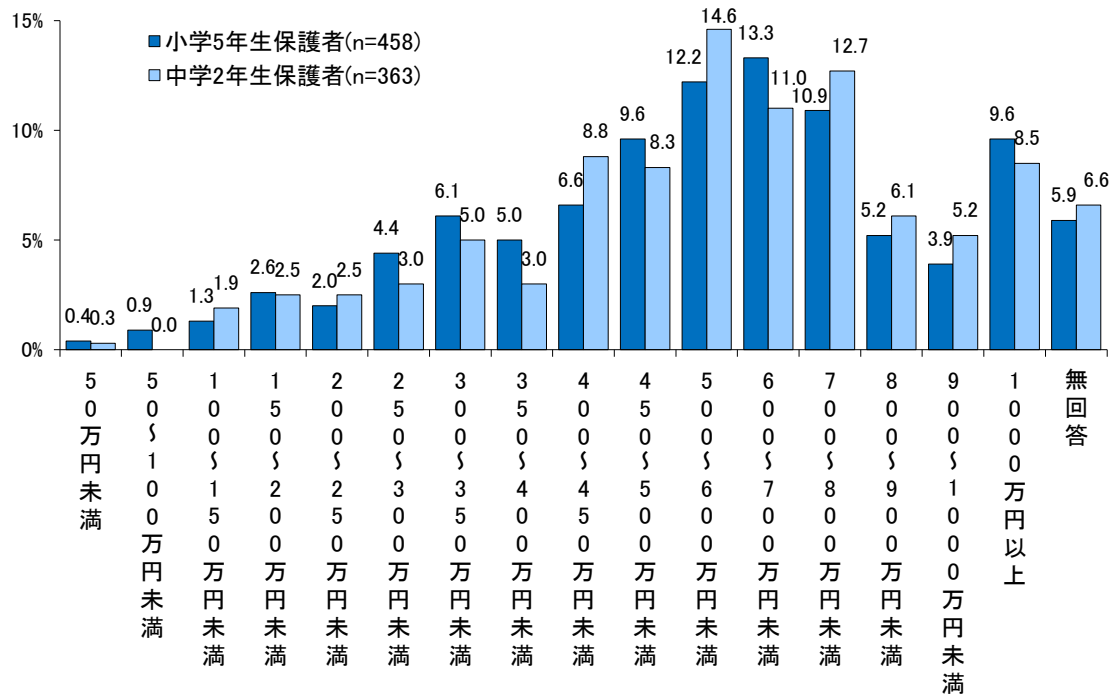
## 2 暮らしの状況

### (1) 世帯収入

問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）



(小学5年生保護者・中学2年生保護者)



世帯収入について、「500～600万円未満」と回答した割合が全体で13.3%、小学5年生保護者で12.2%、中学2年生保護者で14.6%となっている。

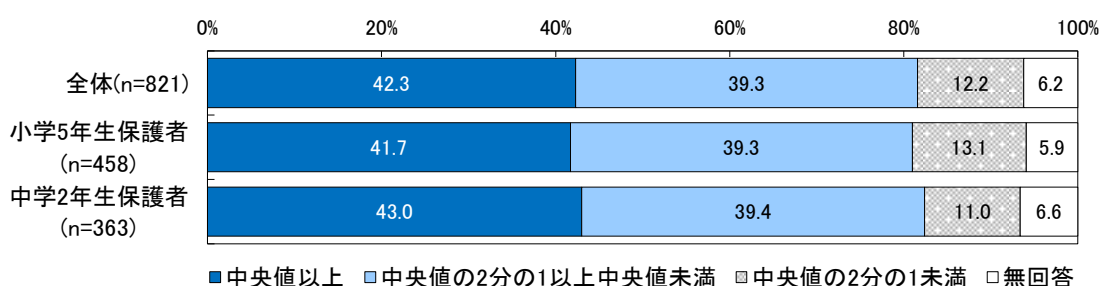


本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。
- 上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

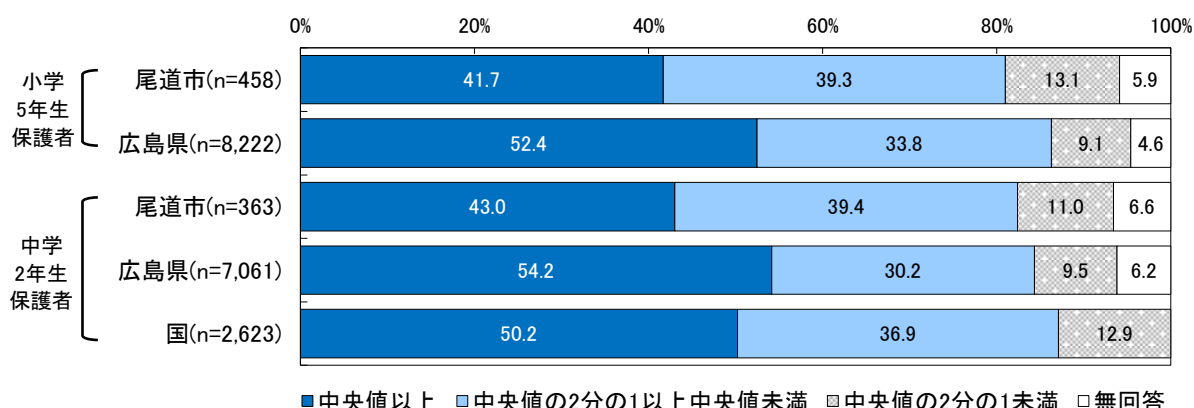
広島県の報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行っている。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行っている。

【等価世帯収入の水準】



等価世帯収入の水準について、「中央値以上」に該当する割合が全体で42.3%、小学5年生保護者で41.7%、中学2年生保護者で43.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する割合が全体で39.3%、小学5年生保護者で39.3%、中学2年生保護者で39.4%、「中央値の2分の1未満」に該当する割合が全体で12.2%、小学5年生保護者で13.1%、中学2年生保護者で11.0%となっている。

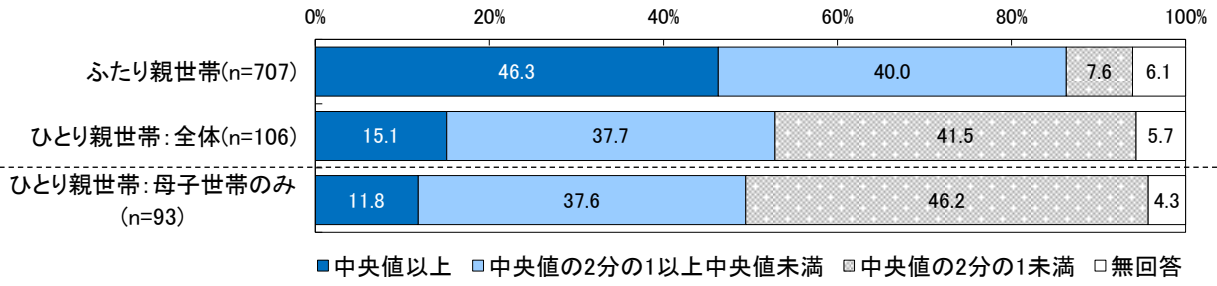
【等価世帯収入の水準（広島県・国との比較）】



広島県・国と比較すると、小学5年生保護者では、「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、尾道市（13.1%）が広島県（9.1%）を4.0ポイント上回っている。

中学2年生保護者では、「中央値の2分の1未満」に該当する割合に特徴的な差はみられない。

【等価世帯収入の水準（世帯構成別）】



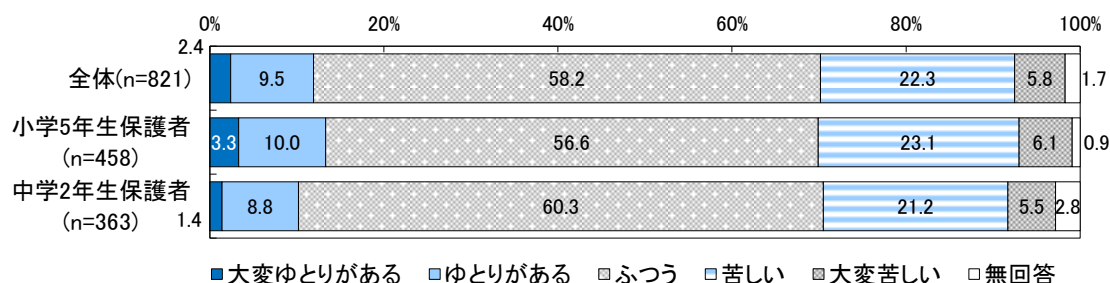
世帯構成別にみると、「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ふたり親世帯」で7.6%、「ひとり親世帯」で41.5%、「母子世帯のみ」で46.2%となっている。

## (2) 現在の暮らしの状況

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

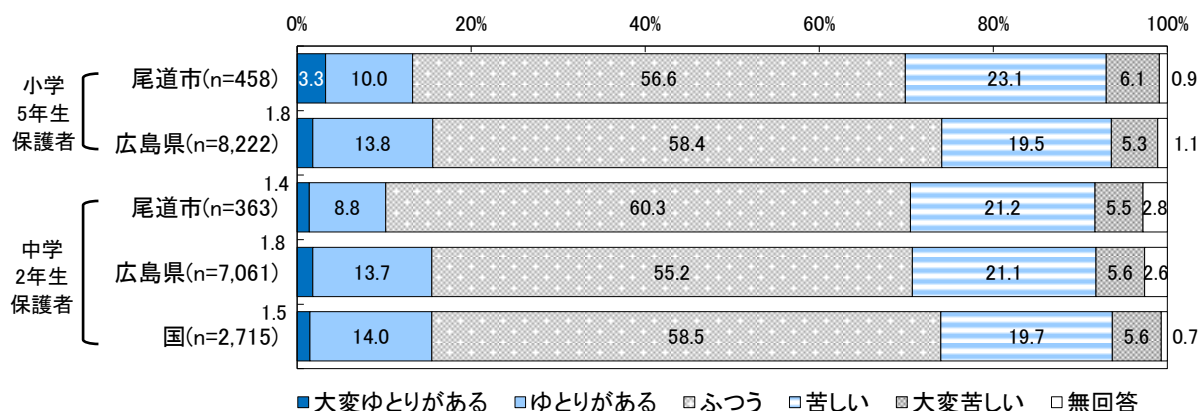
(あてはまるもの1つに○)

【現在の暮らしの状況】



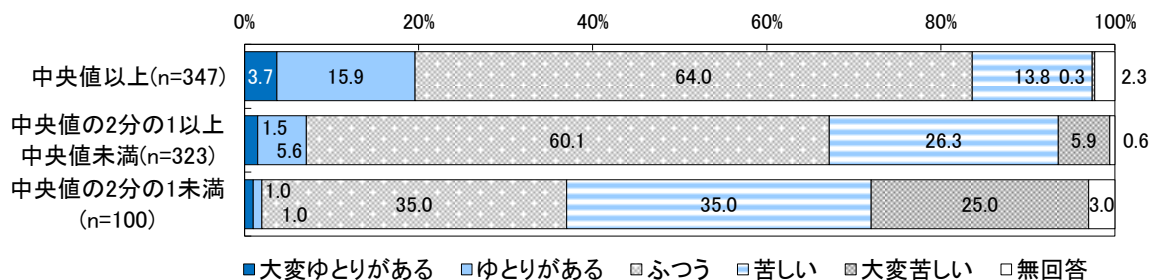
現在の暮らしの状況について、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」+「ゆとりがある」）と回答した割合が全体で11.9%、小学5年生保護者で13.3%、中学2年生保護者で10.2%、『苦しい』（「大変苦しい」+「苦しい」）と回答した割合が全体で28.1%、小学5年生保護者で29.2%、中学2年生保護者で26.7%となっている。

【現在の暮らしの状況（広島県・国との比較）】



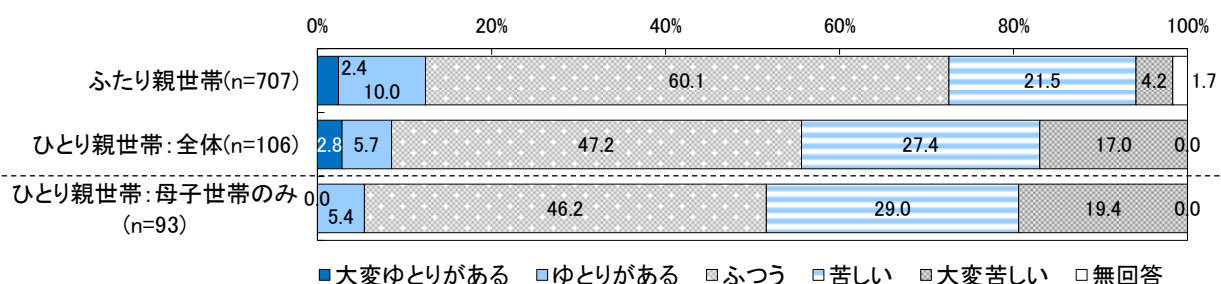
広島県・国と比較すると、小学5年生保護者では、大きな差はみられない。中学2年生保護者では、『ゆとりがある』と回答した割合は、尾道市（10.2%）が広島県（15.5%）、国（15.5%）を5.3ポイント下回っている。

【現在の暮らしの状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』と回答した割合は、「中央値以上」で14.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で32.2%、「中央値の2分の1未満」で60.0%となっている。

【現在の暮らしの状況（世帯構成別）】

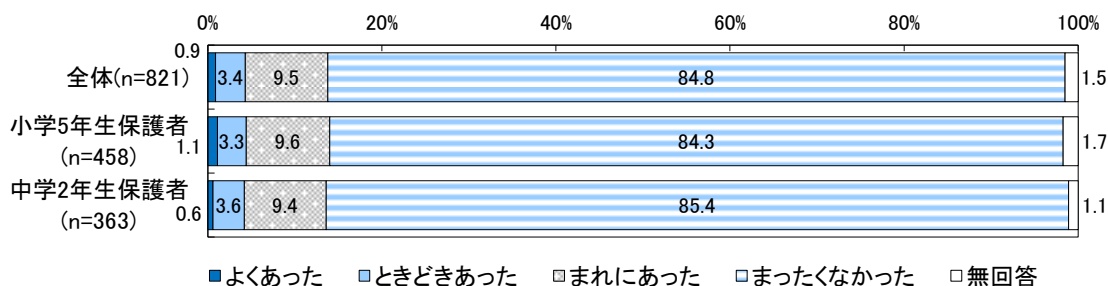


世帯構成別にみると、『苦しい』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で25.7%、「ひとり親世帯」で44.4%、「母子世帯のみ」で48.4%となっている。

### (3) 食料における経済的状況

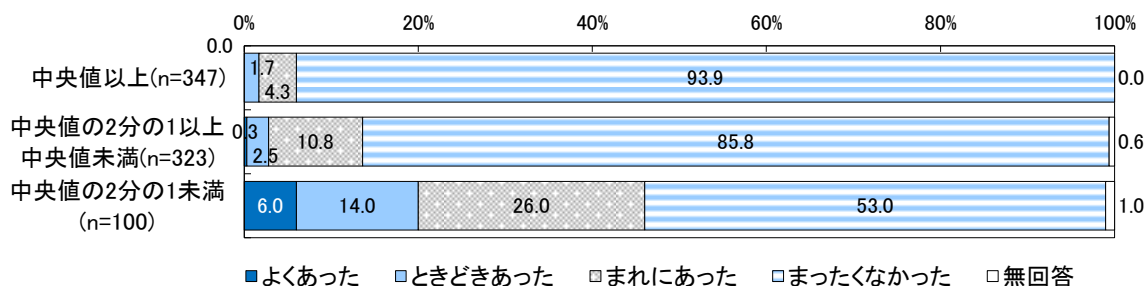
問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

【食料における経済的状況】



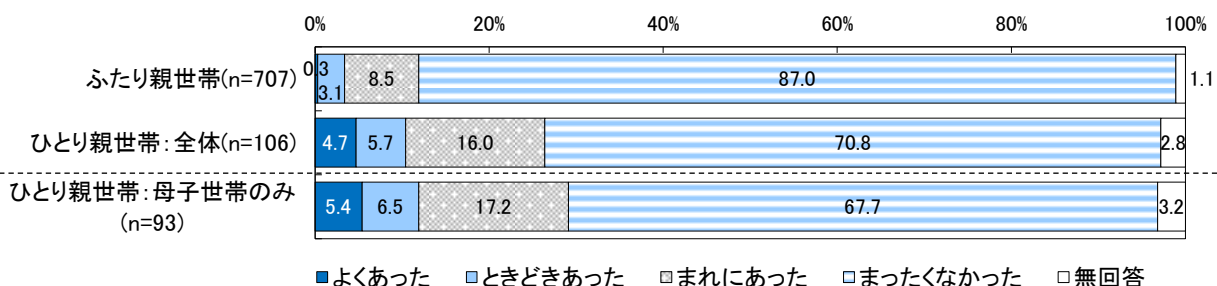
食料における経済状況について、『あった』（「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」）と回答した割合が全体で 13.8%、小学5年生保護者で 14.0%、中学2年生保護者で 13.6%となっている。

【食料における経済的状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』と回答した割合は、「中央値以上」で 6.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で 13.6%、「中央値の2分の1未満」で 46.0%となっている。

【食料における経済的状況（世帯構成別）】

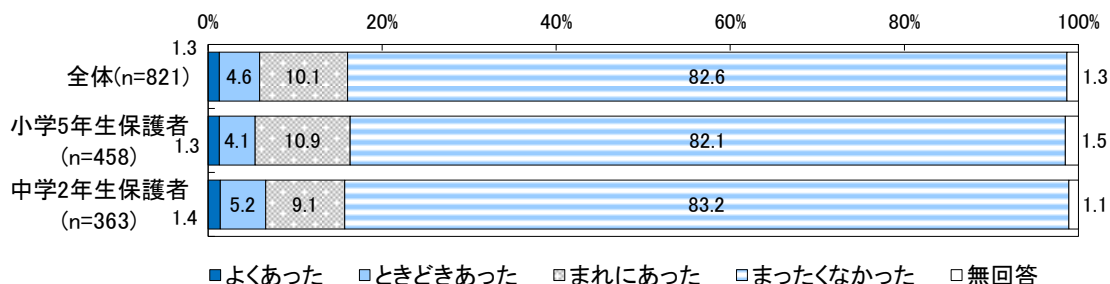


世帯構成別にみると、『あった』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で 11.9%、「ひとり親世帯」で 26.4%、「母子世帯のみ」で 29.1%となっている。

#### (4) 衣服における経済的状況

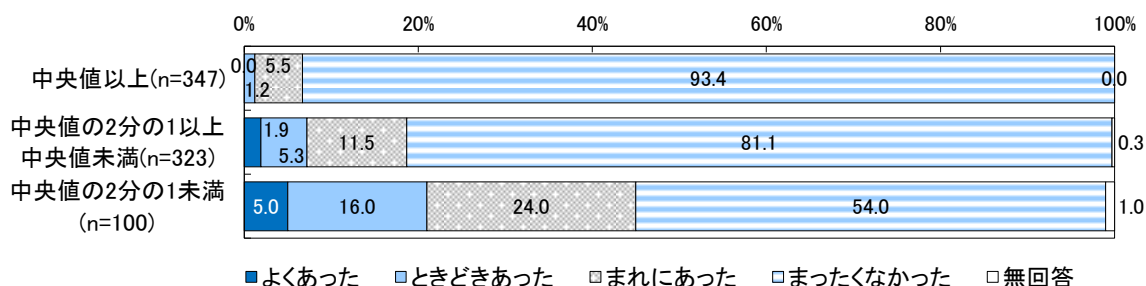
問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。  
(あてはまるもの1つに○)

【衣服における経済的状況】



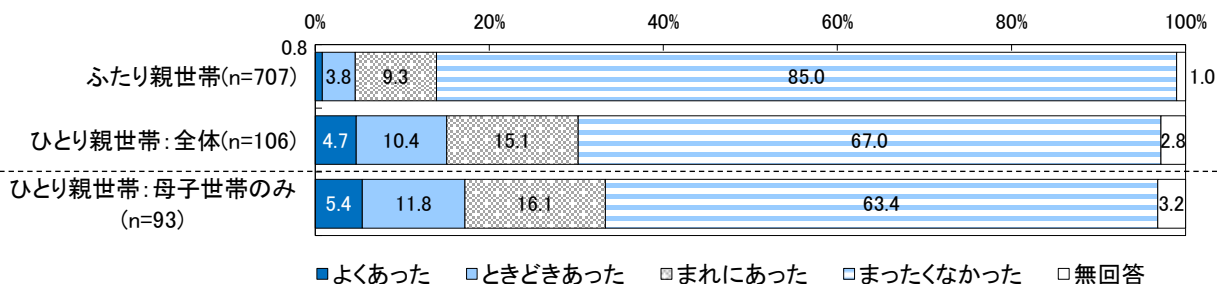
衣服における経済状況について、『あった』（「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」）と回答した割合が全体で 16.0%、小学5年生保護者で 16.3%、中学2年生保護者で 15.7%となっている。

【衣服における経済的状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』と回答した割合は、「中央値以上」で 6.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で 18.7%、「中央値の2分の1未満」で 45.0%となっている。

【衣服における経済的状況（世帯構成別）】

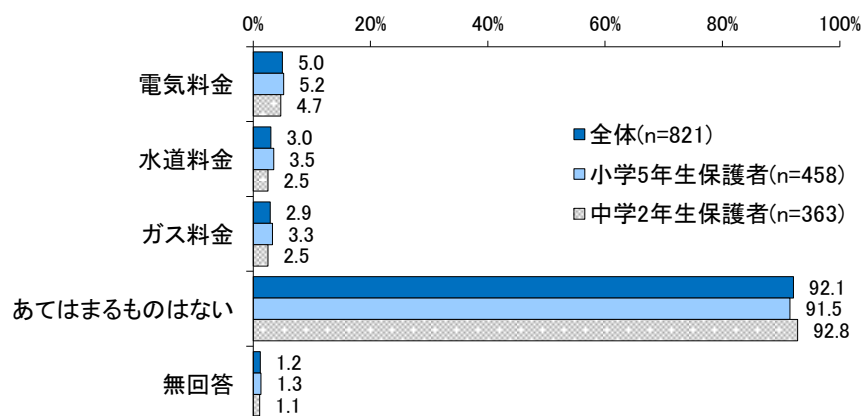


世帯構成別にみると、『あった』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で 13.9%、「ひとり親世帯」で 30.2%、「母子世帯のみ」で 33.3%となっている。

## (5) 公共料金が経済的な理由で未払いになった経験

問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

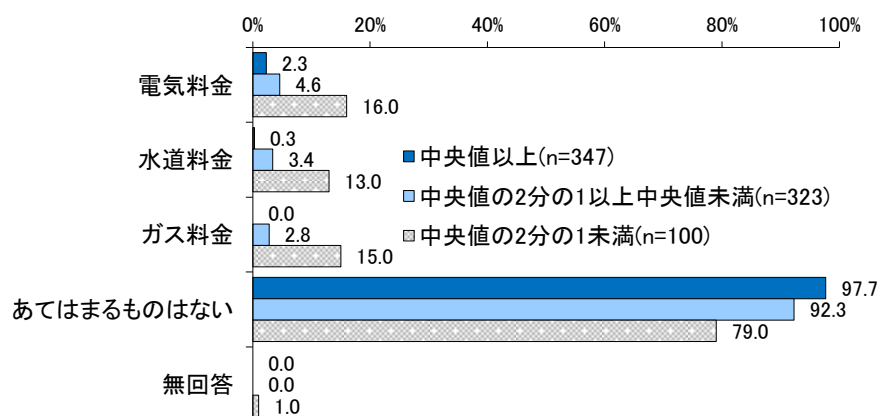
【公共料金が経済的な理由で未払いになった経験】



公共料金が経済的な理由で未払いになった経験について、「電気料金」、「水道料金」、「ガス料金」のいずれか1つ以上回答した割合は、全体で6.7%、小学5年生保護者で7.2%、中学2年生保護者で6.1%となっている。

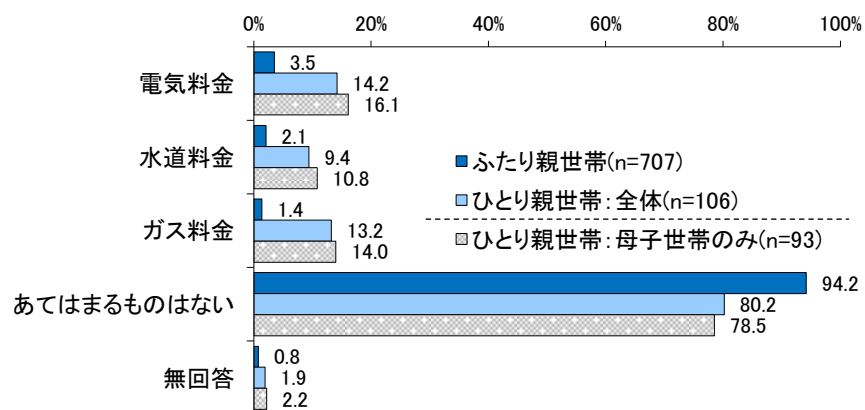
また、「あてはまるものはない」と回答した割合が全体で92.1%、小学5年生保護者で91.5%、中学2年生保護者で92.8%となっている。

【公共料金が経済的な理由で未払いになった経験（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「電気料金」、「水道料金」、「ガス料金」のいずれか1つ以上回答した割合は、「中央値以上」で2.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で7.7%、「中央値の2分の1未満」で20.0%となっている。

【公共料金が経済的な理由で未払いになった経験（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「電気料金」、「水道料金」、「ガス料金」のいずれか1つ以上回答した割合は、「ふたり親世帯」で5.0%、「ひとり親世帯」で17.9%、「母子世帯のみ」で19.3%となっている。

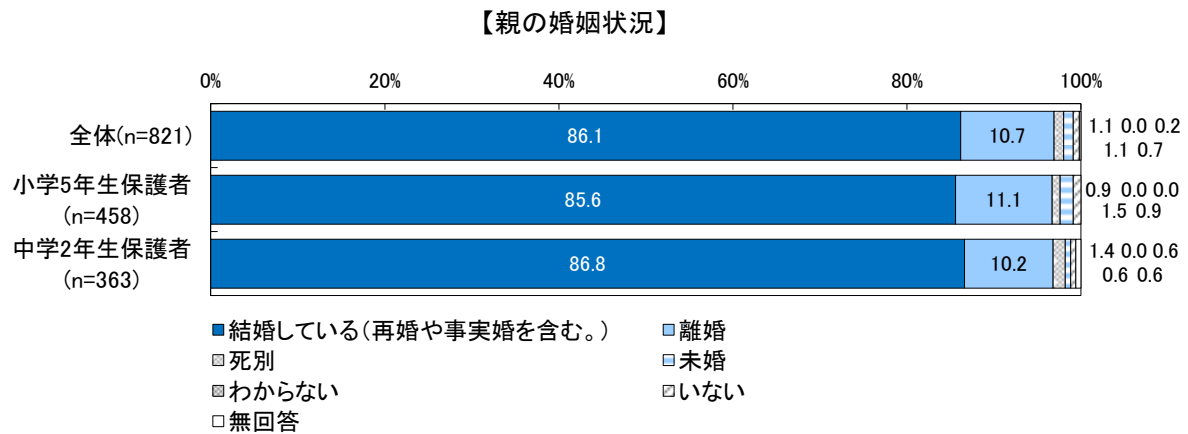


### 3 親の状況

#### (1) 婚姻状況

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

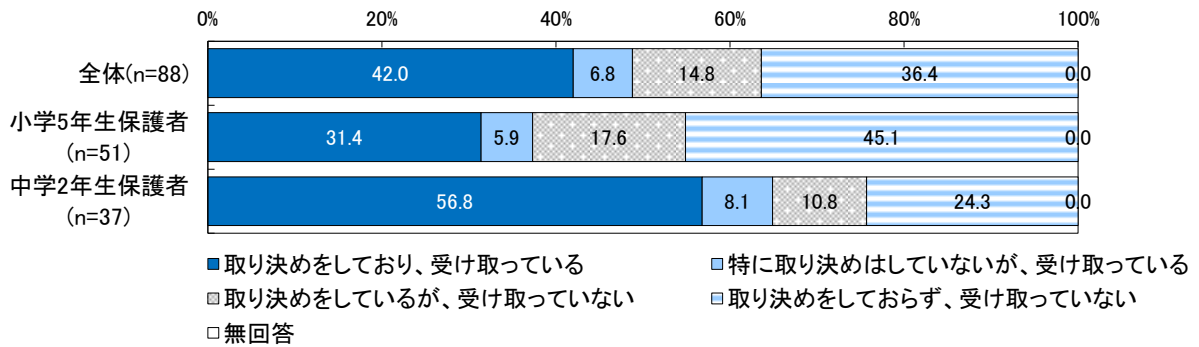


親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」と回答した割合が全体で86.1%、小学5年生保護者で85.6%、中学2年生保護者で86.8%、『結婚していない』（離婚（別居中を含む。）+「死別」+「未婚」）と回答した割合が全体で12.9%、小学5年生保護者で13.5%、中学2年生保護者で12.2%となっている。

問6で「2 離婚」と回答した人のみ回答

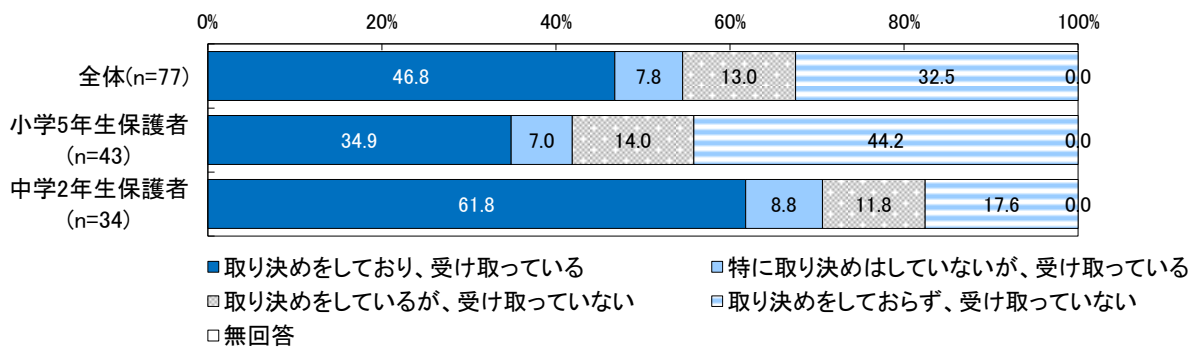
問7 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

【養育費の取り決め状況】



養育費の取り決め状況について、「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合が全体で42.0%、小学5年生保護者で31.4%、中学2年生保護者で56.8%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合が全体で36.4%、小学5年生保護者で45.1%、中学2年生保護者で24.3%となっている。

【養育費の取り決め状況（母子世帯のみ）】



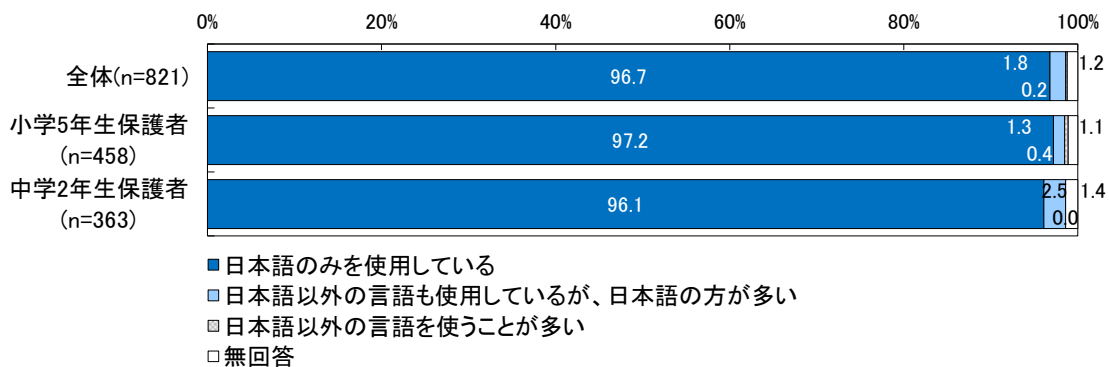
「母子世帯のみ」では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合が全体で32.5%、小学5年生保護者で44.2%、中学2年生保護者で17.6%となっている。

## (2) 日本語以外の言語の使用状況

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

(あてはまるもの1つに○)

【日本語以外の言語の使用状況】



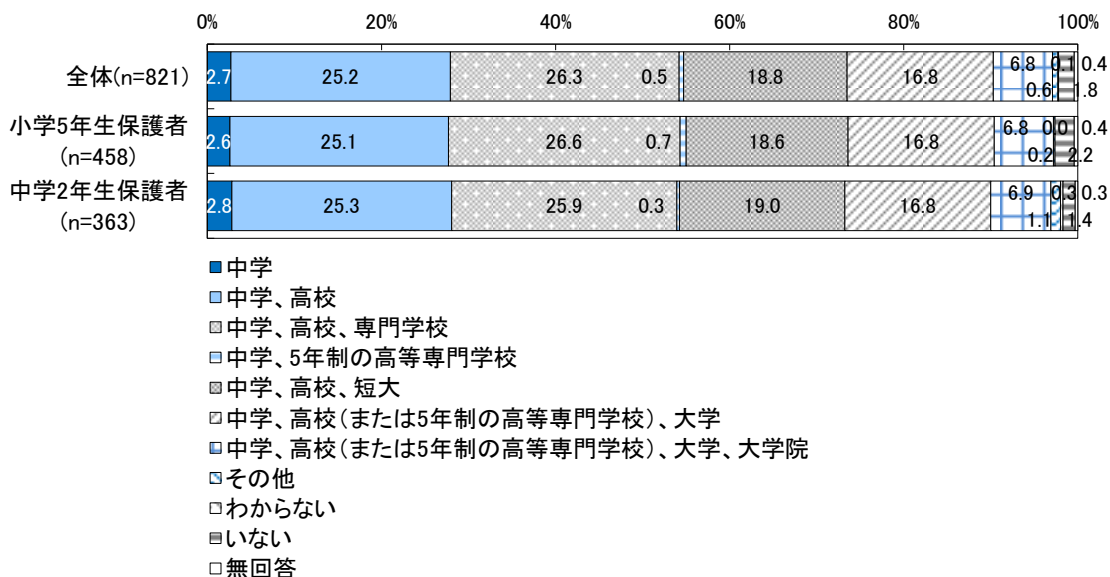
日本語以外の言語の使用状況について、「日本語のみを使用している」と回答した割合が全体で96.7%、小学5年生保護者で97.2%、中学2年生保護者で96.1%となっている。

### (3) 修了課程

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

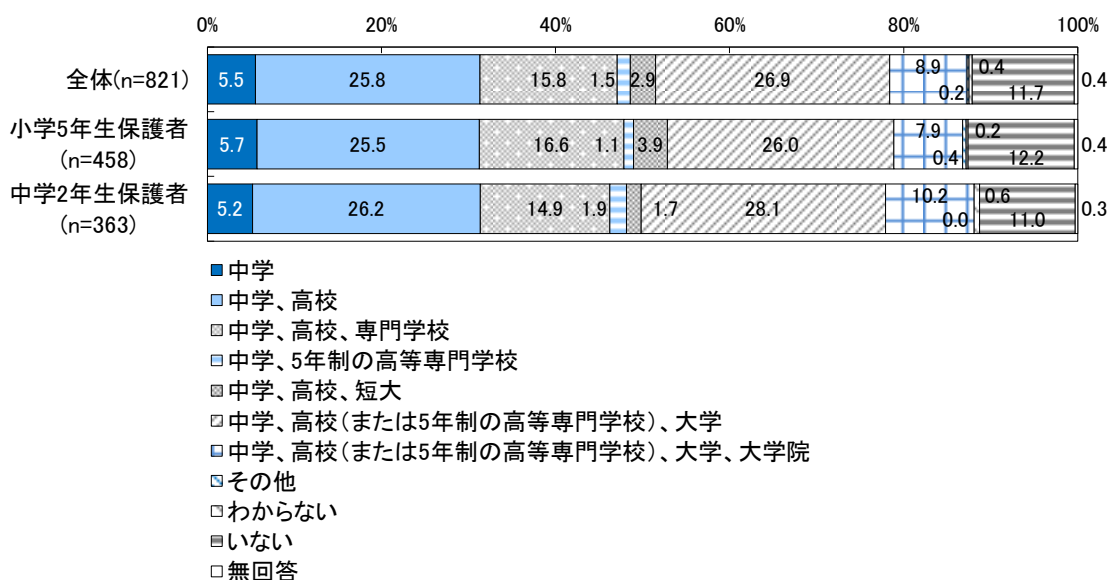
(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【母親の修了課程】



母親の修了課程について、「大学以上」に該当する割合が全体で 23.6%、小学5年生保護者で 23.6%、中学2年生保護者で 23.7%となっている。

【父親の修了課程】



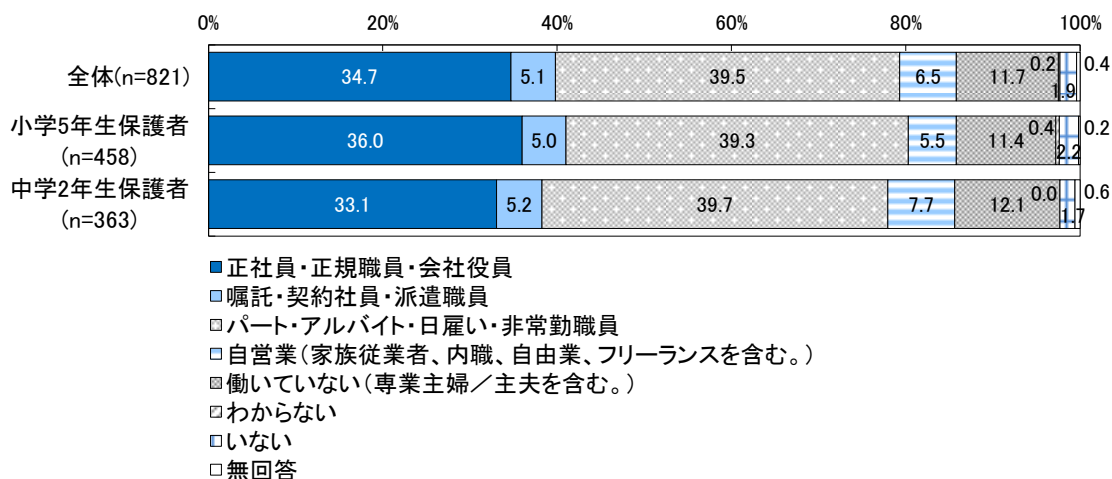
父親の修了課程について、「大学以上」に該当する割合が全体で 35.8%、小学5年生保護者で 33.9%、中学2年生保護者で 38.3%となっている。

#### (4) 就労状況

問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

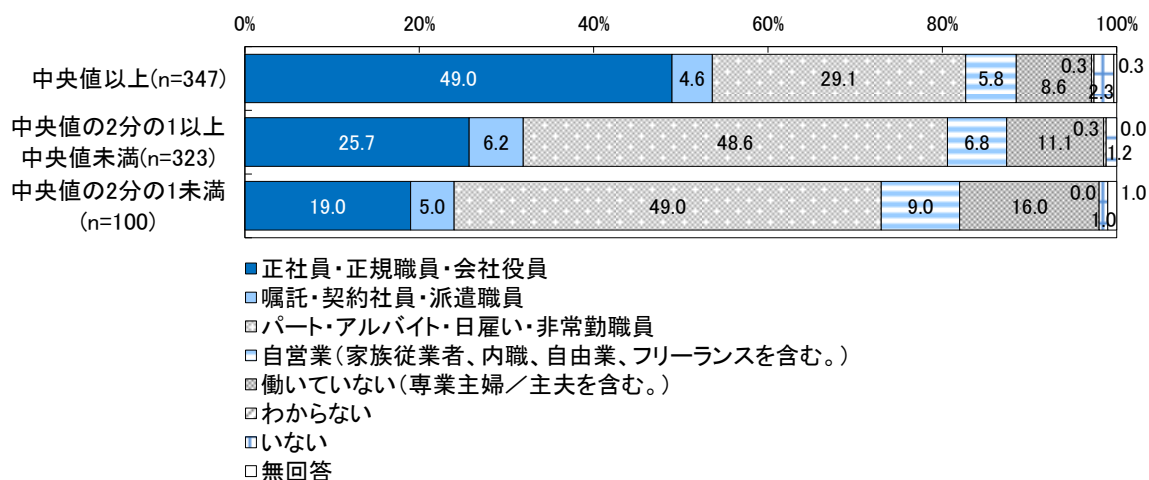
(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【母親の就労状況】



母親の就労状況について、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合が全体で34.7%、小学5年生保護者で36.0%、中学2年生保護者で33.1%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」と回答した割合が全体で39.5%、小学5年生保護者で39.3%、中学2年生保護者で39.7%となっている。

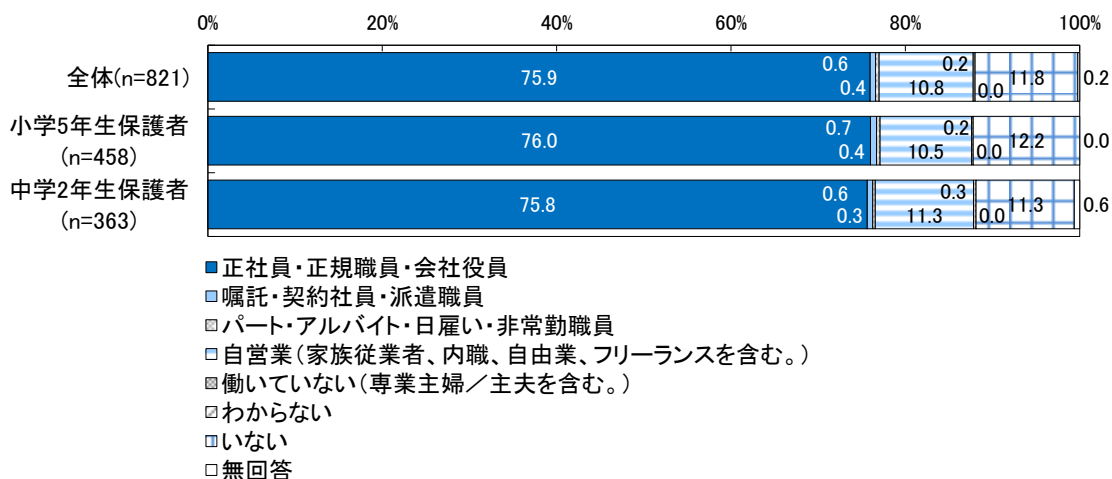
【母親の就労状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合は、「中央値以上」で49.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で25.7%、「中央値の2分の1未満」で19.0%となっている。

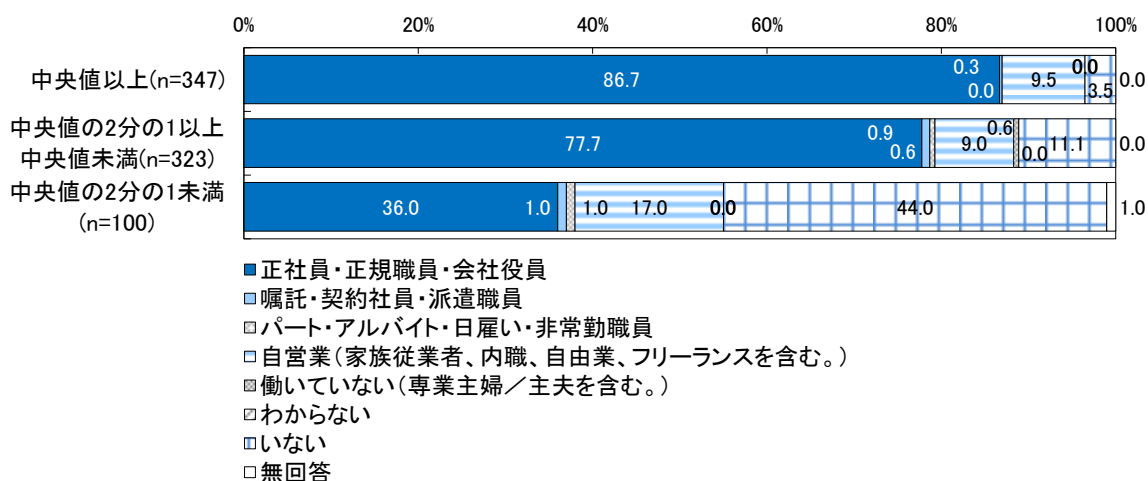
また、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」と回答した割合は、「中央値以上」で29.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で48.6%、「中央値の2分の1未満」で49.0%となっている。

### 【父親の就労状況】



父親の就労状況について、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合が全体で75.9%、小学5年生保護者で76.0%、中学2年生保護者で75.8%となっている。

### 【父親の就労状況（等価世帯収入の水準別）】



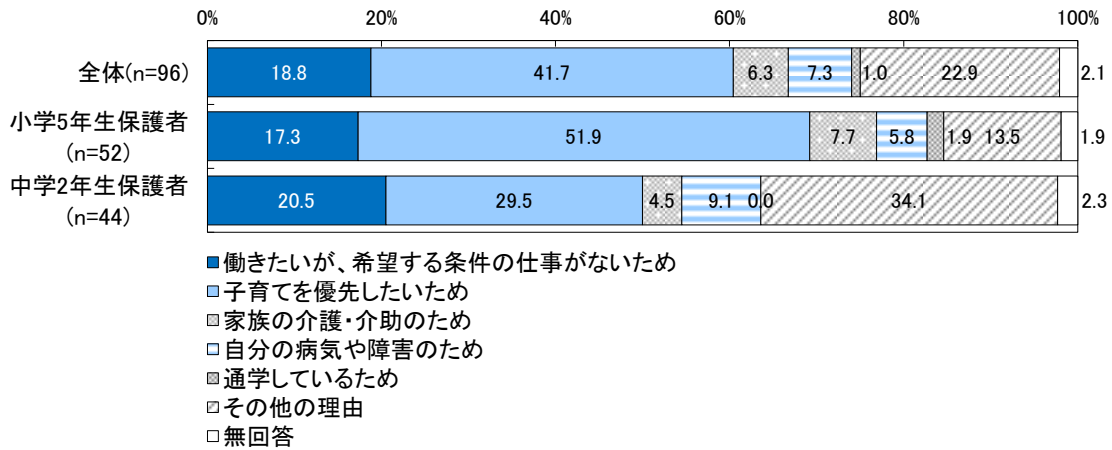
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「働いていない」と回答した割合が44.0%、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合が36.0%、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」と回答した割合が17.0%となっている。

問 10 で「5 働いていない」と回答した人のみ回答

問 11 働いていない最も主な理由を教えてください。

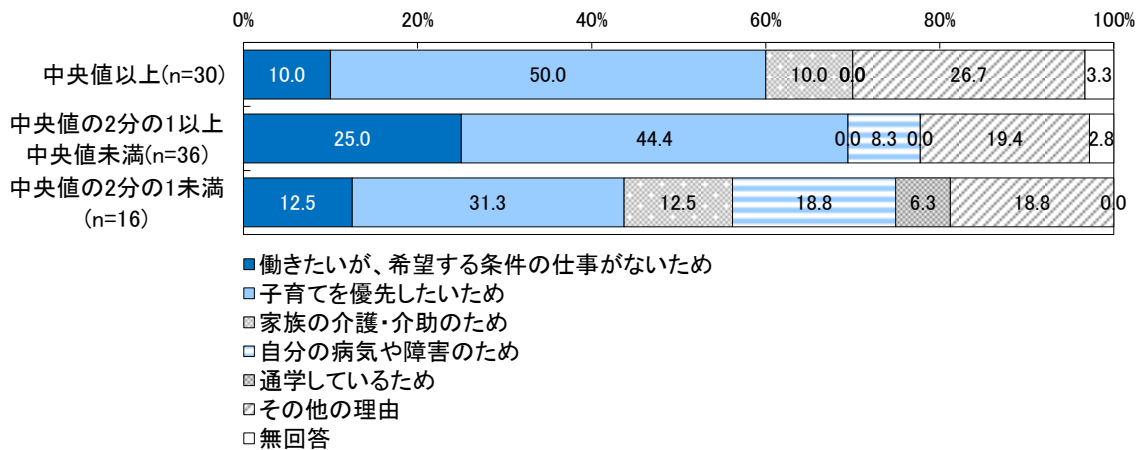
(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【母親の働いていない理由】



母親の働いていない理由について、「子育てを優先したいため」と回答した割合が全体で41.7%、小学5年生保護者で51.9%、中学2年生保護者で29.5%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と回答した割合が全体で18.8%、小学5年生保護者で17.3%、中学2年生保護者で20.5%となっている。

【母親の働いていない理由（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「自分の病気や障害のため」と回答した割合が、「中央値の2分の1以上中央値未満」で8.3%、「中央値の2分の1未満」で18.8%となっている。

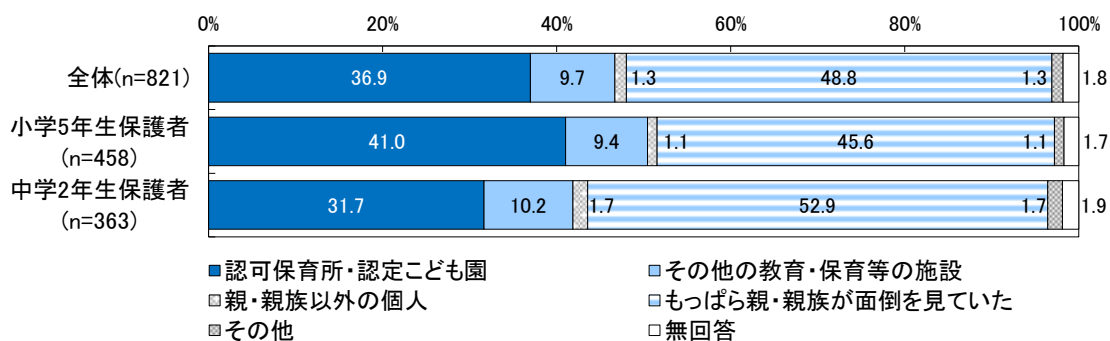
なお、働いていない父親は2人であり、働いていない理由は「自分の病気や障害のため」、「その他の理由」と回答している。

## 4 利用した教育・保育施設等

### (1) 0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等

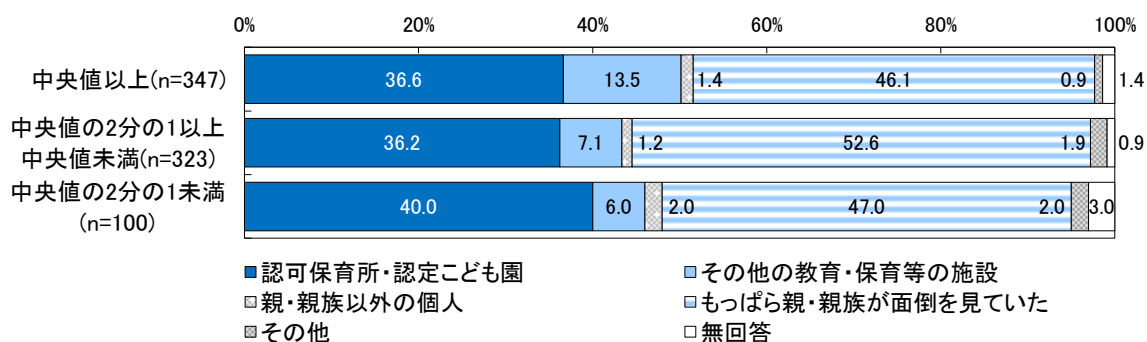
問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

【0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等】



0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「認可保育所・認定こども園」と回答した割合が全体で36.9%、小学5年生保護者で41.0%、中学2年生保護者で31.7%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」と回答した割合が全体で48.8%、小学5年生保護者で45.6%、中学2年生保護者で52.9%となっている。

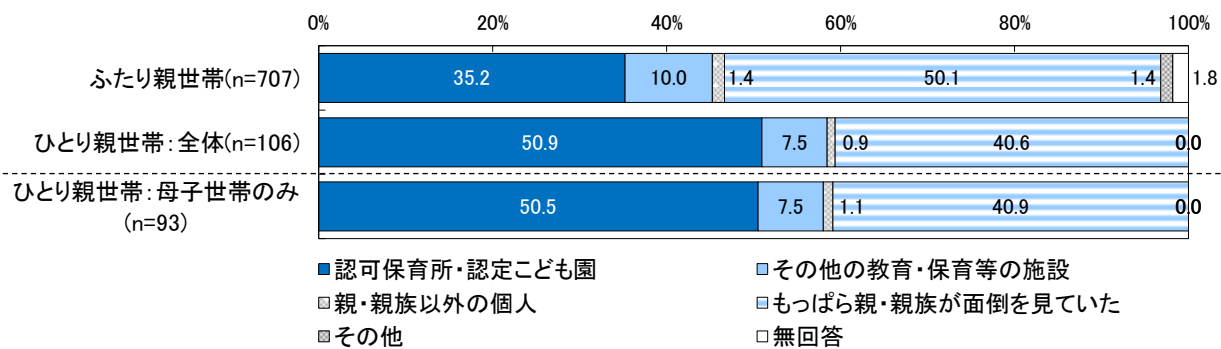
【0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」と回答した割合は、「中央値以上」で46.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で52.6%、「中央値の2分の1未満」で47.0%となっている。



【0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等（世帯構成別）】

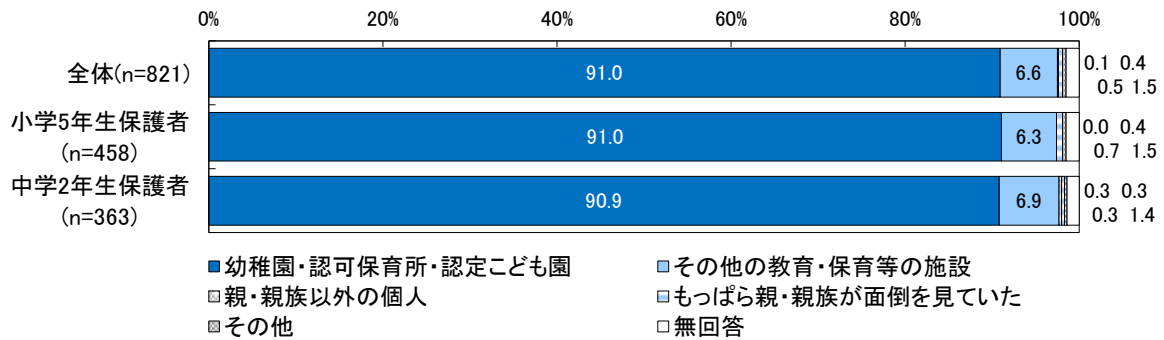


世帯構成別にみると、「認可保育所・認定子ども園」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で35.2%、「ひとり親世帯」で50.9%、「母子世帯のみ」で50.5%となっている。

## (2) 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

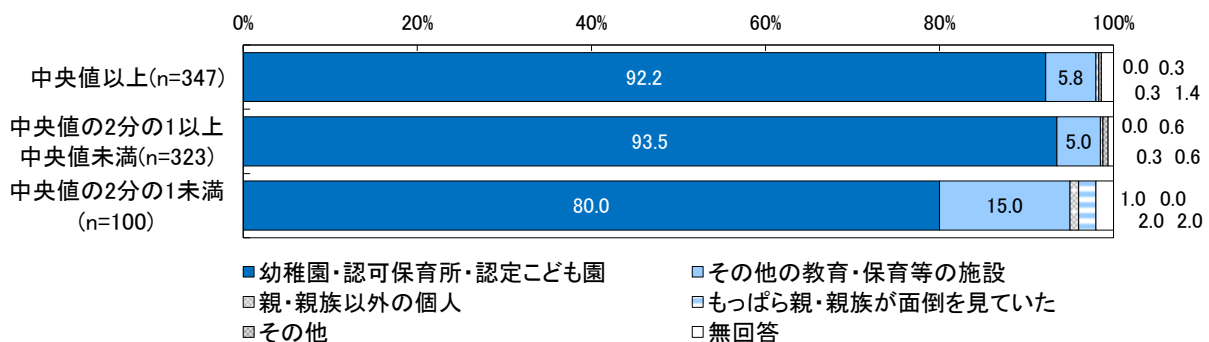
問 13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

【3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等】



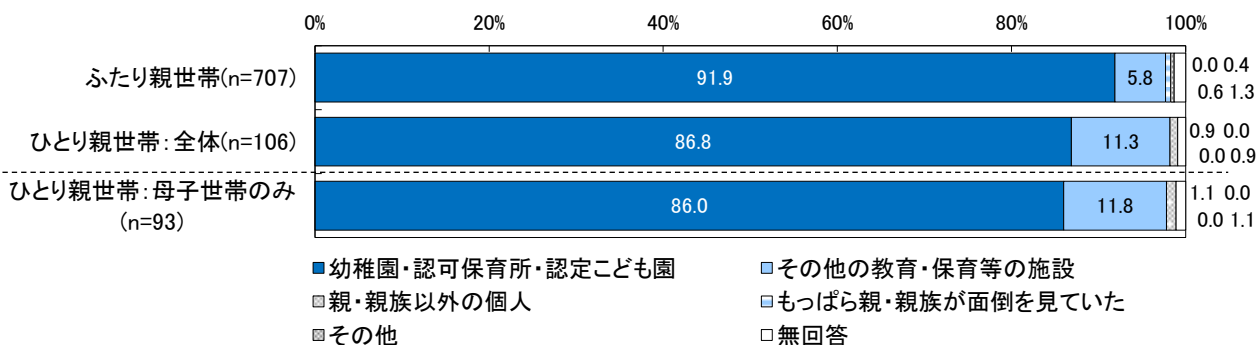
3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した割合が全体で91.0%、小学5年生保護者で91.0%、中学2年生保護者で90.9%となっている。

【3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した割合は、「中央値以上」、「中央値の2分の1以上中央値未満」で9割台となっている。

【3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で9割台、「ひとり親世帯」、「母子世帯のみ」で8割台となっている。

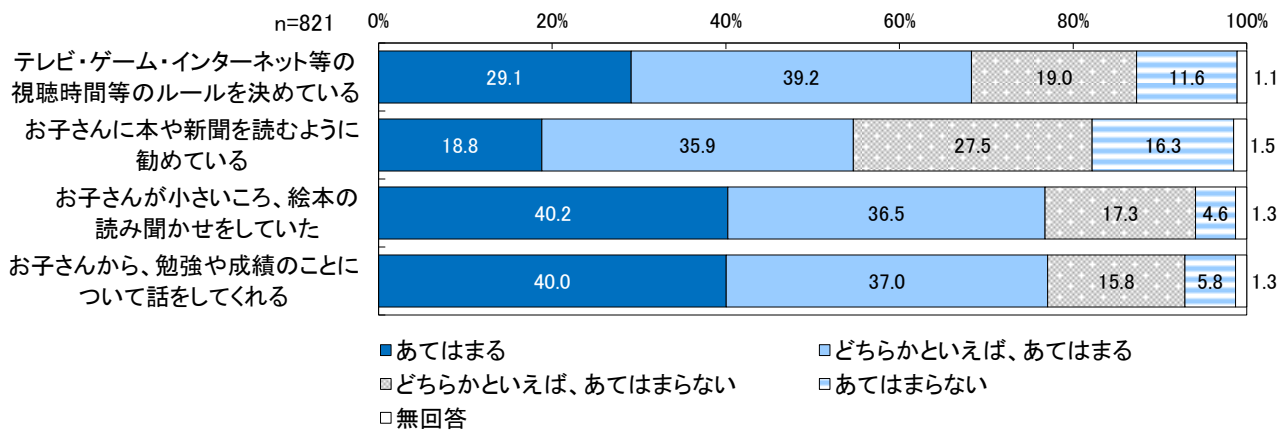
## 5 子供との関わり方

### (1) 子供との関わり方

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。  
(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

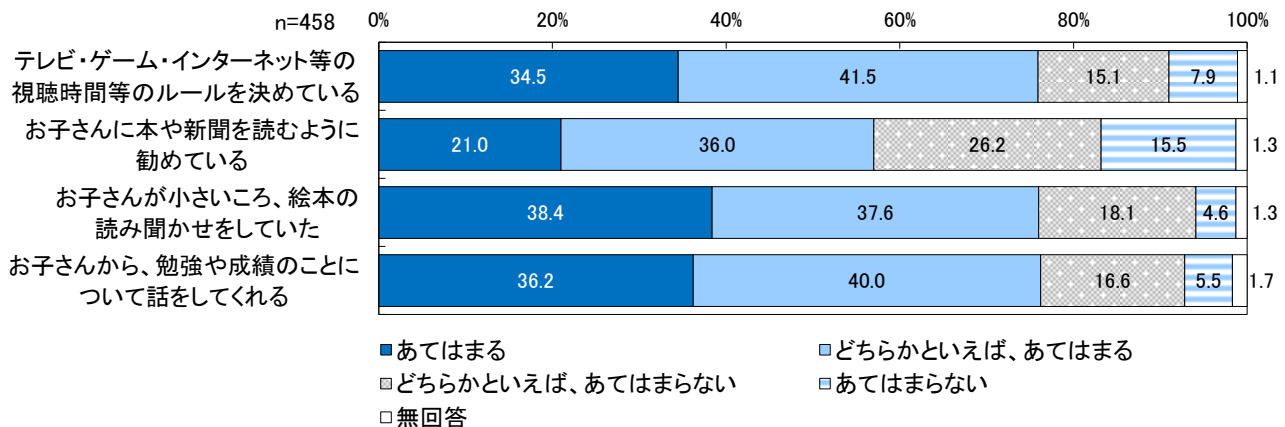
【子供との関わり方】

(全体)



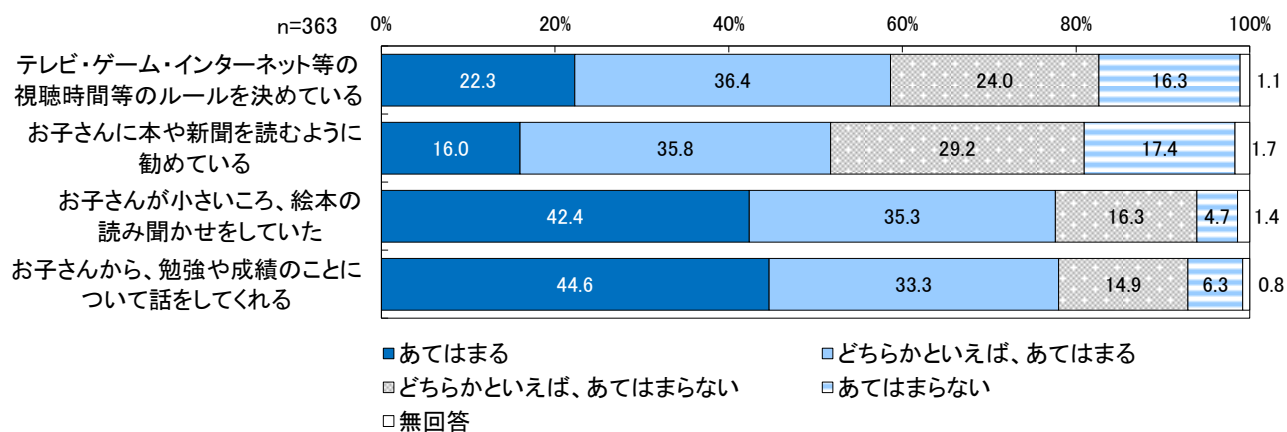
子供との関わり方について、全体では、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）と回答した割合は、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」で76.7%、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」で77.0%となっている。

(小学5年生保護者)



小学5年生保護者では、『あてはまる』と回答した割合は、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」で76.0%、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」で76.2%となっている。

(中学2年生保護者)



中学2年生保護者では、『あてはまる』と回答した割合は、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」で77.7%、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」で77.9%となっている。

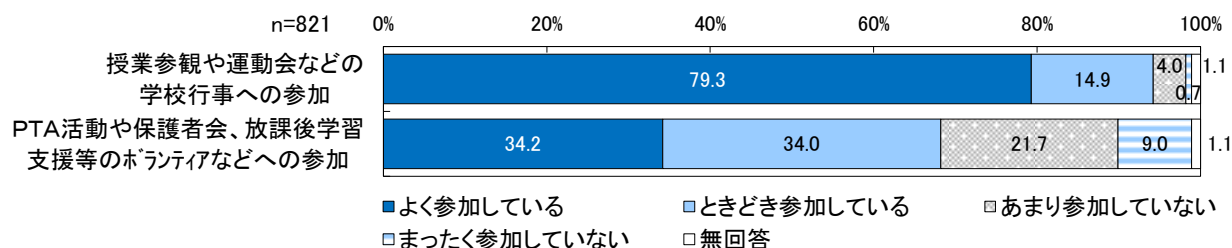
## (2) 子供の行事への参加状況

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

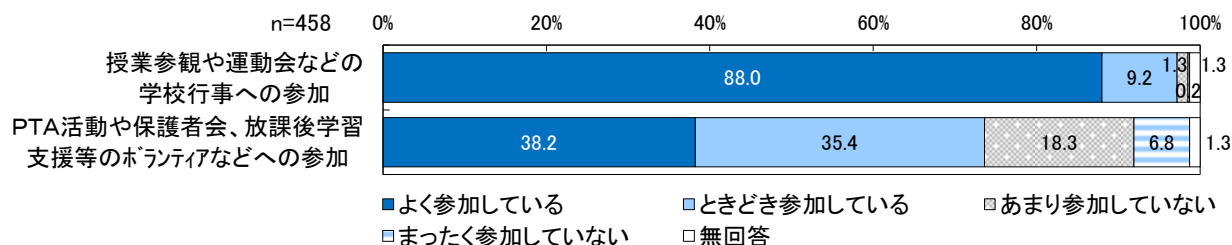
(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

### 【子供の行事への参加状況】

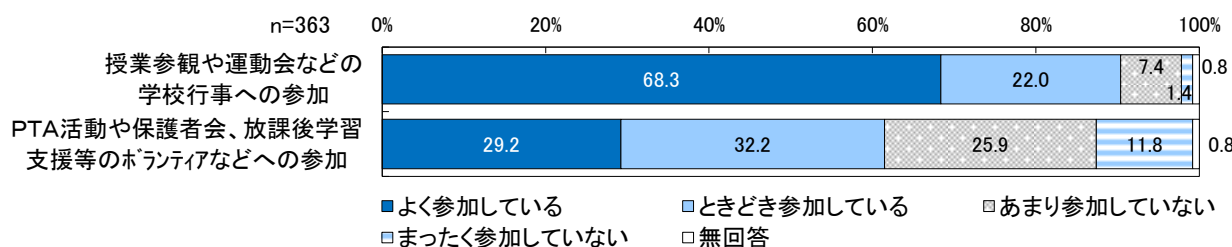
(全体)



(小学5年生保護者)



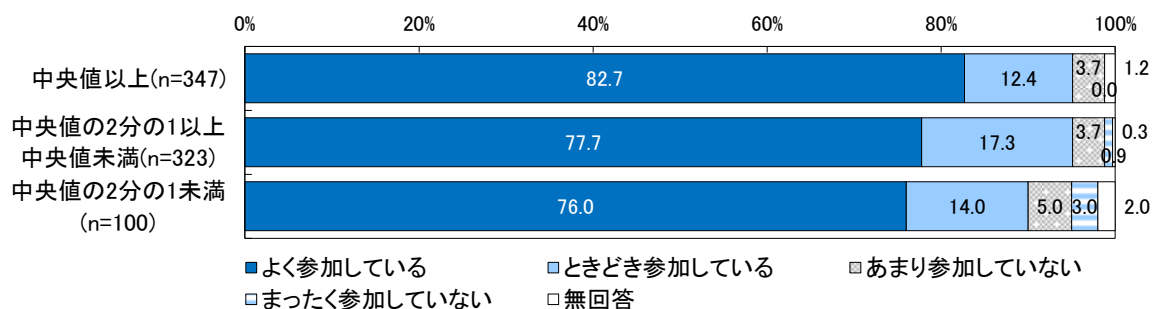
(中学2年生保護者)



子供の行事への参加状況について、『参加している』（「よく参加している」+「ときどき参加している」）と回答した割合は、「授業参観や運動会などの学校行事への参加」が全体で94.2%、小学5年生保護者で97.2%、中学2年生保護者で90.3%、「PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」が全体で68.2%、小学5年生保護者で73.6%、中学2年生保護者で61.4%となっている。

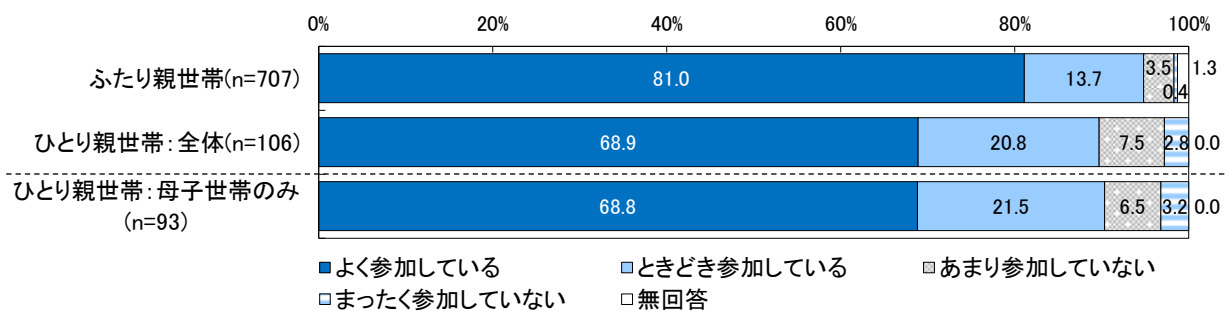
<授業参観や運動会などの学校行事への参加>

【子供の行事への参加状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』と回答した割合は、「中央値以上」で95.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で95.0%、「中央値の2分の1未満」で90.0%となっている。

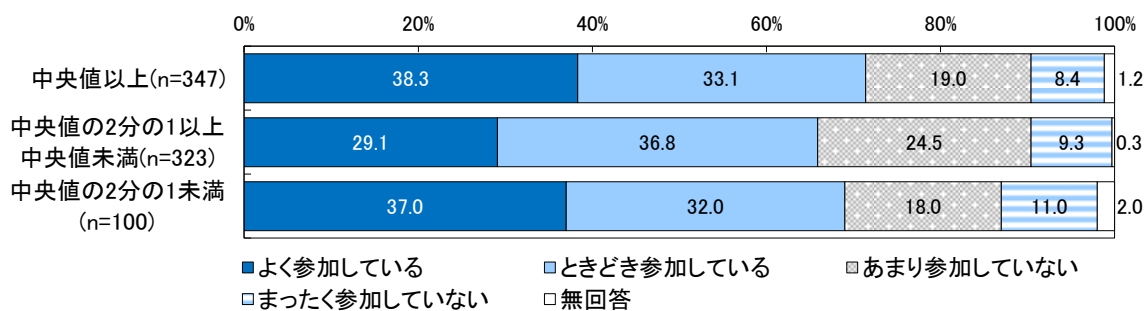
【子供の行事への参加状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、『参加している』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で94.7%、「ひとり親世帯」で89.7%、「母子世帯のみ」で90.3%となっている。

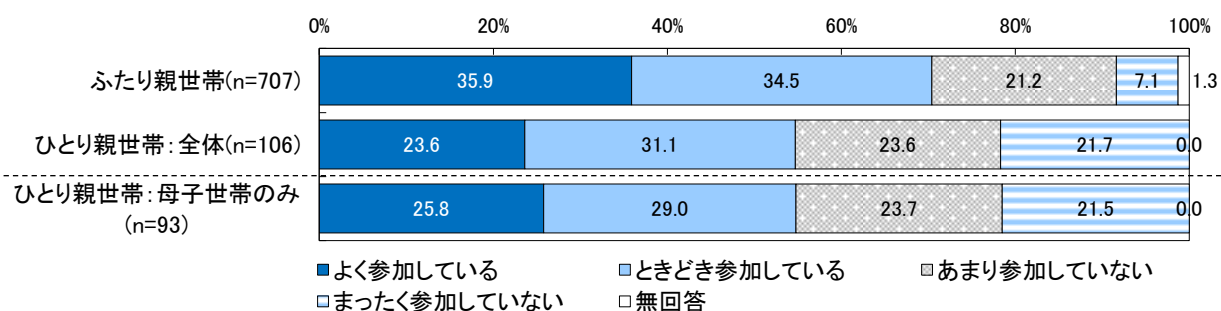
<PTA活動、ボランティアなどへの参加>

【子供の行事への参加状況（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』と回答した割合は、「中央値以上」で71.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で65.9%、「中央値の2分の1未満」で69.0%となっている。

【子供の行事への参加状況（世帯構成別）】



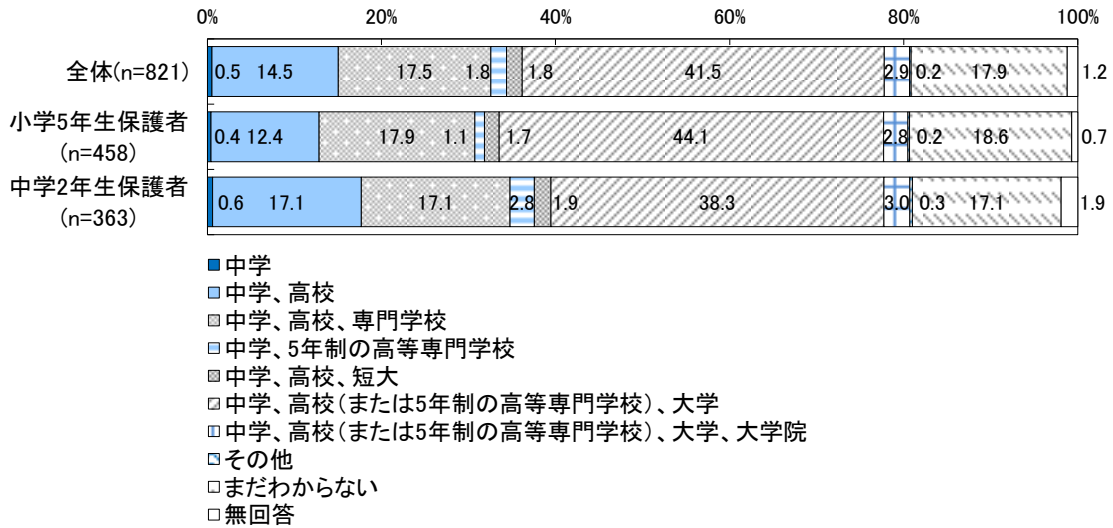
世帯構成別にみると、『参加している』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で70.4%、「ひとり親世帯」で54.7%、「母子世帯のみ」で54.8%となっている。

## 6 子供の将来の進学展望

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

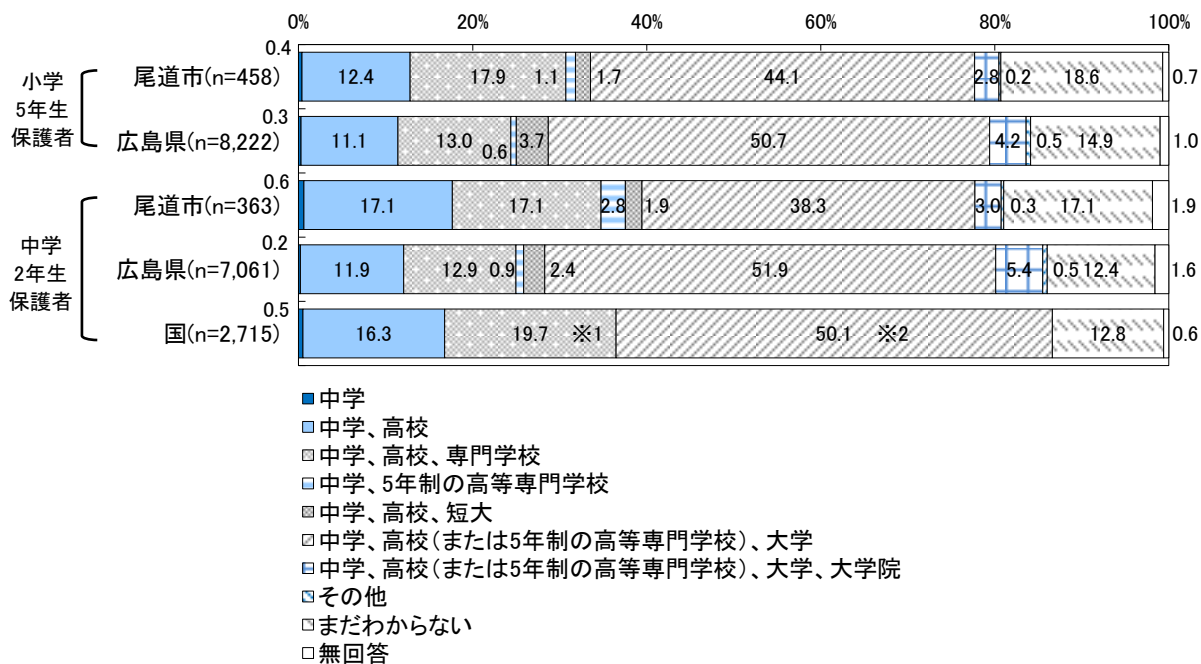
【子供の将来の進学展望】



子供の将来の進学展望について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合が全体で41.5%、小学5年生保護者で44.1%、中学2年生保護者で38.3%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」と回答した割合が全体で17.5%、小学5年生保護者で17.9%、中学2年生保護者で17.1%となっている。



### 【子供の将来の進学展望（広島県・国との比較）】



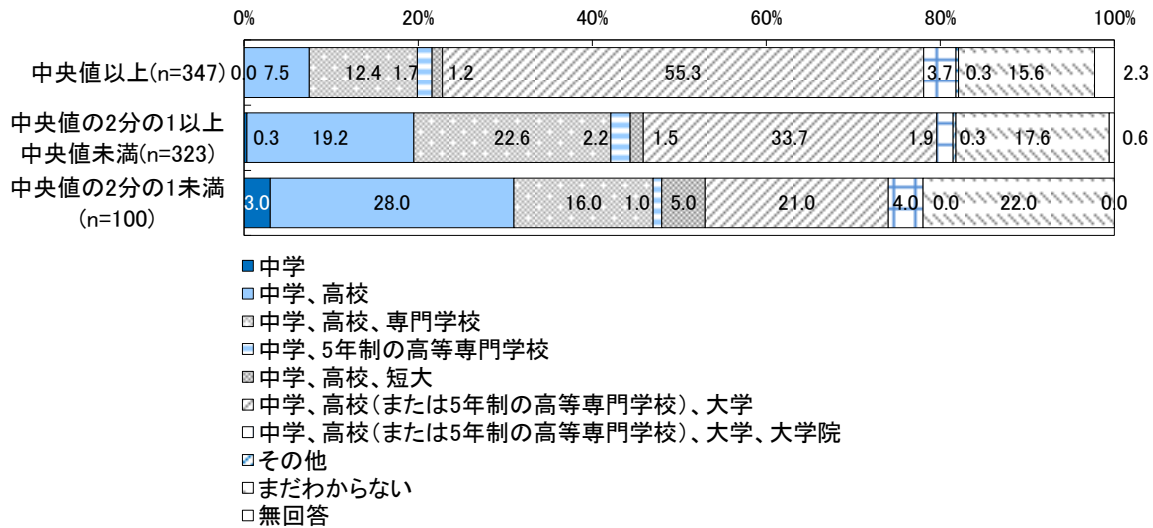
※1: 国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている

※2: 国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

広島県・国と比較すると、小学5年生保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、尾道市（44.1%）が広島県（50.7%）を6.6ポイント下回っている。

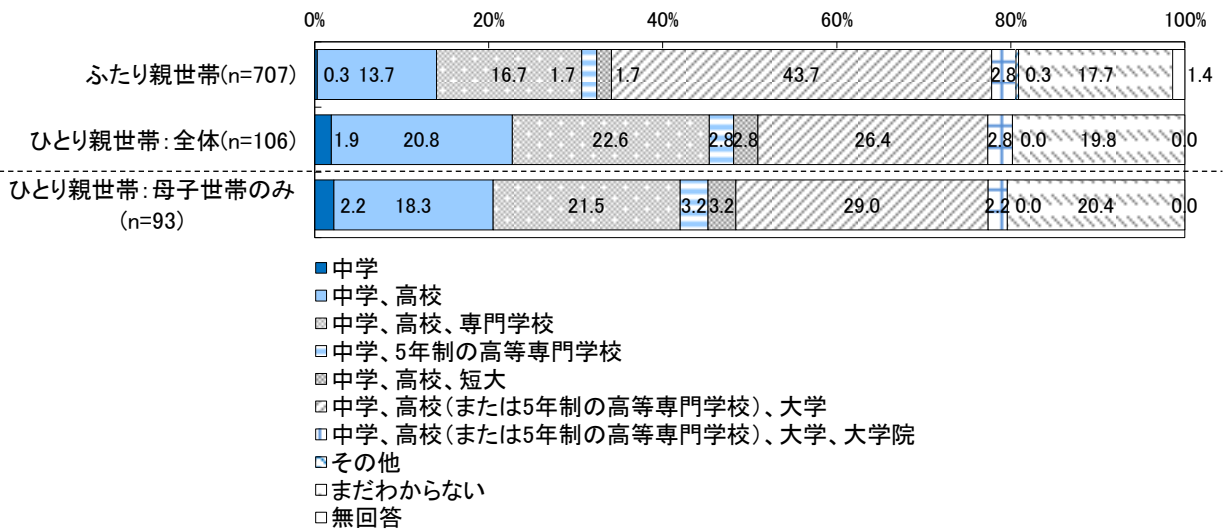
中学2年生保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、尾道市（38.3%）が広島県（51.9%）を13.6ポイント下回っており、国（50.1%）を11.8ポイント下回っている。

【子供の将来の進学展望（等価世帯収入の水準別）】



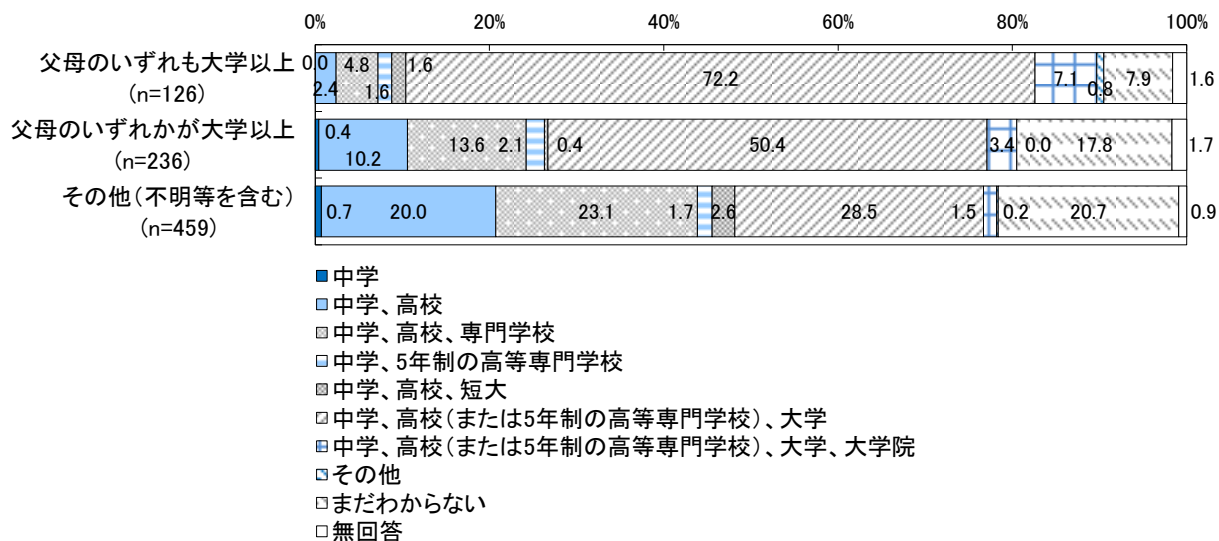
等価世帯収入の水準別にみると、「中学、高校」と回答した割合は、「中央値以上」で7.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で19.2%、「中央値の2分の1未満」で28.0%となっている。

【子供の将来の進学展望（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「中学、高校」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で13.7%、「ひとり親世帯」で20.8%、「母子世帯のみ」で18.3%となっている。

【子供の将来の進学展望（両親の最終学歴別）】

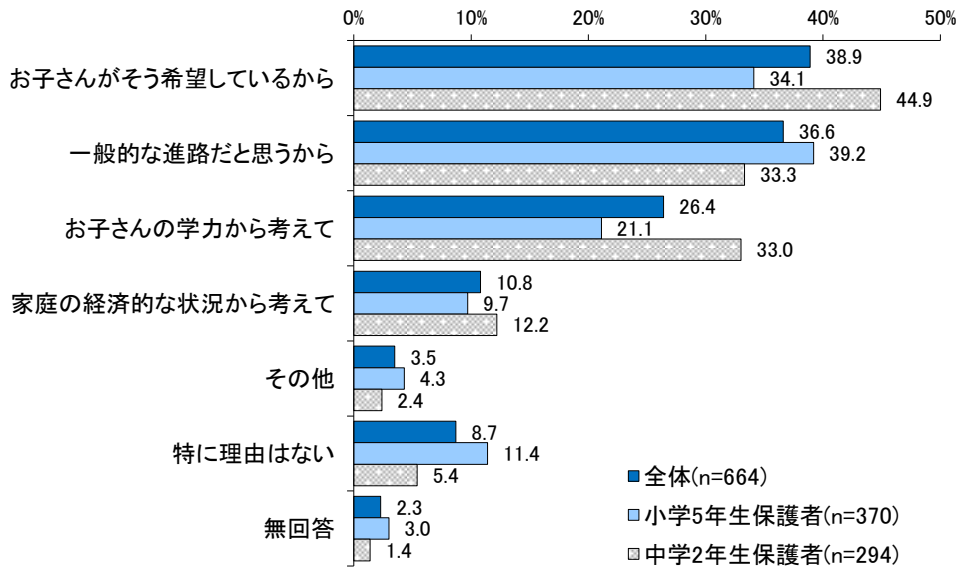


両親の最終学歴別にみると、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、「父母のいずれも大学以上」で72.2%、「父母のいずれかが大学以上」で50.4%、「その他（不明等を含む）」で28.5%となっている。

問 16 で「中学以上に進学」と回答した人のみ回答

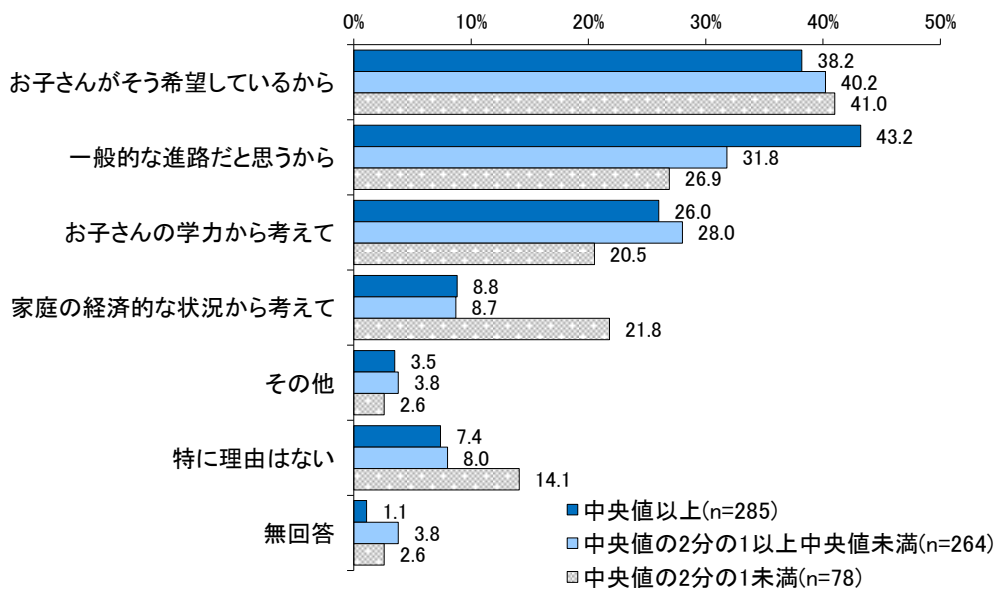
問 17 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【子供の進学先を選んだ理由】



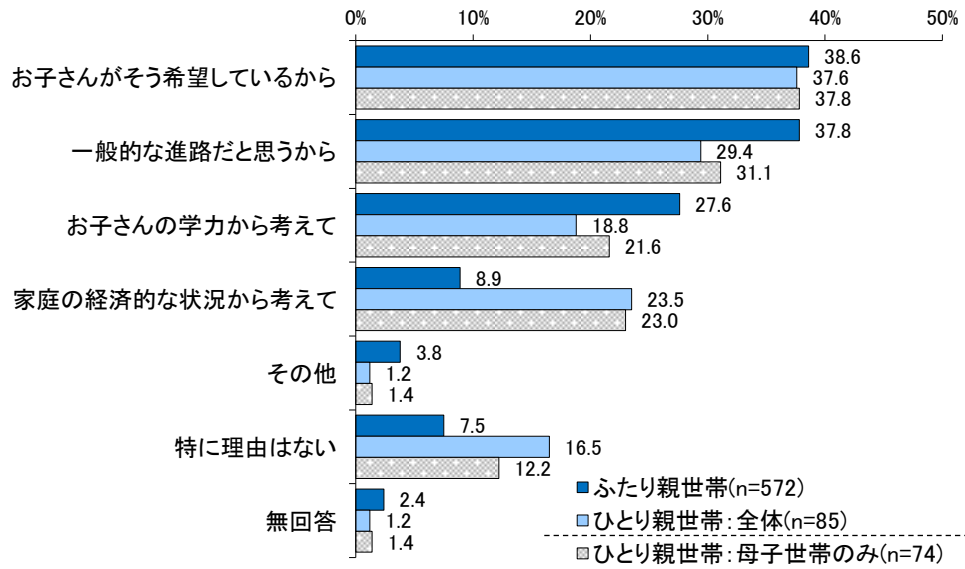
子供の進学先を選んだ理由について、「お子さんがそう希望しているから」と回答した割合が全体で 38.9%、小学 5 年生保護者で 34.1%、中学 2 年生保護者で 44.9%、「一般的な進路だと思うから」と回答した割合が全体で 36.6%、小学 5 年生保護者で 39.2%、中学 2 年生保護者で 33.3%、「お子さんの学力から考えて」と回答した割合が全体で 26.4%、小学 5 年生保護者で 21.1%、中学 2 年生保護者で 33.0%となっている。

【子供の進学先を選んだ理由（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「家庭の経済的な状況から考えて」と回答した割合は、「中央値以上」で 8.8%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」で 8.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」で 21.8%となっている。

【子供の進学先を選んだ理由（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「家庭の経済的な状況から考えて」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で8.9%、「ひとり親世帯」で23.5%、「母子世帯のみ」で23.0%となっている。

## 7 頼れる人の有無

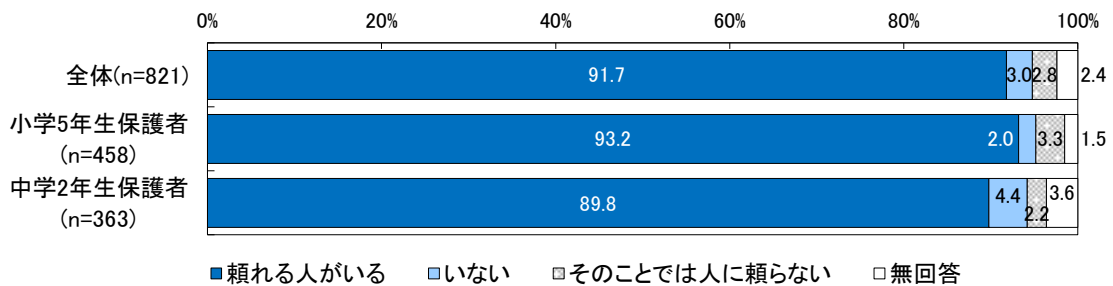
問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(あてはまるものすべてに○)

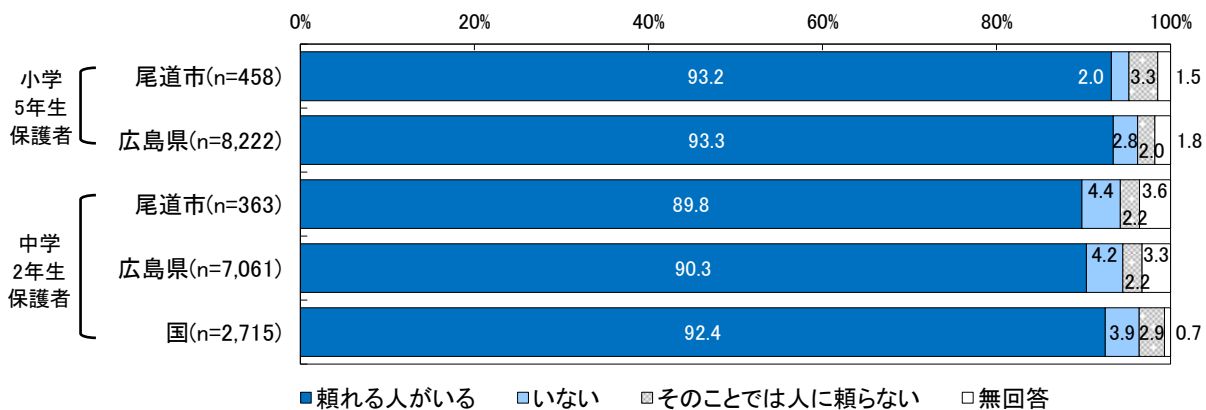
### < a 子育てに関する相談 >

【子育てに関する相談で頼れる人の有無】



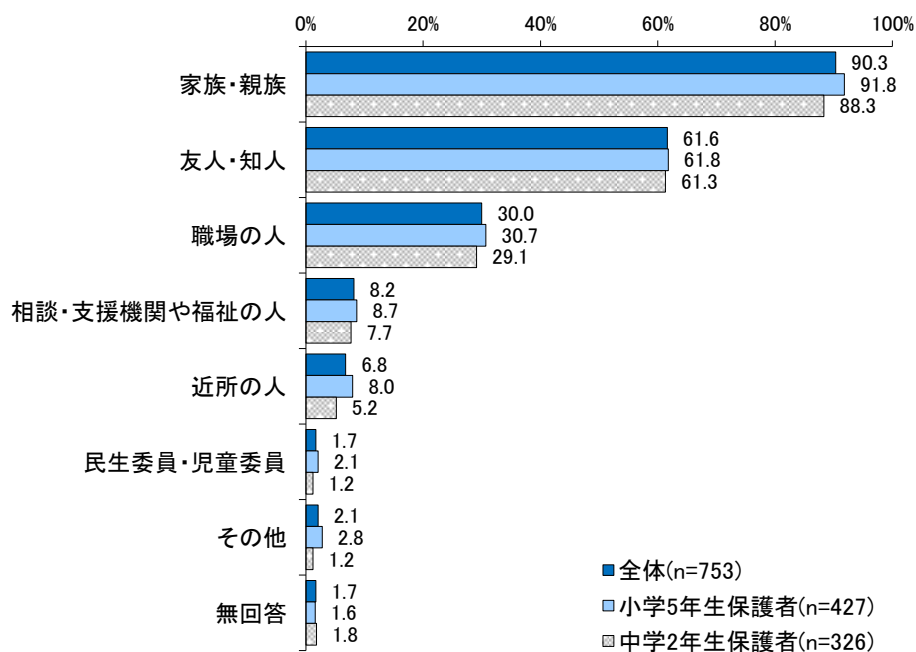
子育てに関する相談で頼れる人の有無について、「頼れる人がいる」と回答した割合が全体で91.7%、小学5年生保護者で93.2%、中学2年生保護者で89.8%、「いない」と回答した割合が全体で3.0%、小学5年生保護者で2.0%、中学2年生保護者で4.4%となっている。

【子育てに関する相談で頼れる人の有無（広島県・国との比較）】



広島県・国と比較すると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、大きな差はみられない。

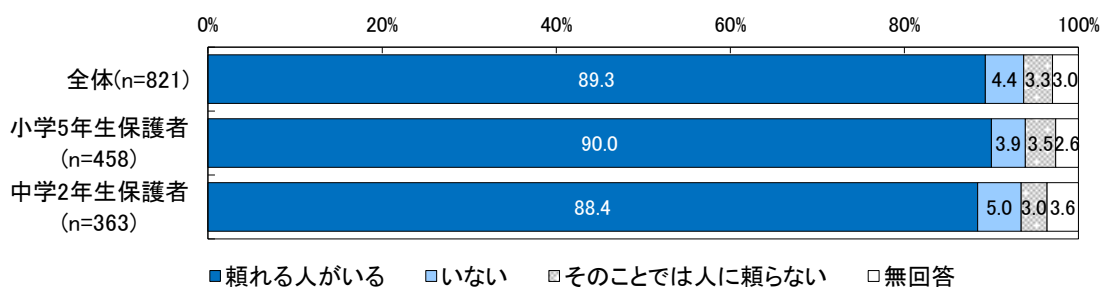
### 【子育てに関する相談で頼れる人】



子育てに関する相談で頼れる人について、「家族・親族」と回答した割合が全体で 90.3%、小学5年生保護者で 91.8%、中学2年生保護者で 88.3%と最も高く、次いで「友人・知人」と回答した割合が全体で 61.6%、小学5年生保護者で 61.8%、中学2年生保護者で 61.3%となっている。

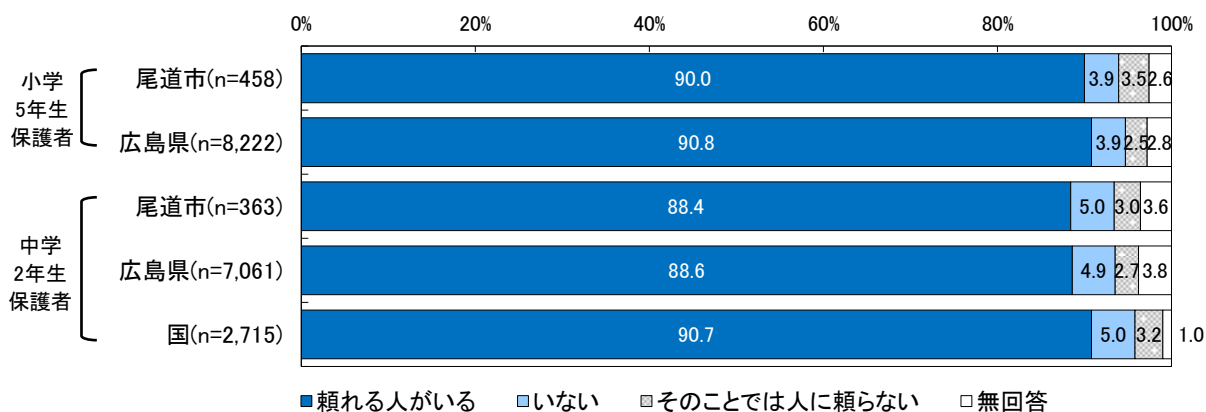
< b 重要な事柄の相談 >

【重要な事柄の相談で頼れる人の有無】



重要な事柄の相談で頼れる人の有無について、「頼れる人がいる」と回答した割合が全体で89.3%、小学5年生保護者で90.0%、中学2年生保護者で88.4%、「いない」と回答した割合が全体で4.4%、小学5年生保護者で3.9%、中学2年生保護者で5.0%となっている。

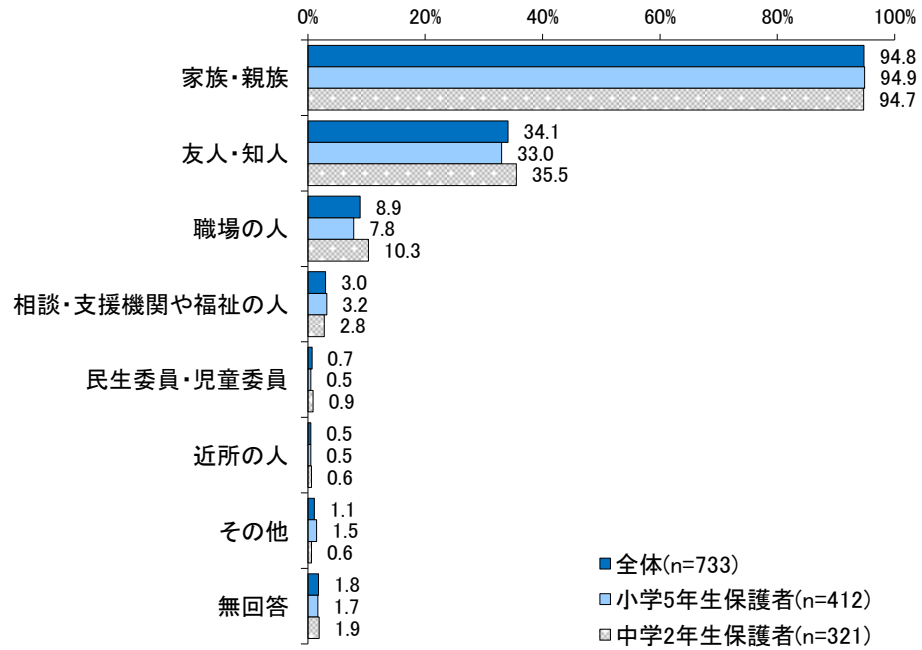
【重要な事柄の相談で頼れる人の有無（広島県・国との比較）】



広島県・国と比較すると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、大きな差はみられない。



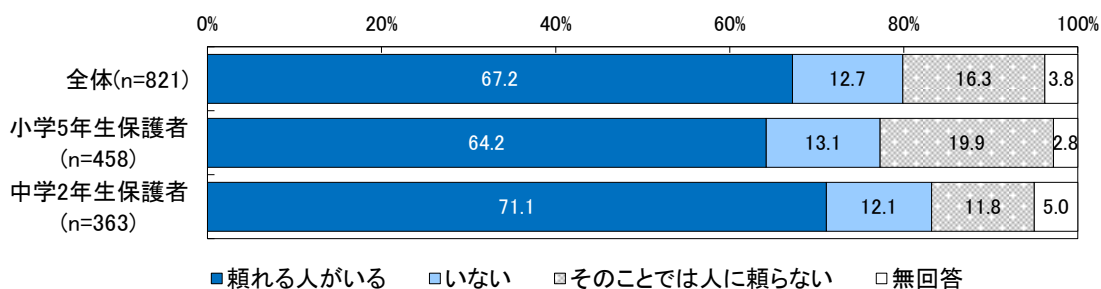
【重要な事柄の相談で頼れる人】



重要な事柄の相談で頼れる人について、「家族・親族」と回答した割合が全体で 94.8%、小学5年生保護者で 94.9%、中学2年生保護者で 94.7%と最も高く、次いで「友人・知人」と回答した割合が全体で 34.1%、小学5年生保護者で 33.0%、中学2年生保護者で 35.5%となっている。

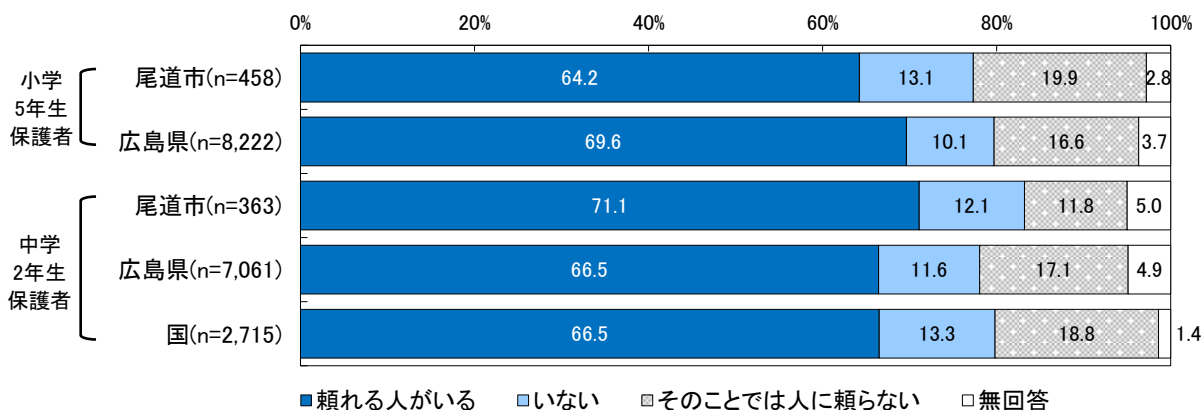
< c. いざという時のお金の援助 >

【いざという時のお金の援助を頼れる人の有無】



いざという時のお金の援助を頼れる人の有無について、「頼れる人がいる」と回答した割合が全体で67.2%、小学5年生保護者で64.2%、中学2年生保護者で71.1%、「いない」と回答した割合が全体で12.7%、小学5年生保護者で13.1%、中学2年生保護者で12.1%となっている。

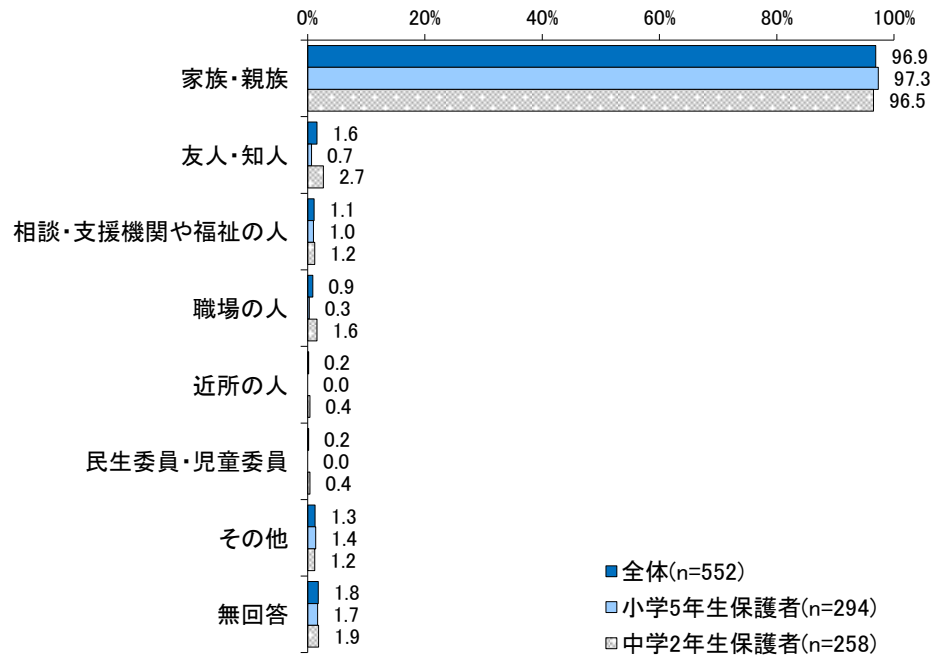
【いざという時のお金の援助を頼れる人の有無（広島県・国との比較）】



広島県・国と比較すると、小学5年生保護者では、「頼れる人がいる」と回答した割合は、尾道市（64.2%）が広島県（69.6%）を5.4ポイント下回っている。

中学2年生保護者では、大きな差はみられない。

【いざという時のお金の援助を頼れる人】



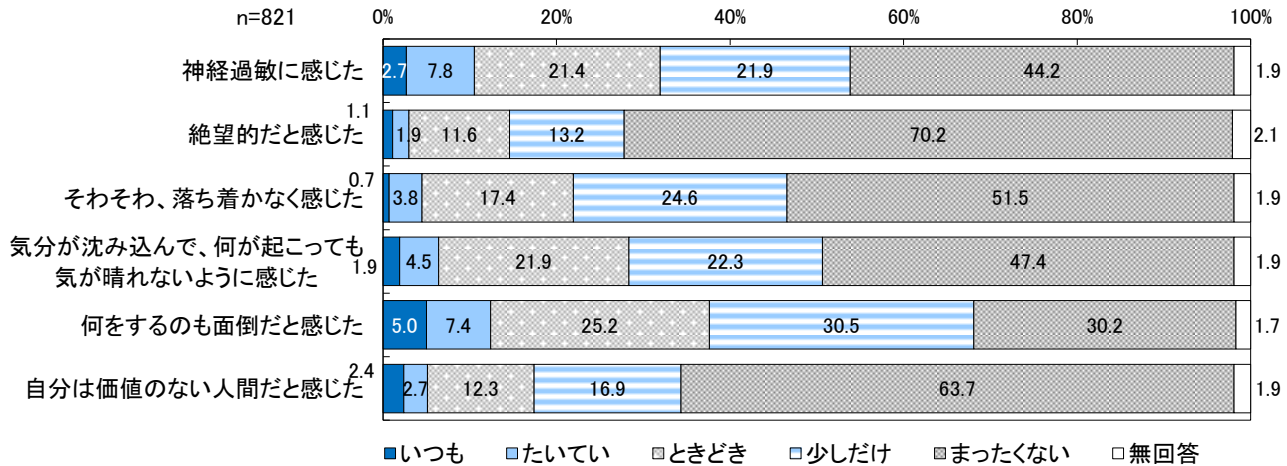
いざという時のお金の援助を頼れる人について、「家族・親族」と回答した割合が全体で96.9%、小学5年生保護者で97.3%、中学2年生保護者で96.5%と最も高くなっている。

## 8 保護者の心理的な状態

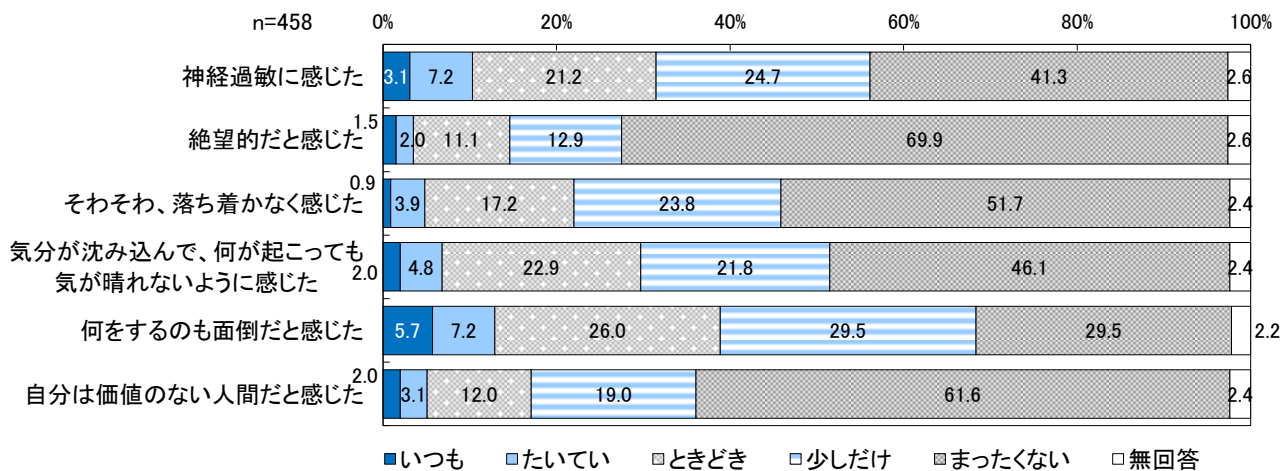
問 24 次の a～f の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

### 【心理的な状態】

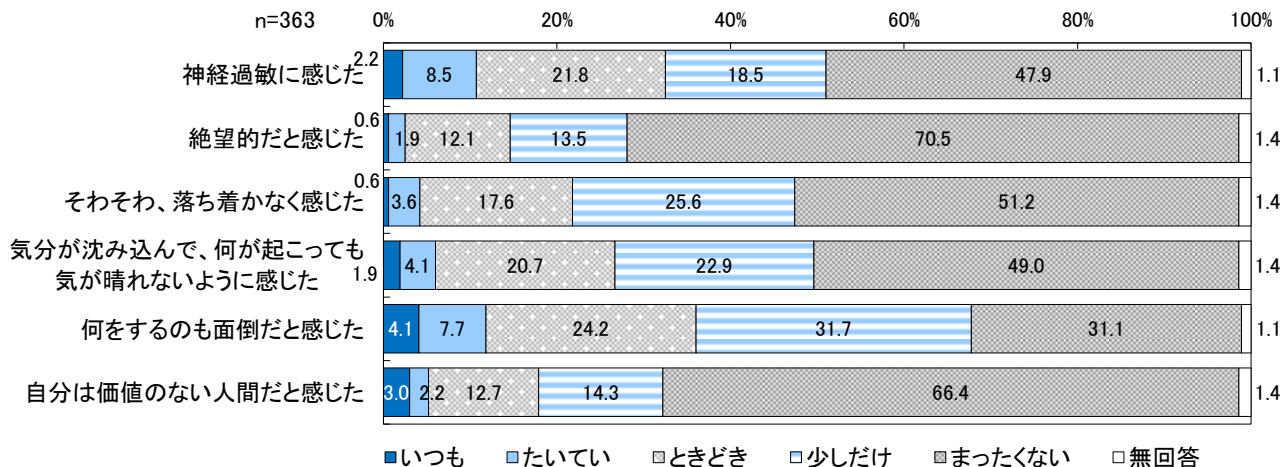
(全体)



(小学5年生保護者)



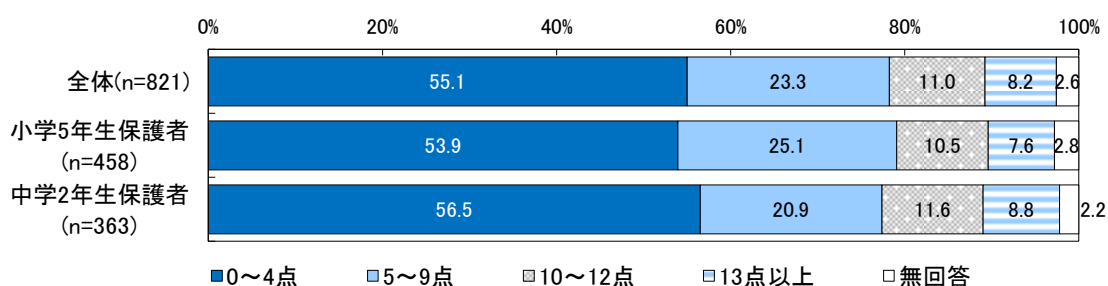
(中学2年生保護者)



保護者の心理的な状態に関して、「K6」と呼ばれる指標を把握するための6項目を設定し、5段階（まったくない：0点、少しだけ：1点、ときどき：2点、たいてい：3点、いつも：4点）で点数化した。

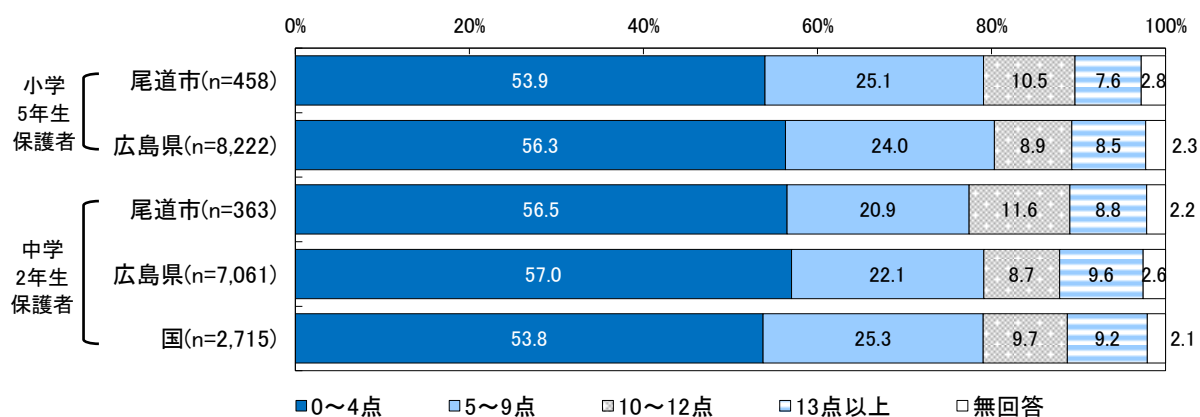
- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

【心理的苦痛を感じている状態】



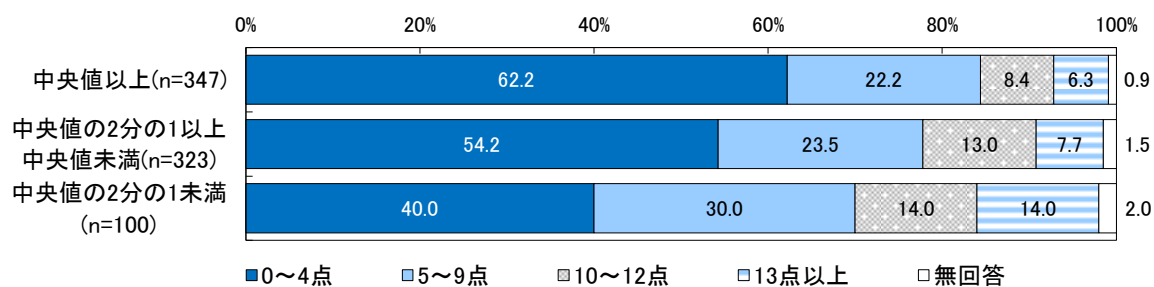
心理的苦痛を感じている状態について、「13点以上」に該当する割合が全体で8.2%、小学5年生保護者で7.6%、中学2年生保護者で8.8%となっている。

【心理的苦痛を感じている状態（広島県・国との比較）】



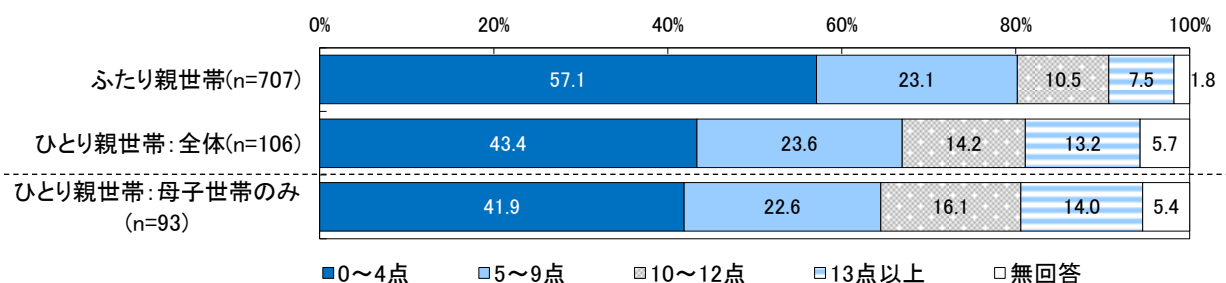
広島県・国と比較すると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、大きな差はみられない。

【心理的苦痛を感じている状態（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「13 点以上」に該当する割合は、「中央値以上」で 6.3%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」で 7.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」で 14.0%となっている。

【心理的苦痛を感じている状態（世帯構成別）】



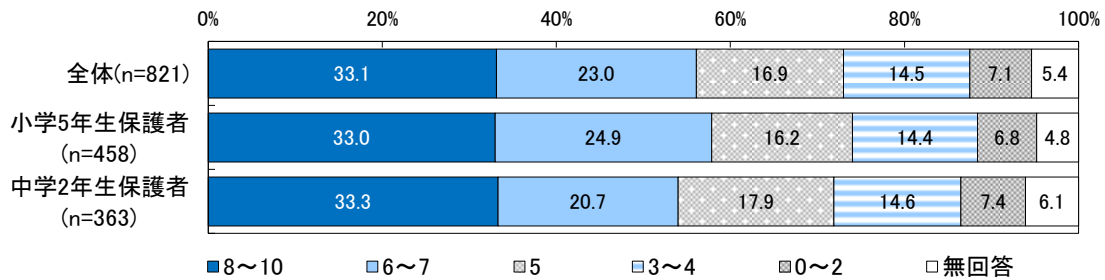
世帯構成別にみると、「13 点以上」に該当する割合は、「ふたり親世帯」で 7.5%、「ひとり親世帯」で 13.2%、「母子世帯のみ」で 14.0%となっている。

## 9 生活における満足度

問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

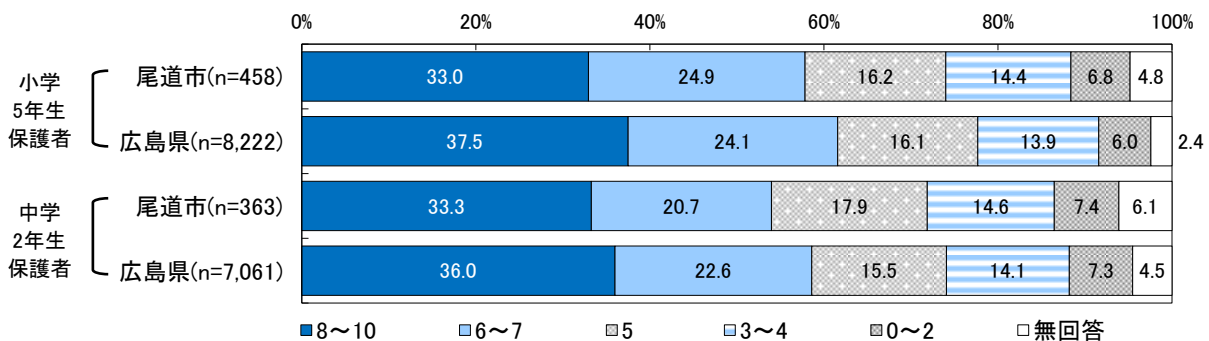
【生活における満足度】



生活における満足度について、「8～10」と回答した割合が全体で 33.1%、小学5年生保護者で 33.0%、中学2年生保護者で 33.3%、「0～2」と回答した割合が全体で 7.1%、小学5年生保護者で 6.8%、中学2年生保護者で 7.4%となっている。

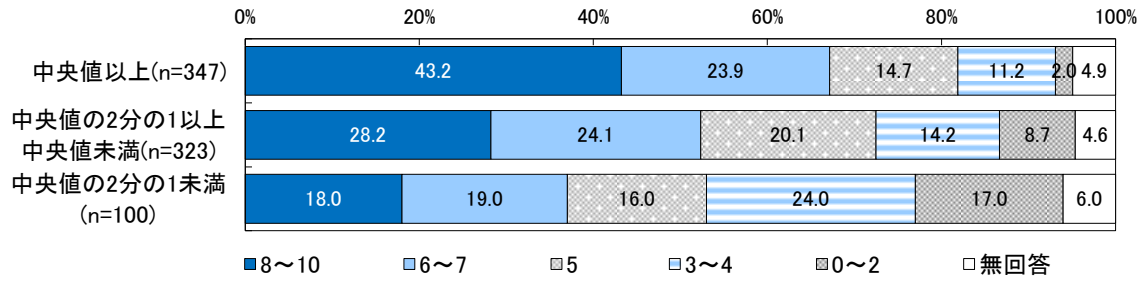
また、平均は全体で 6.2、小学5年生保護者で 6.2、中学2年生保護者で 6.2 となっている。

【生活における満足度（広島県との比較）】



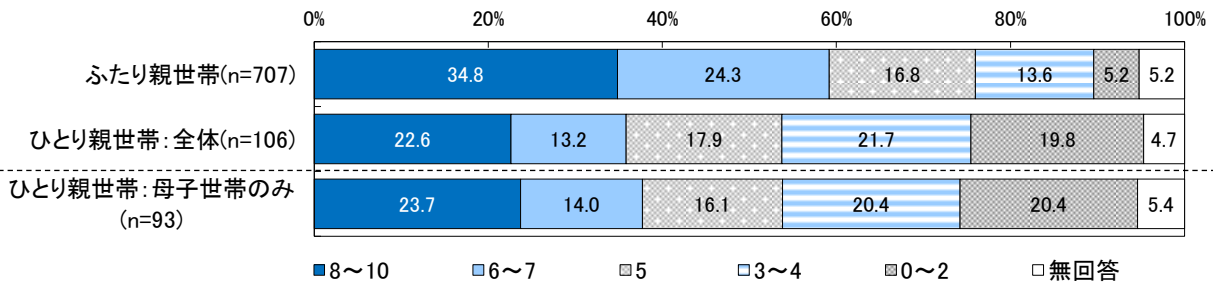
広島県と比較すると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、大きな差はみられない。

【生活における満足度（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上（「6～7」と「8～10」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では67.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では52.3%、「中央値の2分の1未満」では37.0%となっている。

【生活における満足度（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」で59.1%、「ひとり親世帯」で35.8%、「母子世帯のみ」で37.7%となっている。



## 10 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大後の変化

問 26 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。

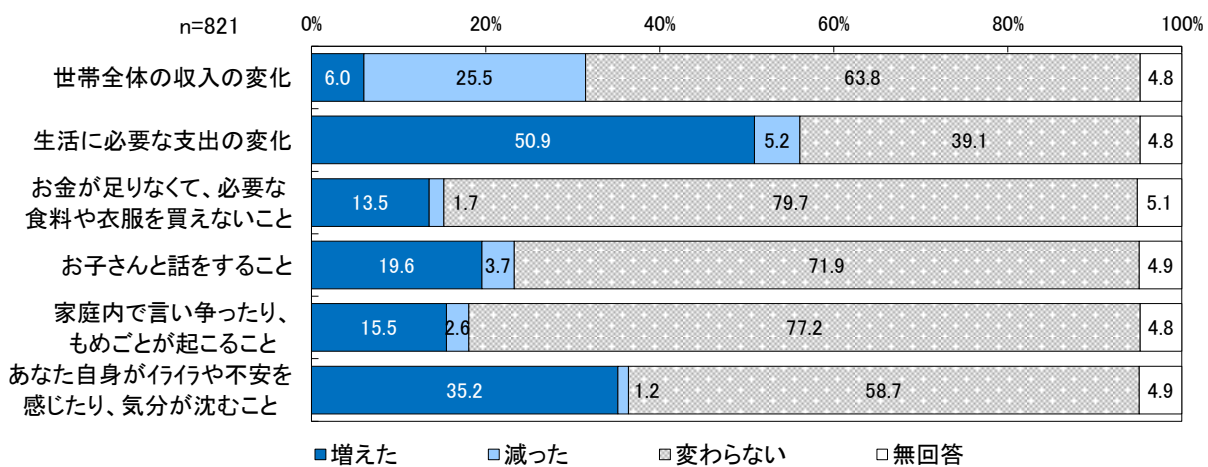
問 27 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

### 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響】

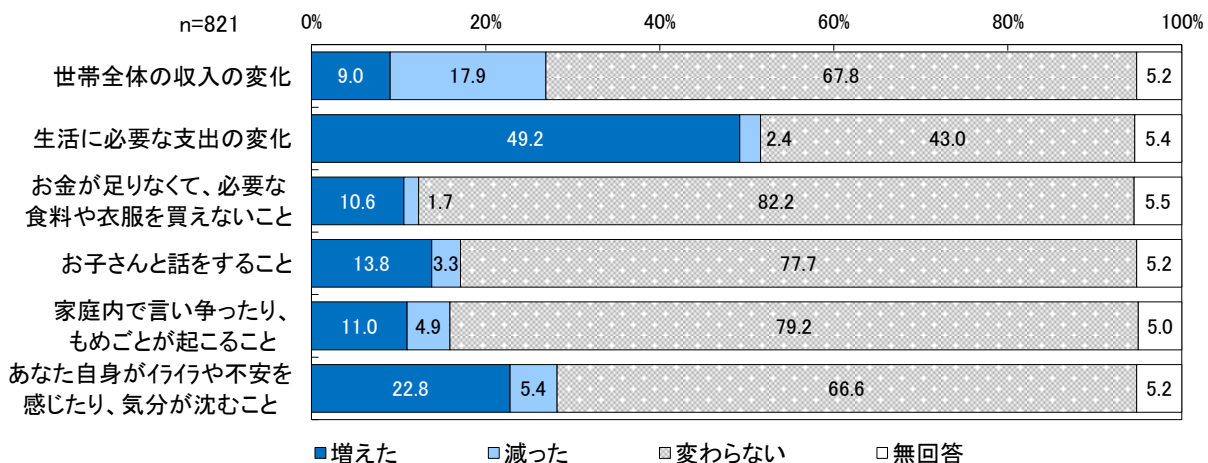
（全体）

#### ① コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について、コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、全体では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で 50.9%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で 35.2%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で 25.5%となっている。

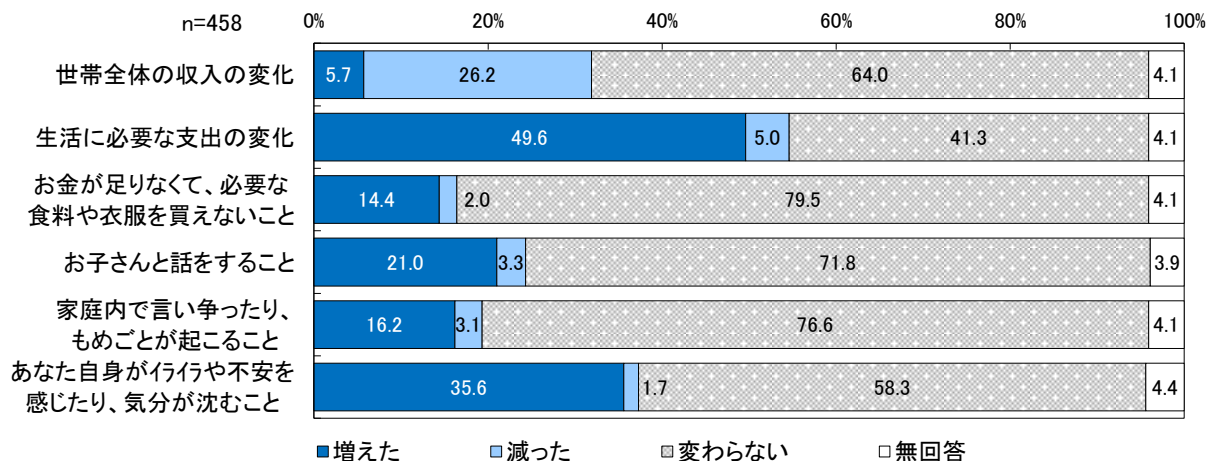
#### ② コロナ拡大期と現在の比較



コロナ拡大期と現在を比較すると、全体では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で49.2%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で22.8%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で17.9%となっている。

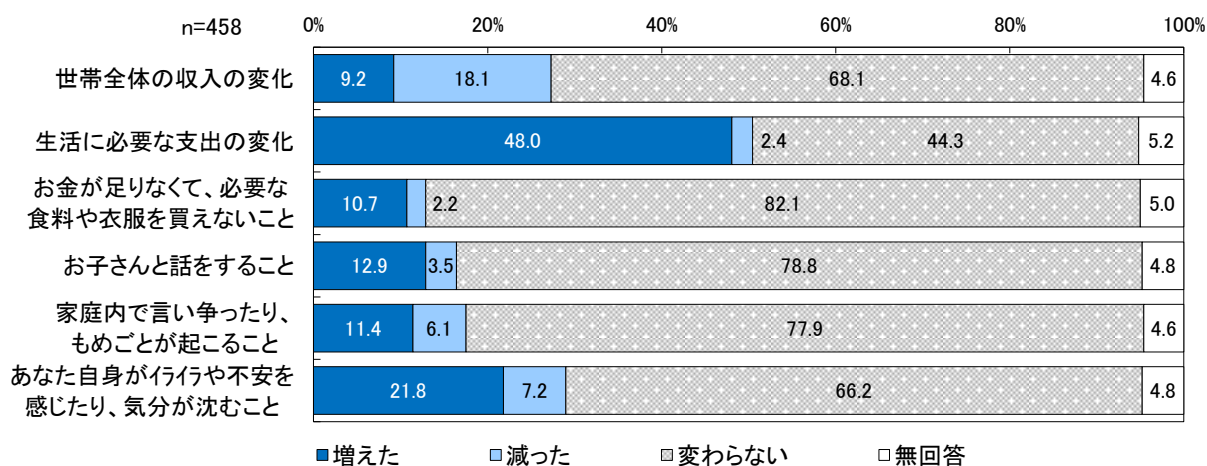
(小学5年生保護者)

①コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、小学5年生保護者では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で49.6%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で35.6%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で26.2%となっている。

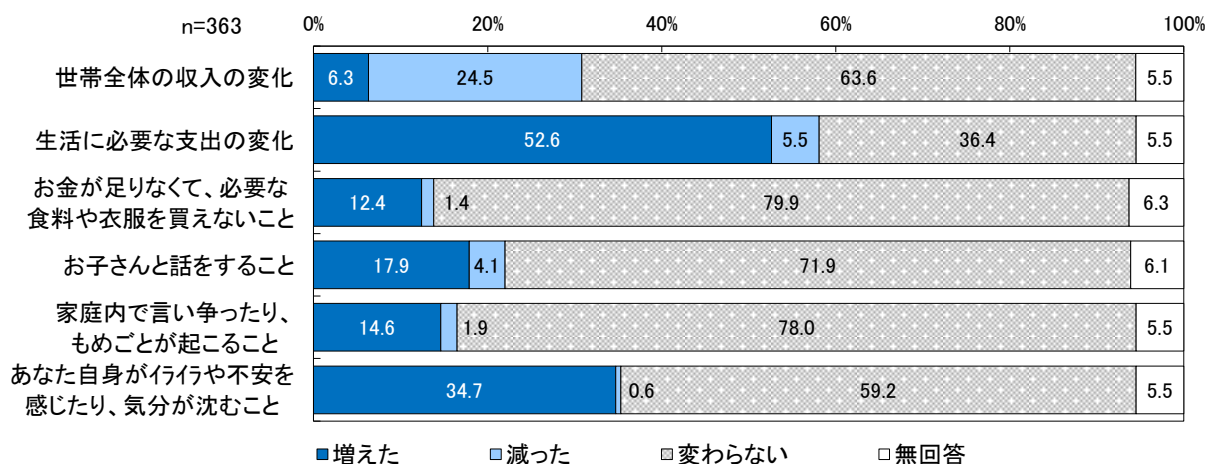
②コロナ拡大期と現在の比較



コロナ拡大期と現在を比較すると、小学5年生保護者では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で48.0%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で21.8%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で18.1%となっている。

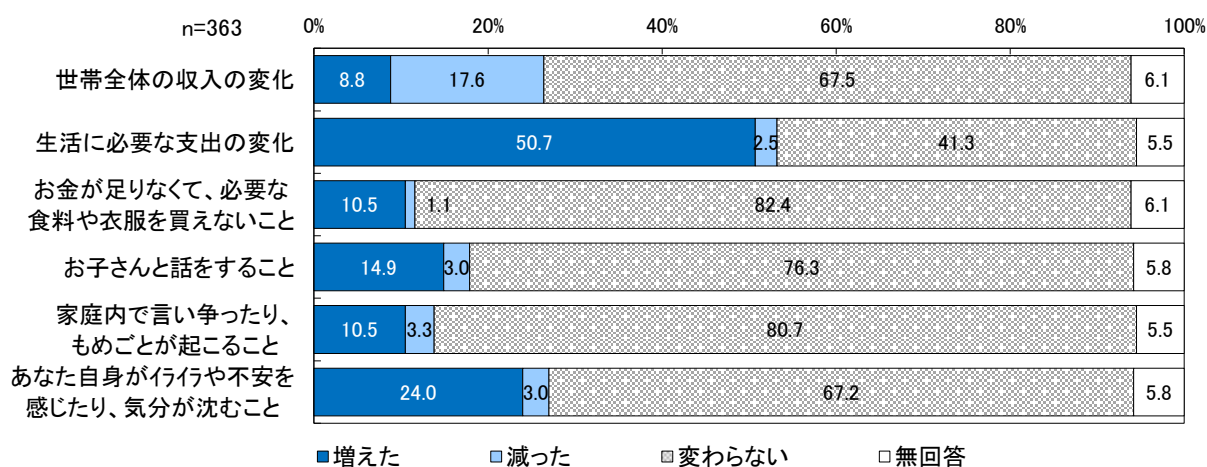
(中学2年生保護者)

①コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、中学2年生保護者では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で52.6%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で34.7%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で24.5%となっている。

②コロナ拡大期と現在の比較



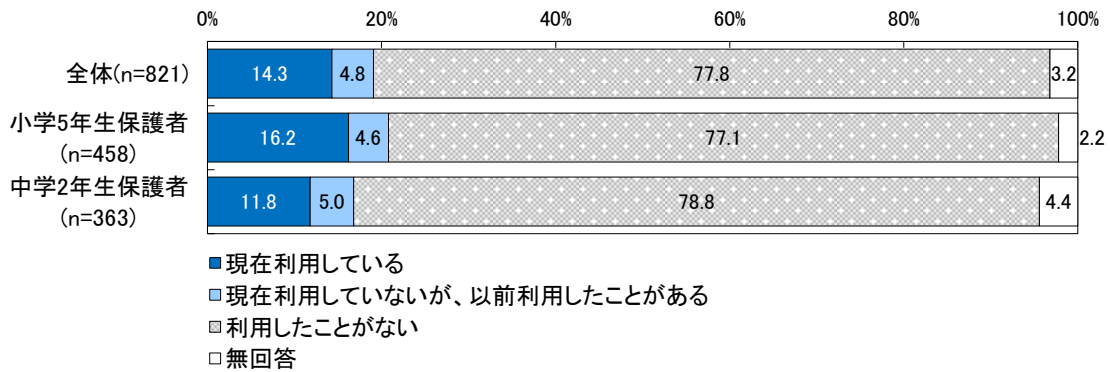
コロナ拡大期と現在を比較すると、中学2年生保護者では、「増えた」と回答した割合は、「生活に必要な支出の変化」で50.7%、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」で24.0%、「減った」と回答した割合は、「世帯全体の収入の変化」で17.6%となっている。

## 11 支援制度の利用状況

問 28 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (a～eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。  
 (あてはまるもの1つに○)

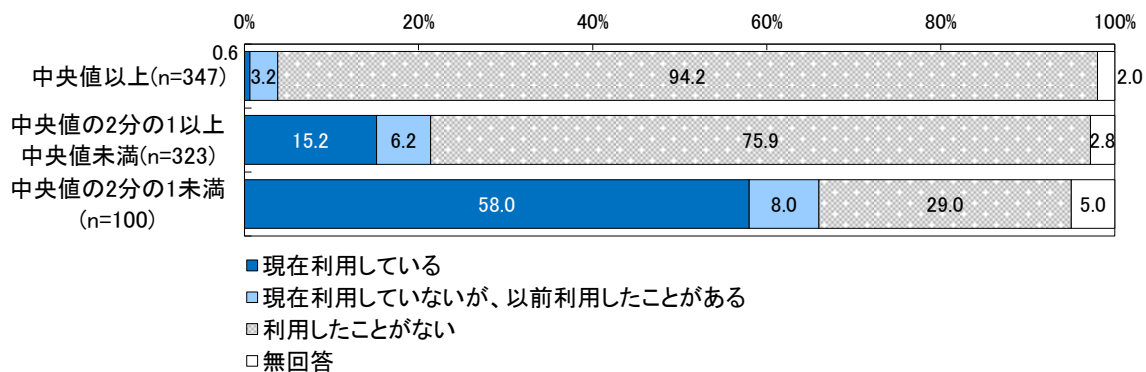
### < a 就学援助 >

【就学援助の利用状況】



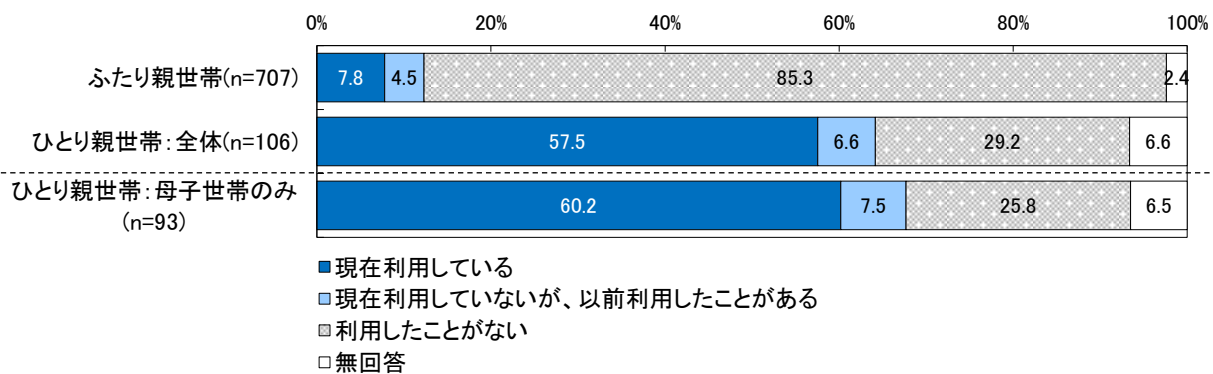
就学援助の利用状況について、「現在利用している」と回答した割合が全体で 14.3%、小学5年生保護者で 16.2%、中学2年生保護者で 11.8%となっている。

### 【就学援助の利用状況（等価世帯収入の水準別）】



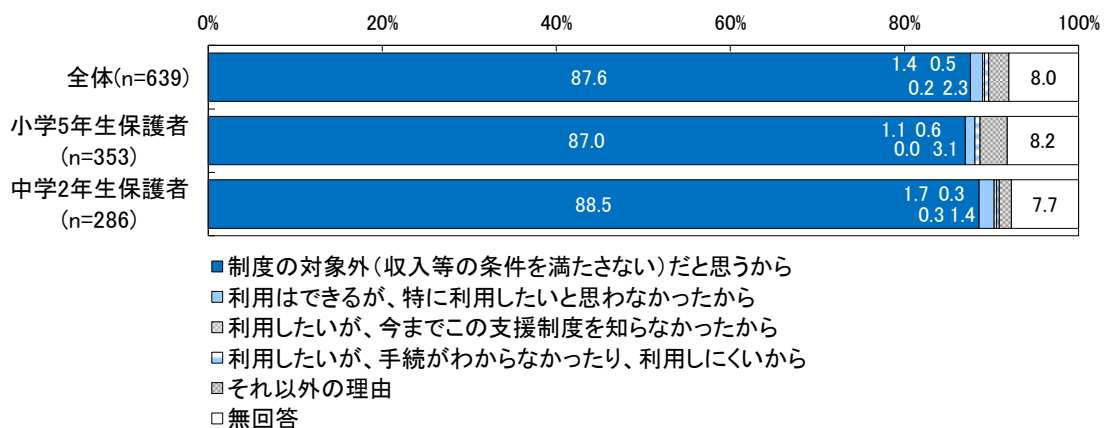
等価世帯収入の水準別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「中央値以上」で0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で15.2%、「中央値の2分の1未満」で58.0%となっている。

### 【就学援助の利用状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で7.8%、「ひとり親世帯」で57.5%、「母子世帯のみ」で60.2%となっている。

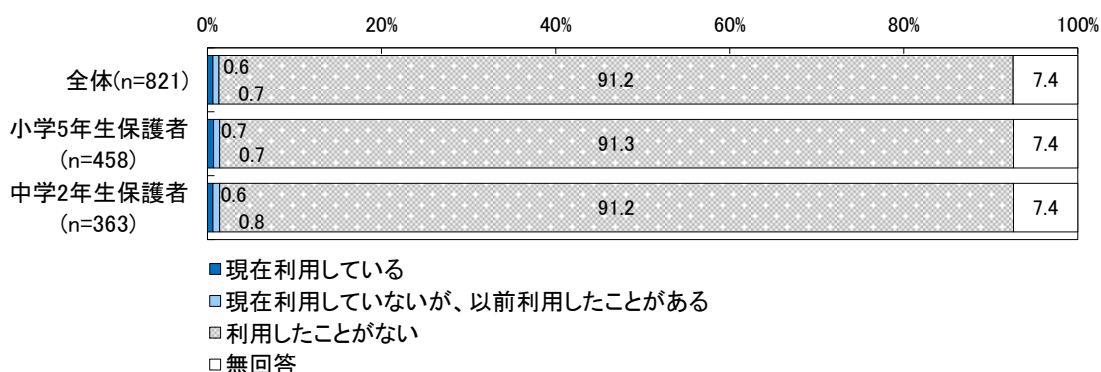
### 【就学援助を利用したことがない理由】



就学援助を利用したことがない理由について、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した割合が全体で87.6%、小学5年生保護者で87.0%、中学2年生保護者で88.5%となっている。

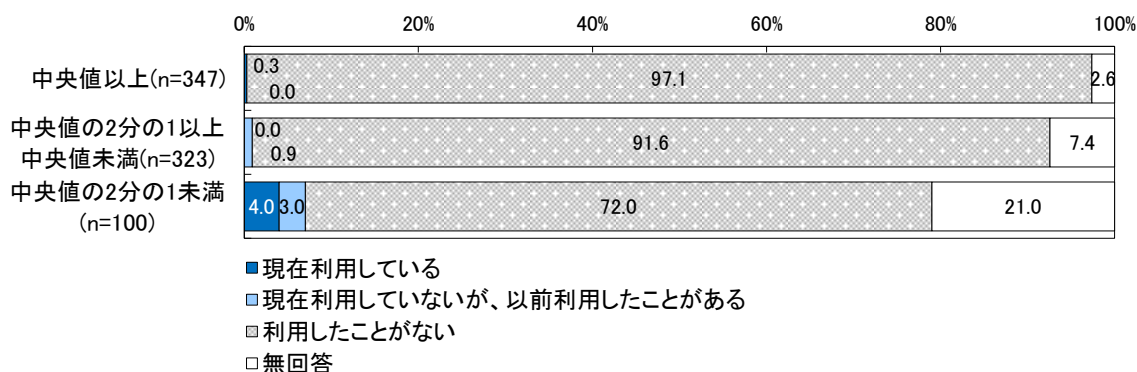
< b 生活保護 >

【生活保護の利用状況】



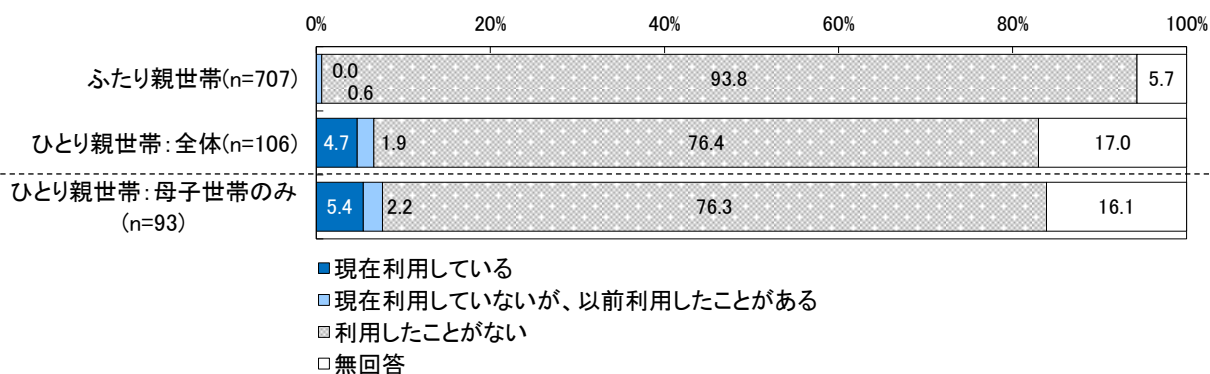
生活保護の利用状況について、「現在利用している」と回答した割合が全体で0.6%、小学5年生保護者で0.7%、中学2年生保護者で0.6%となっている。

【生活保護の利用状況（等価世帯収入の水準別）】



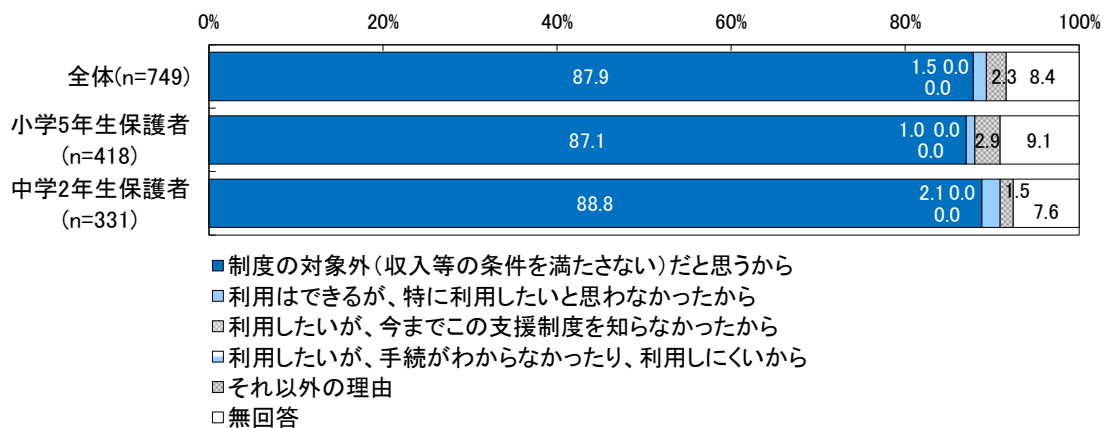
等価世帯収入の水準別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「中央値以上」で0.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で0.0%、「中央値の2分の1未満」で4.0%となっている。

【生活保護の利用状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で0.0%、「ひとり親世帯」で4.7%、「母子世帯のみ」で5.4%となっている。

### 【生活保護を利用したことがない理由】

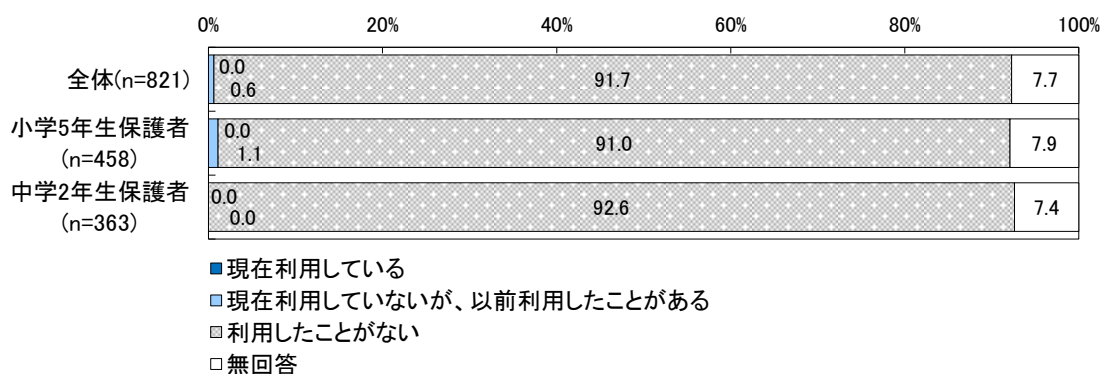


生活保護を利用したことがない理由について、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した割合が全体で87.9%、小学5年生保護者で87.1%、中学2年生保護者で88.8%となっている。



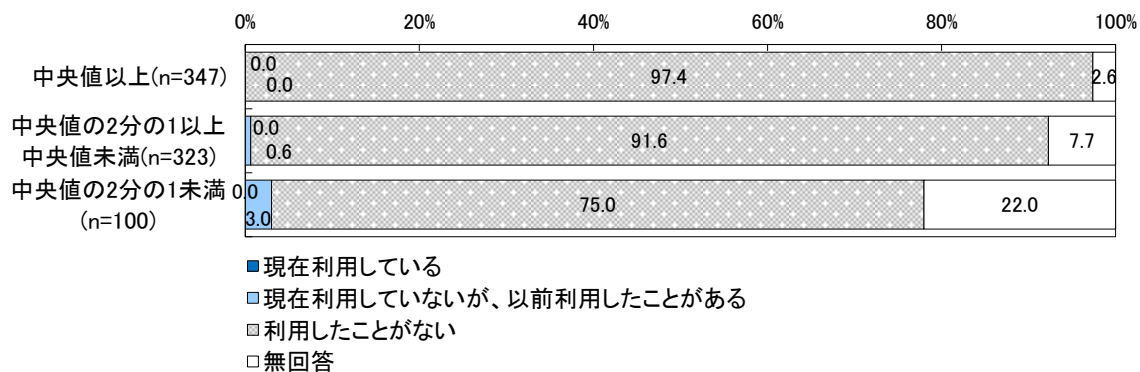
< c 生活困窮者の自立支援相談窓口 >

【生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況】



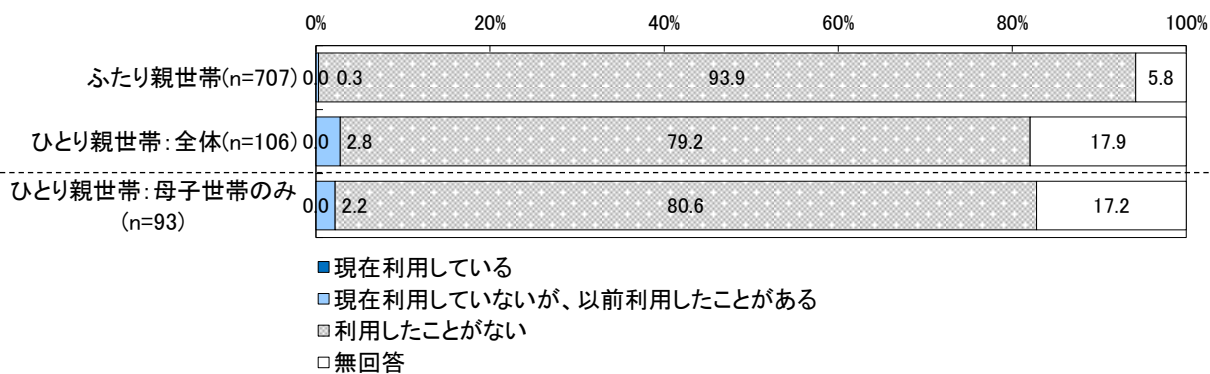
生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合が全体で0.6%、小学5年生保護者で1.1%、中学2年生保護者で0.0%となっている。

【生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況（等価世帯収入の水準別）】



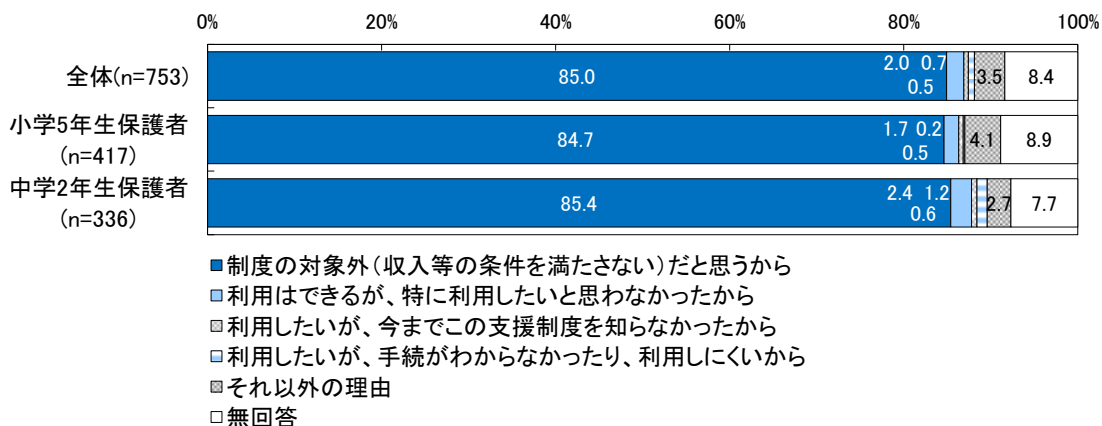
等価世帯収入の水準別にみると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合は、「中央値以上」で0.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で0.6%、「中央値の2分の1未満」で3.0%となっている。

【生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で0.3%、「ひとり親世帯」で2.8%、「母子世帯のみ」で2.2%となっている。

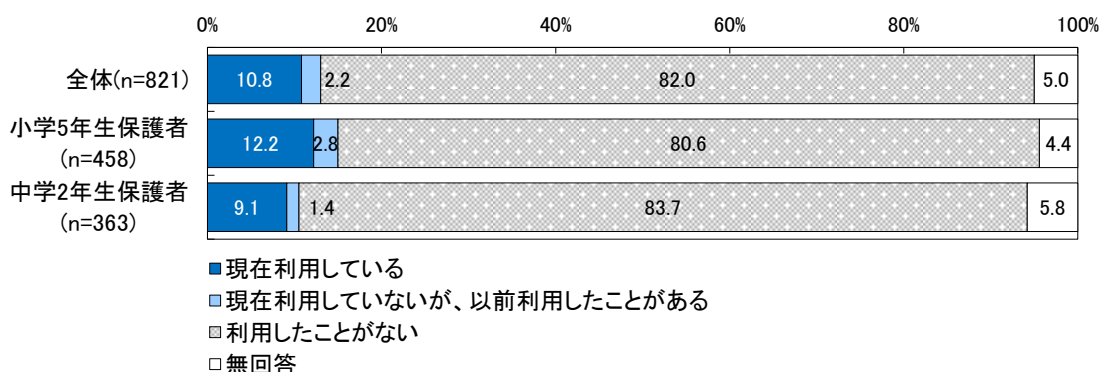
### 【生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由】



生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由について、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」と回答した割合が全体で 85.0%、小学5年生保護者で 84.7%、中学2年生保護者で 85.4%となっている。

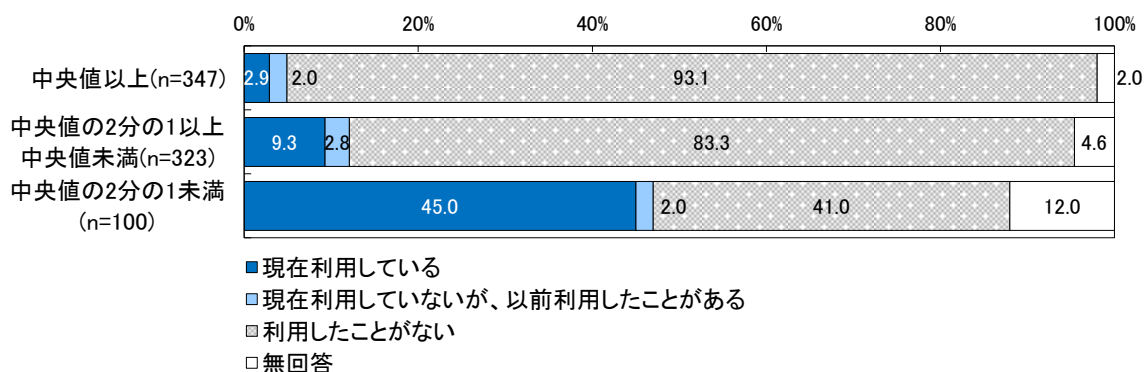
< d 児童扶養手当 >

【児童扶養手当の利用状況】



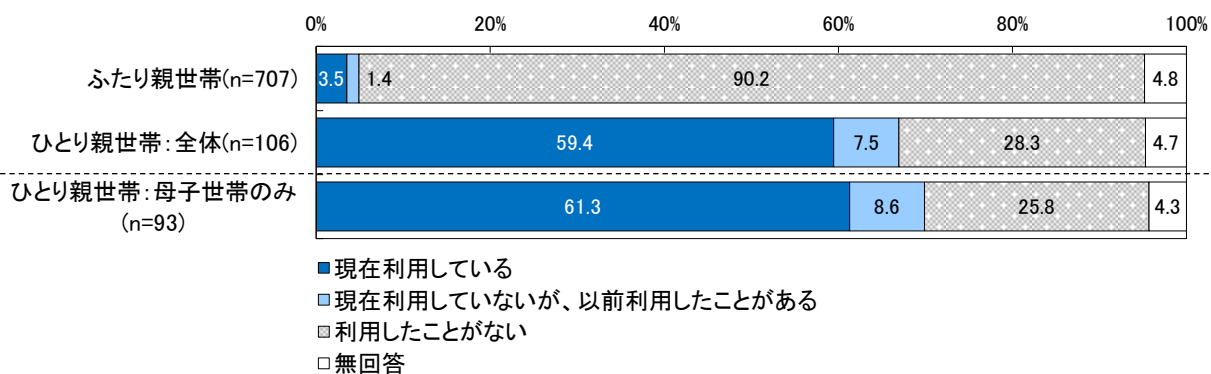
児童扶養手当の利用状況について、「現在利用している」と回答した割合が全体で 10.8%、小学5年生保護者で 12.2%、中学2年生保護者で 9.1%となっている。

【児童扶養手当の利用状況（等価世帯収入の水準別）】



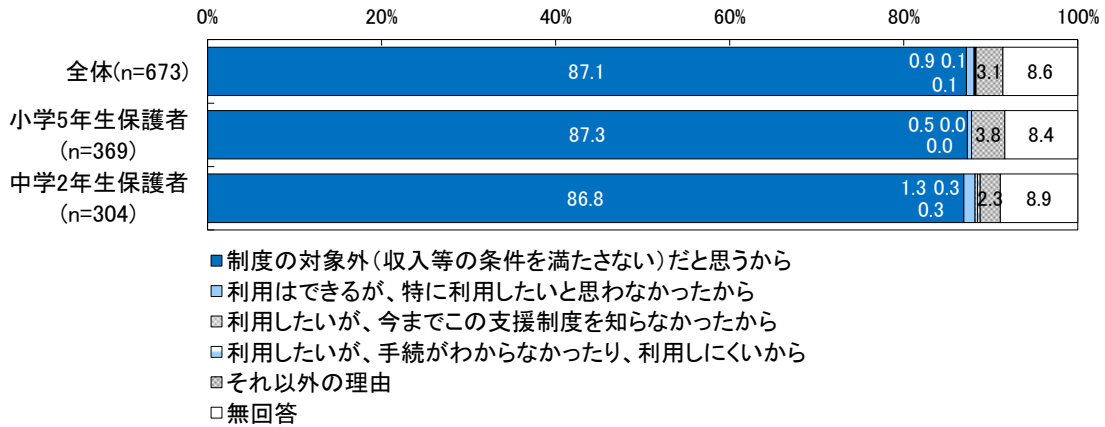
等価世帯収入の水準別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「中央値以上」で 2.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で 9.3%、「中央値の2分の1未満」で 45.0%となっている。

【児童扶養手当の利用状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で 3.5%、「ひとり親世帯」で 59.4%、「母子世帯のみ」で 61.3%となっている。

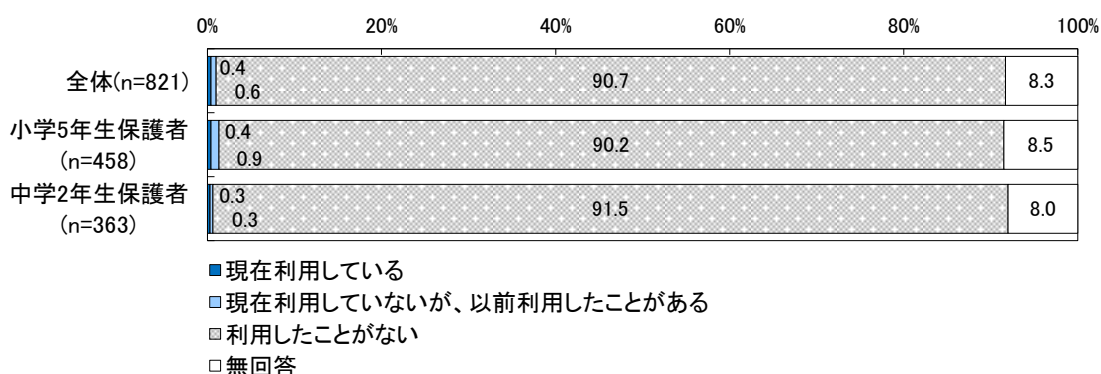
【児童扶養手当を利用したことがない理由】



児童扶養手当を利用したことがない理由について、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した割合が全体で87.1%、小学5年生保護者で87.3%、中学2年生保護者で86.8%となっている。

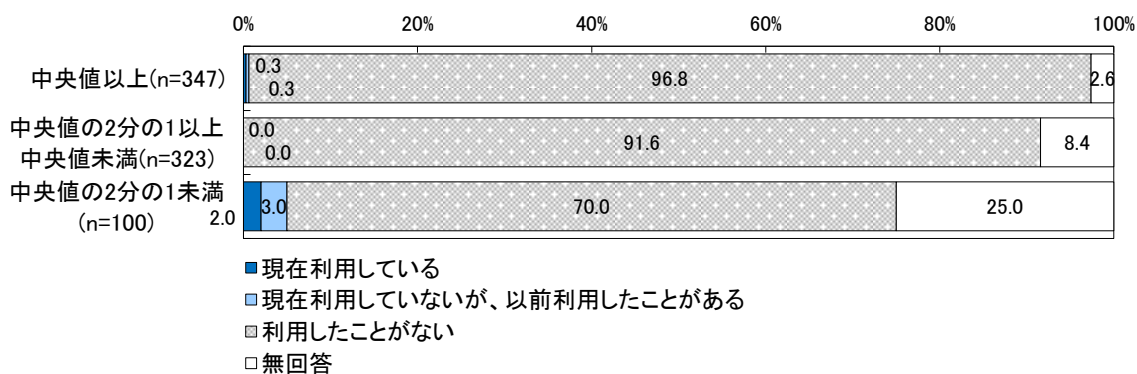
< e 母子家庭等就業・自立支援センター >

【母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況】



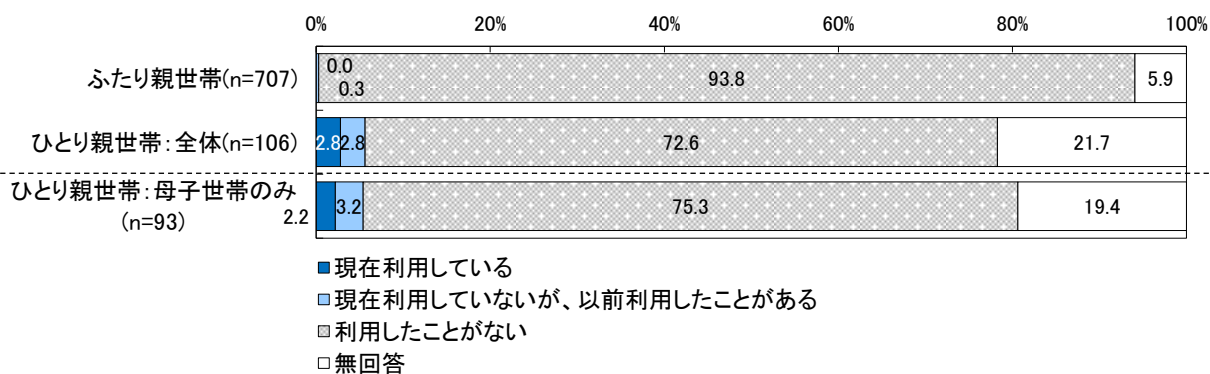
母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、「現在利用している」と回答した割合が全体で0.4%、小学5年生保護者で0.4%、中学2年生保護者で0.3%となっている。

【母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況（等価世帯収入の水準別）】



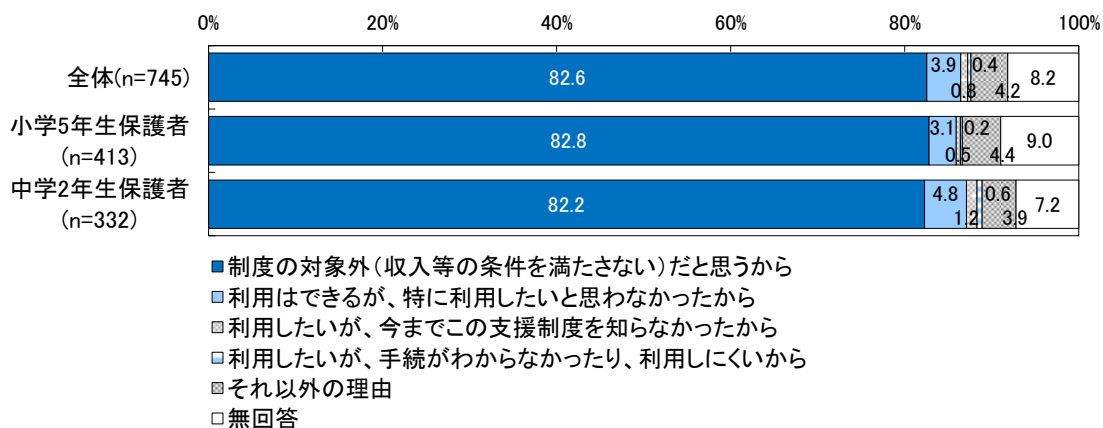
等価世帯収入の水準別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「中央値以上」で0.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で0.0%、「中央値の2分の1未満」で2.0%となっている。

【母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「現在利用している」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で0.0%、「ひとり親世帯」で2.8%、「母子世帯のみ」で2.2%となっている。

【母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがない理由】

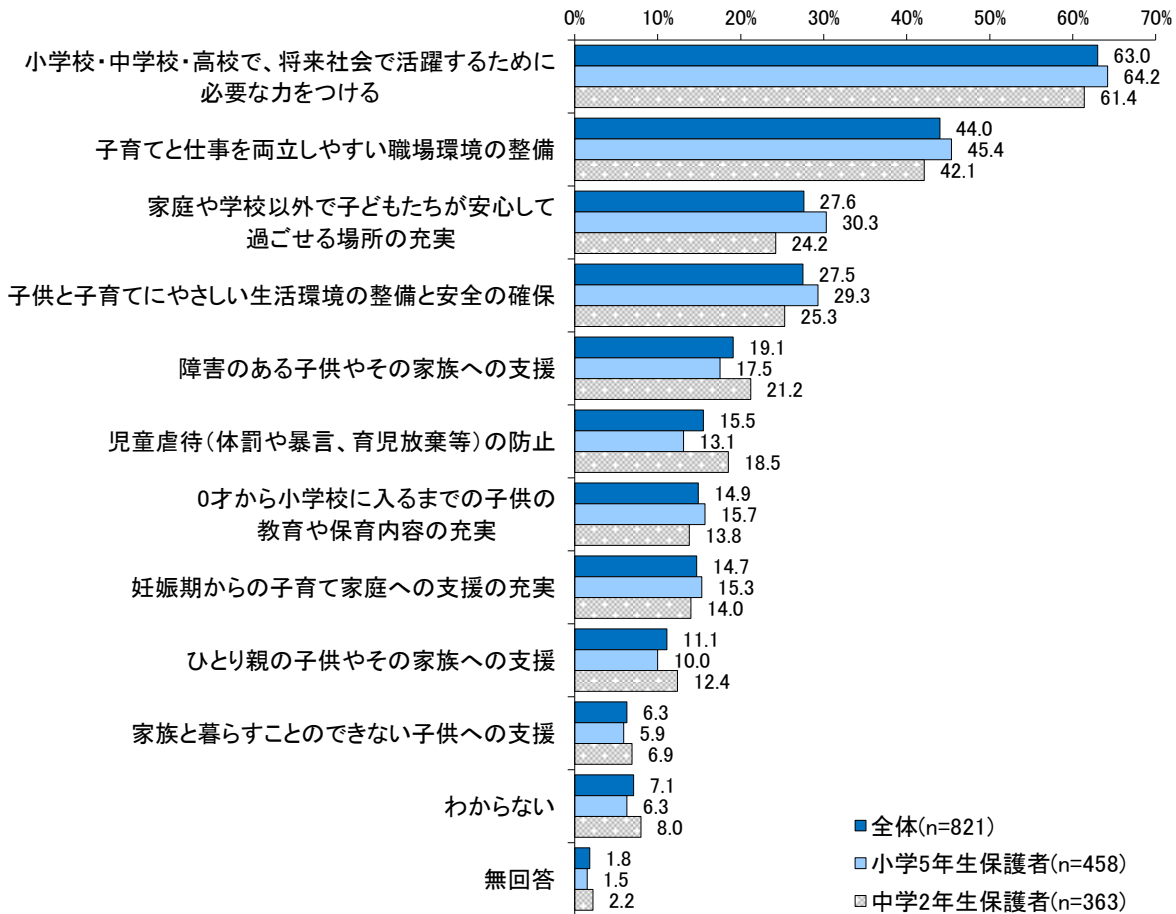


母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがない理由について、「制度的対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答した割合が全体で82.6%、小学5年生保護者で82.8%、中学2年生保護者で82.2%となっている。

## 12 子供に関する取組で力を入れてほしいこと

問 29 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（あてはまるもの上位3つまでに○）

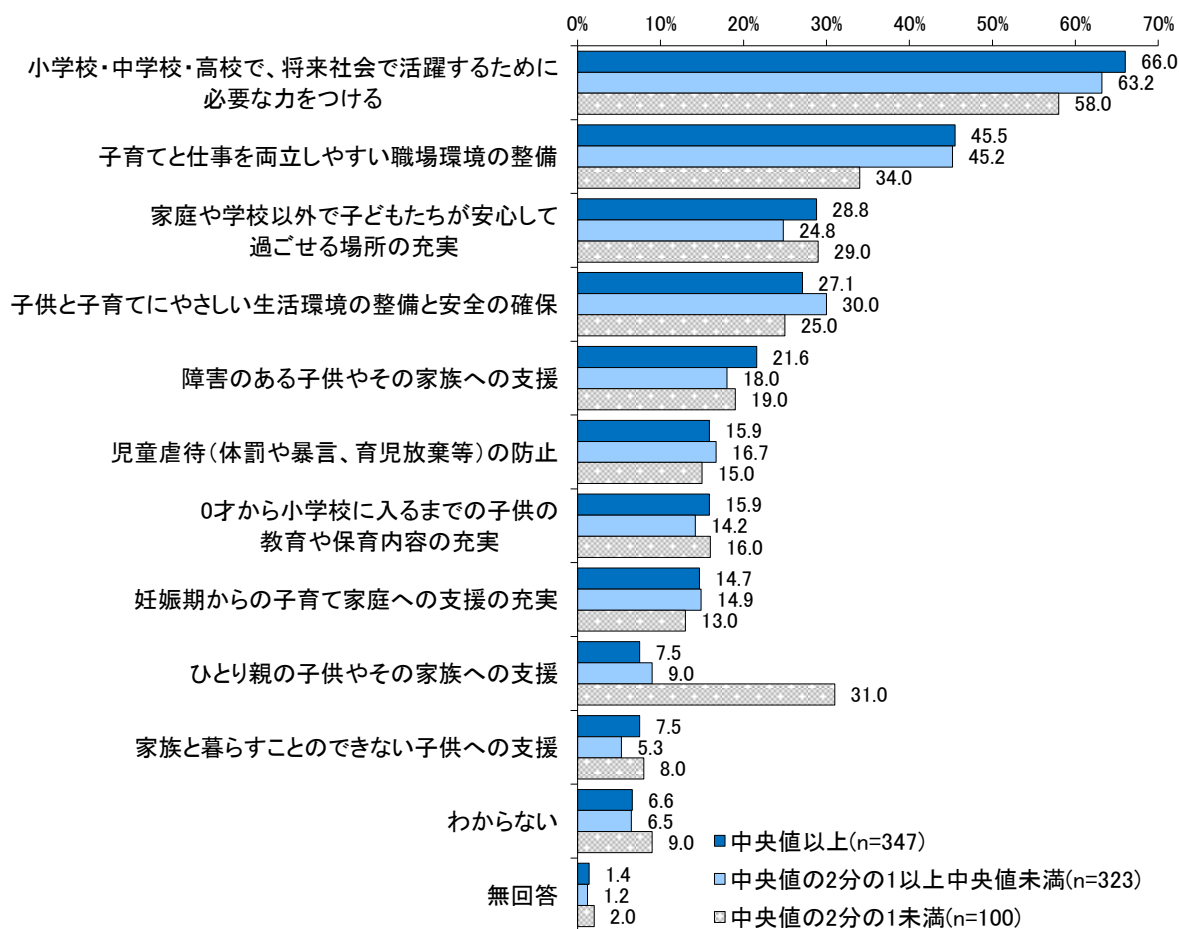
【子供に関する取組で力を入れてほしいこと】



子供に関する取組で力を入れてほしいことについて、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」と回答した割合が全体で 63.0%、小学5年生保護者で 64.2%、中学2年生保護者で 61.4%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」と回答した割合が全体で 44.0%、小学5年生保護者で 45.4%、中学2年生保護者で 42.1%となっている。



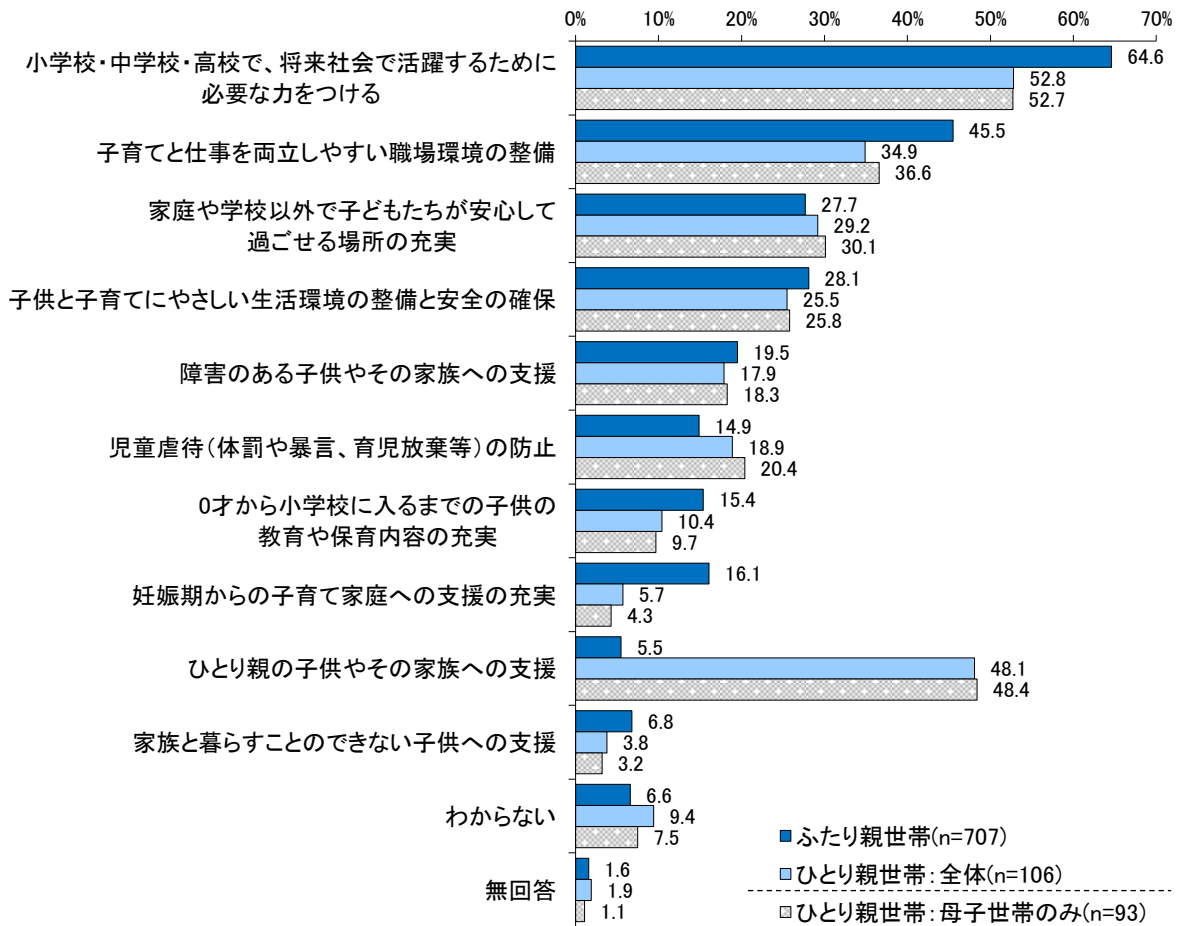
【子供に関する取組で力を入れてほしいこと（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」と回答した割合は、「中央値以上」で66.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で63.2%、「中央値の2分の1未満」で58.0%となっている。

また、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」と回答した割合は、「中央値以上」で45.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で45.2%、「中央値の2分の1未満」で34.0%となっている。

【子供に関する取組で力を入れてほしいこと（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で64.6%、「ひとり親世帯」で52.8%、「母子世帯のみ」で52.7%となっている。

また、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」と回答した割合は、「ふたり親世帯」で45.5%、「ひとり親世帯」で34.9%、「母子世帯のみ」で36.6%となっている。

### Ⅲ 子供票調査結果

#### 1 属性

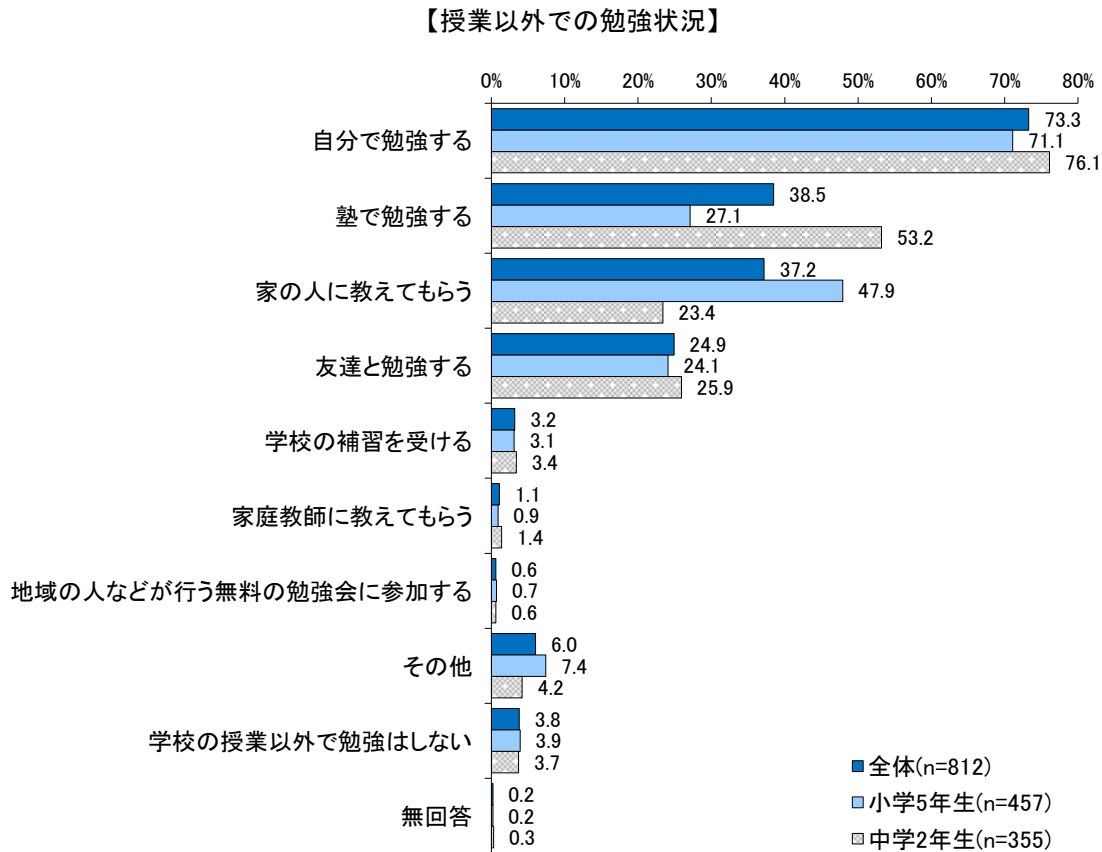
##### (1) 性別

	回答数	男	女	その他・答 えたくない	無回答
全体	812 100.0%	404 49.8%	394 48.5%	10 1.2%	4 0.5%
小学5年生	457 100.0%	226 49.5%	227 49.7%	2 0.4%	2 0.4%
中学2年生	355 100.0%	178 50.1%	167 47.0%	8 2.3%	2 0.6%

## 2 学習状況

### (1) 授業以外での勉強状況

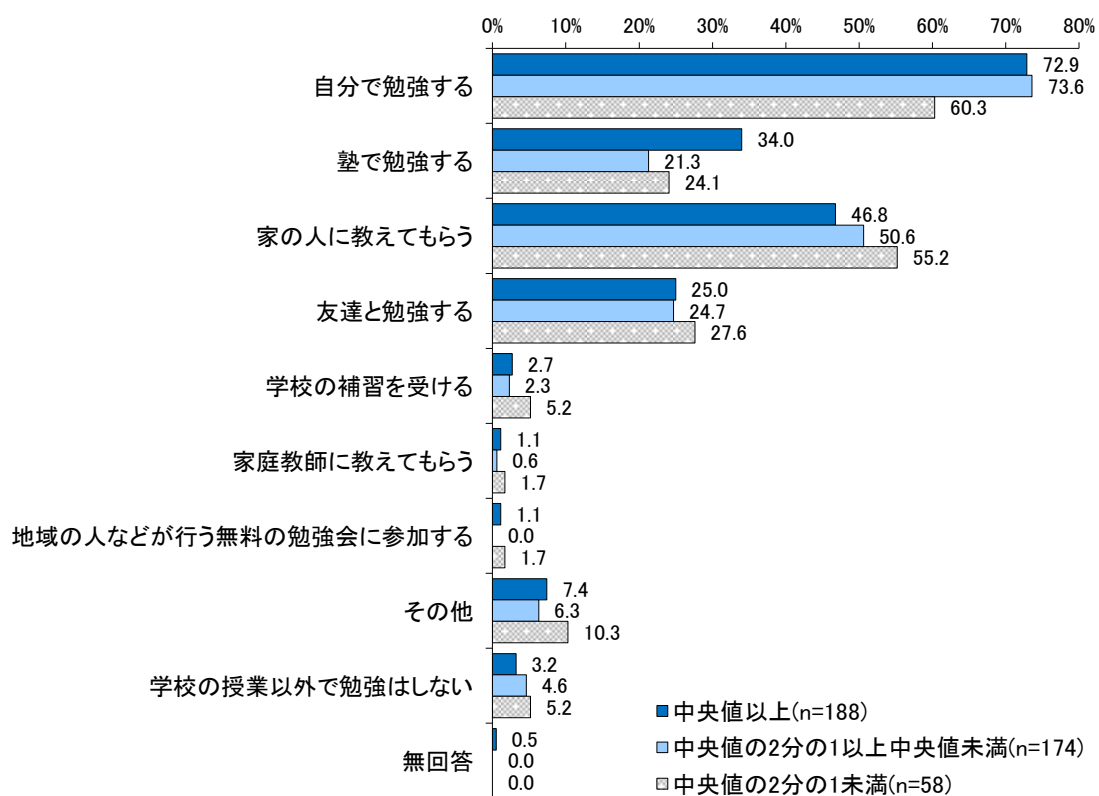
問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。  
※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)



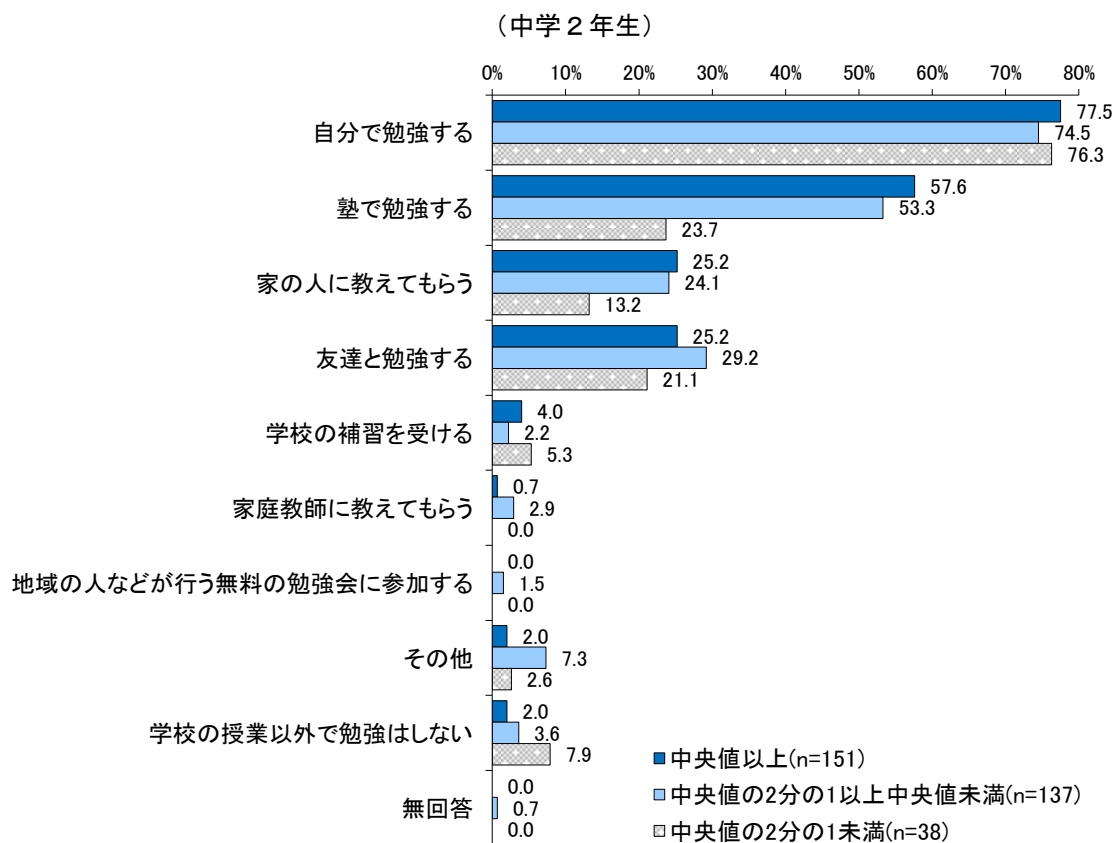
授業以外での勉強状況について、「自分で勉強する」と回答した割合が全体で 73.3%、小学5年生で 71.1%、中学2年生で 76.1%と最も高く、「塾で勉強する」と回答した割合が全体で 38.5%、小学5年生で 27.1%、中学2年生で 53.2%、「家の人に教えてもらう」と回答した割合が全体で 37.2%、小学5年生で 47.9%、中学2年生で 23.4%となっている。

【授業以外での勉強状況（等価世帯収入の水準別）】

（小学5年生）



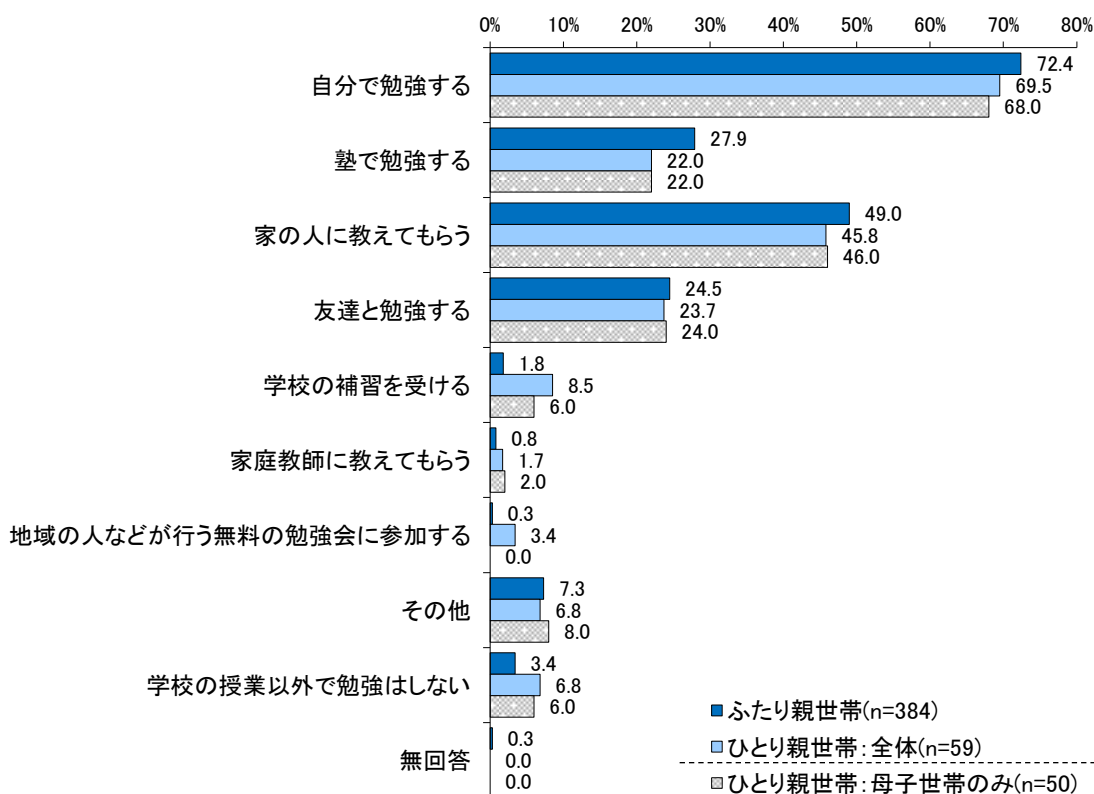
等価世帯収入の水準別にみると、小学5年生では、「家の人に教えてもらう」と回答した割合は、「中央値以上」で46.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で50.6%、「中央値の2分の1未満」で55.2%となっている。



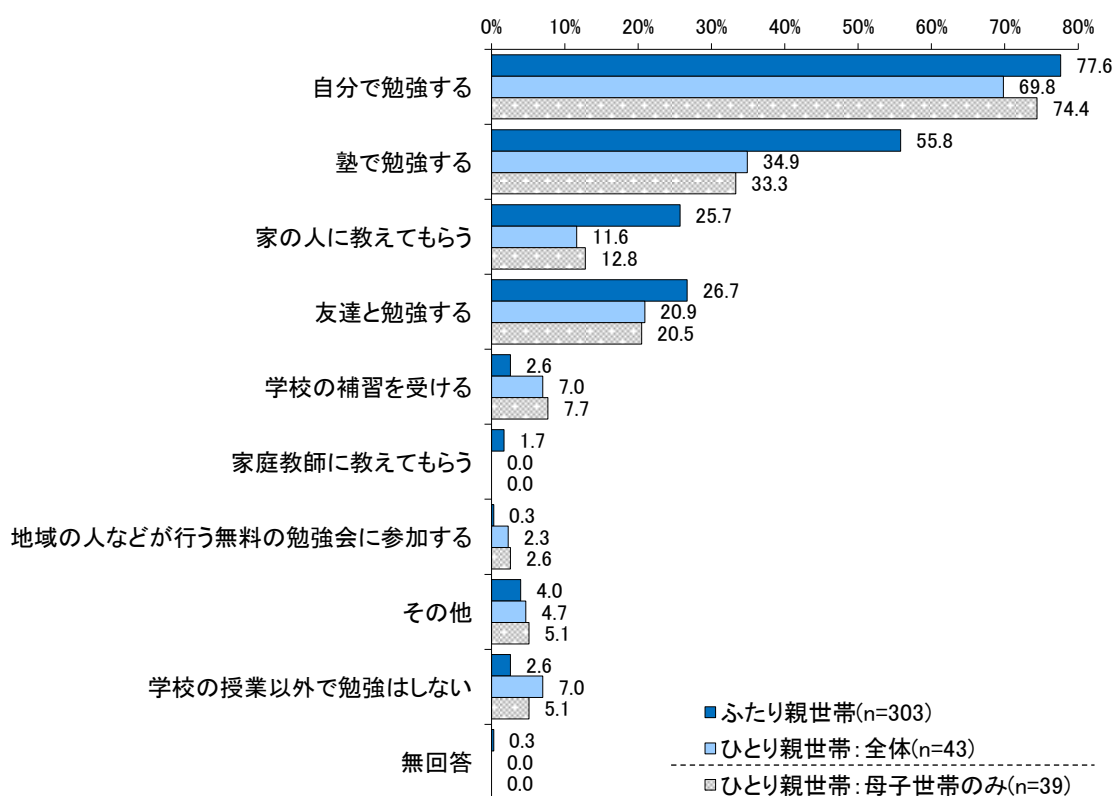
等価世帯収入の水準別にみると、中学2年生では、「塾で勉強する」と回答した割合は、「中央値以上」で 57.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で 53.3%、「中央値の2分の1未満」で 23.7%となっている。

【授業以外での勉強状況（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）



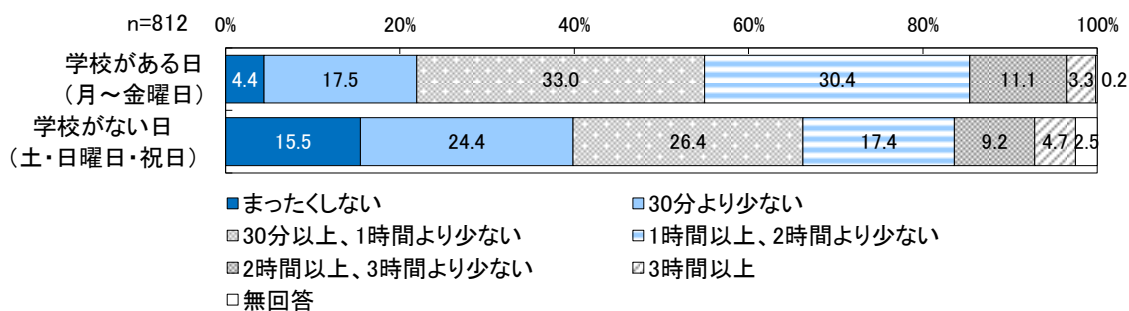
世帯構成別にみると、「塾で勉強する」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で低くなっている。

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

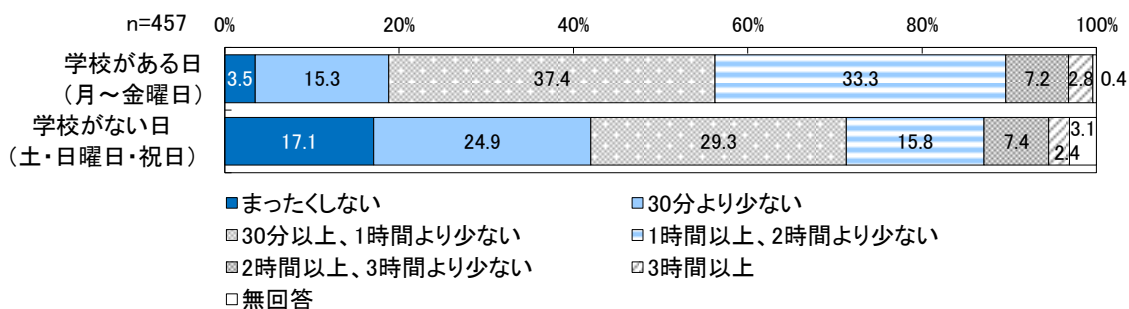
(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【授業以外の1日あたりの勉強時間】

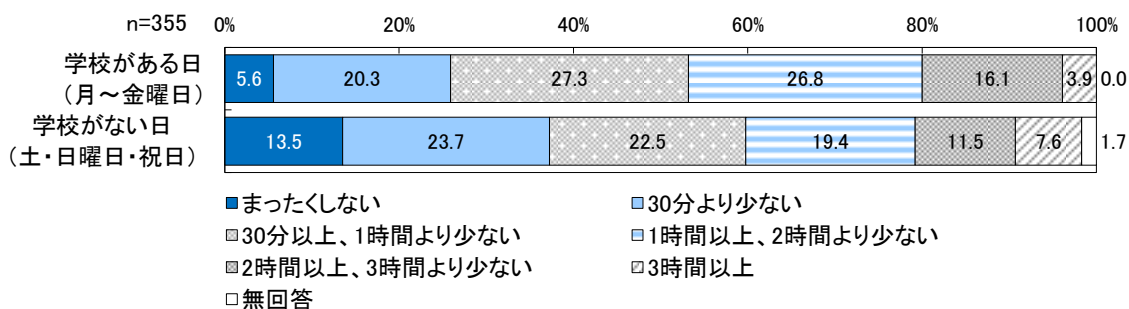
(全体)



(小学5年生)



(中学2年生)

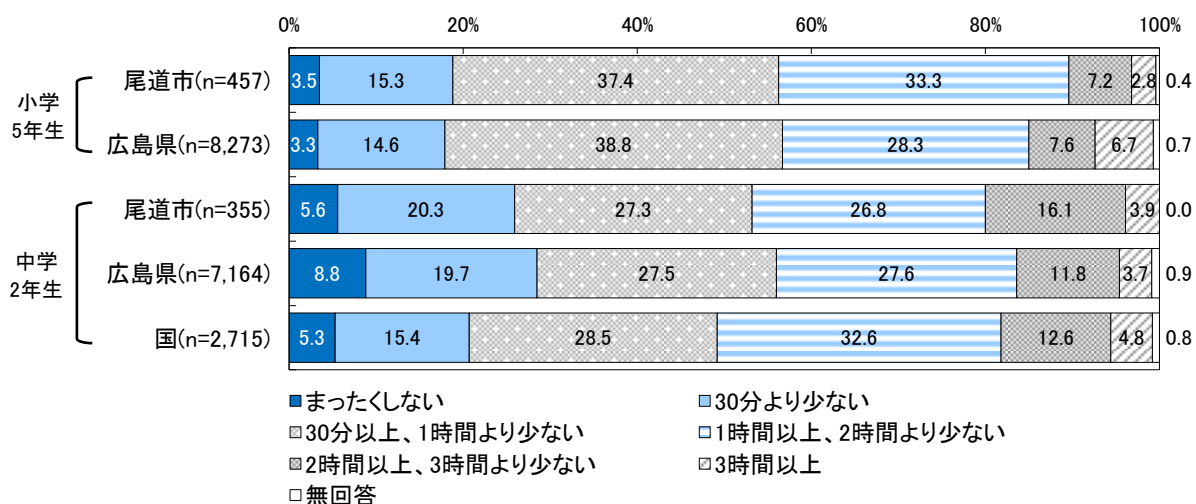


授業以外の1日あたりの勉強時間について、『1時間以上』と回答した割合は、「学校がある日(月～金曜日)」が全体で44.8%、小学5年生で43.3%、中学2年生で46.8%、「学校がない日(土・日曜日・祝日)」が全体で31.3%、小学5年生で25.6%、中学2年生で38.5%となっている。



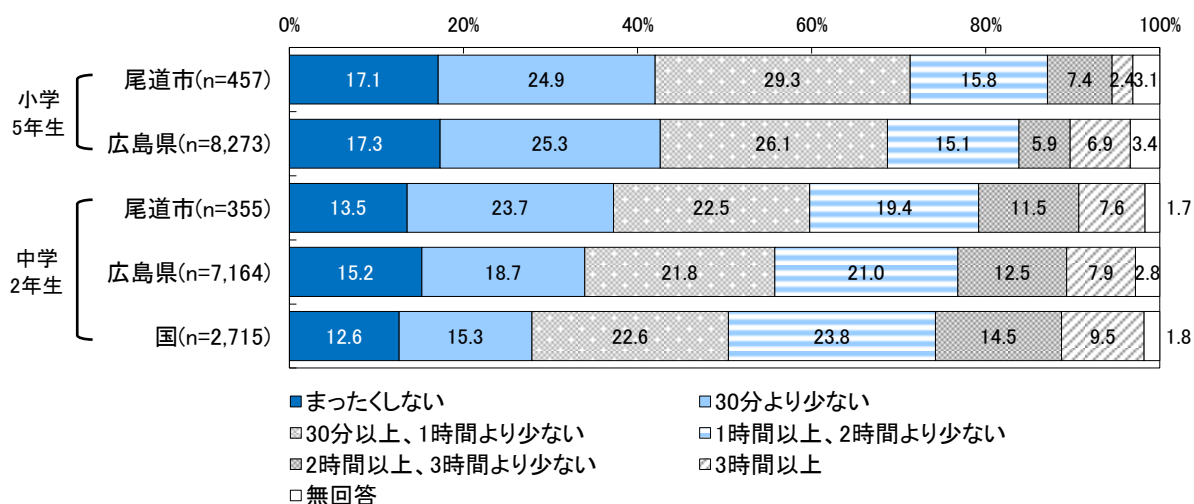
【授業以外の1日あたりの勉強時間（広島県・国との比較）】

（学校がある日）



広島県・国と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、大きな差はみられない。

（学校がない日）

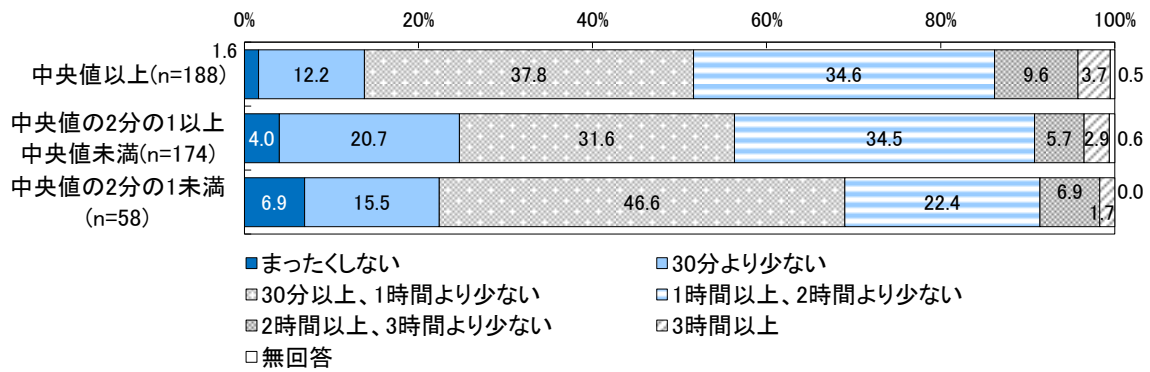


広島県・国と比較すると、小学5年生では、大きな差はみられない。

中学2年生では、『1時間以上』と回答した割合は、尾道市（38.5%）は広島県（41.4%）と大きな差はみられず、国（47.8%）を9.3ポイント下回っている。

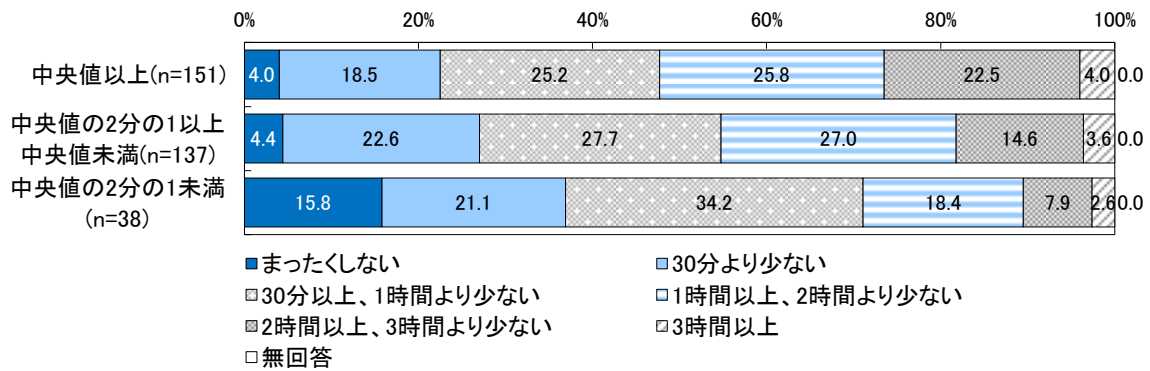
【授業以外の1日あたりの勉強時間（等価世帯収入の水準別）】

（学校がある日・小学5年生）



等価世帯収入の水準別にみると、小学5年生では、『1時間以上』と回答した割合は、「中央値以上」で47.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で43.1%、「中央値の2分の1未満」で31.0%となっている。

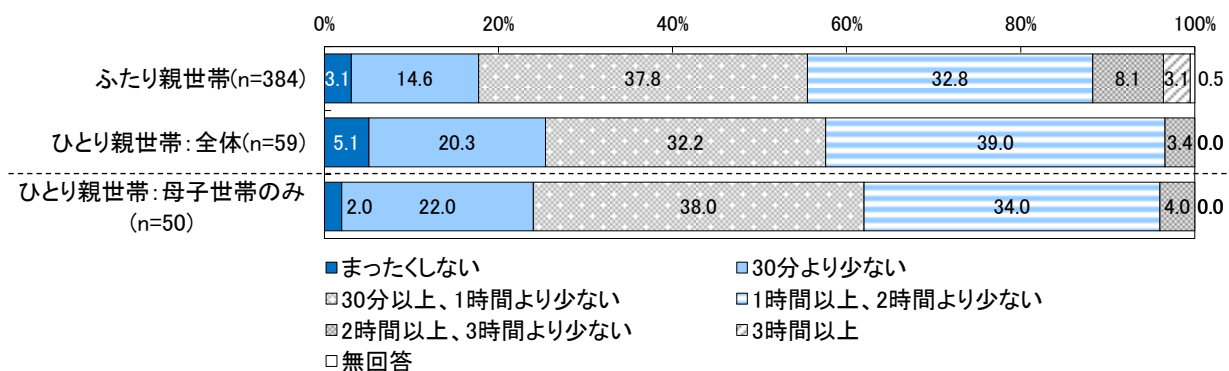
（学校がある日・中学2年生）



等価世帯収入の水準別にみると、中学2年生では、『1時間以上』と回答した割合は、「中央値以上」で52.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で45.2%、「中央値の2分の1未満」で28.9%となっている。

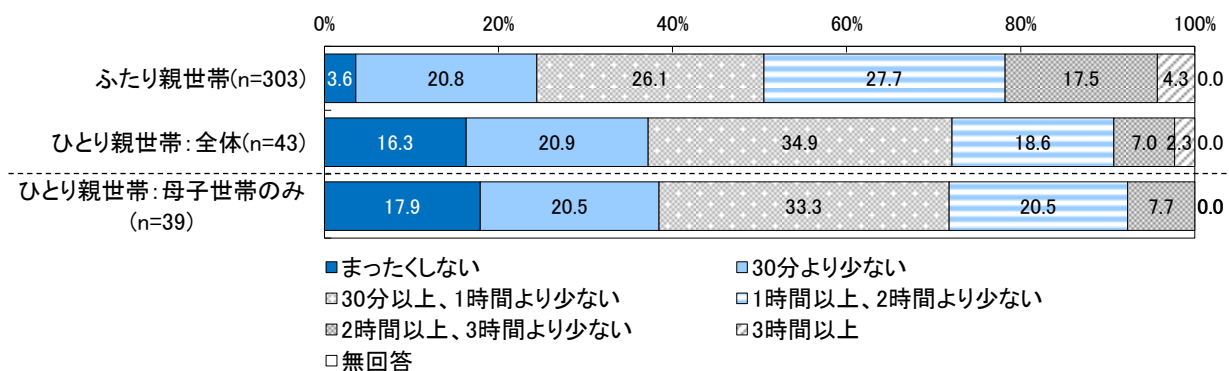
【授業以外の1日あたりの勉強時間（世帯構成別）】

（学校がある日・小学5年生）



世帯構成別にみると、『1時間以上』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で44.0%、「ひとり親世帯」で42.4%、「母子世帯のみ」で38.0%となっている。

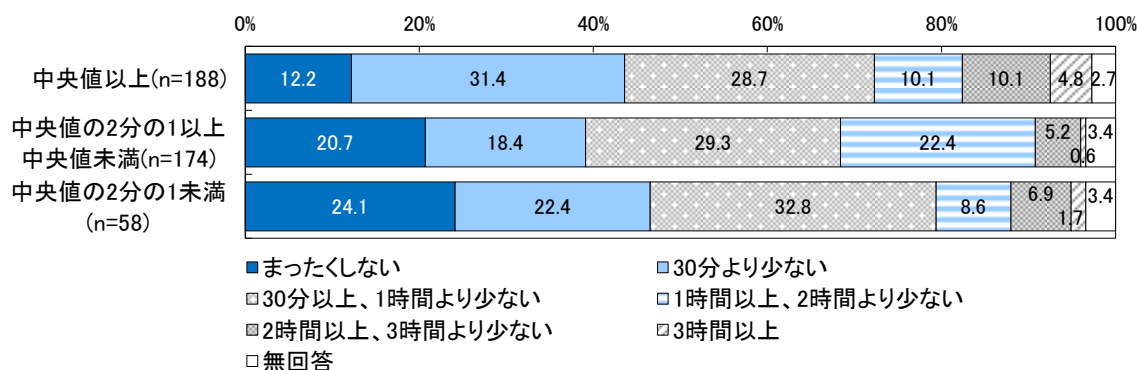
（学校がある日・中学2年生）



世帯構成別にみると、『1時間以上』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で49.5%、「ひとり親世帯」で27.9%、「母子世帯のみ」で28.2%となっている。

【授業以外の1日あたりの勉強時間（等価世帯収入の水準別）】

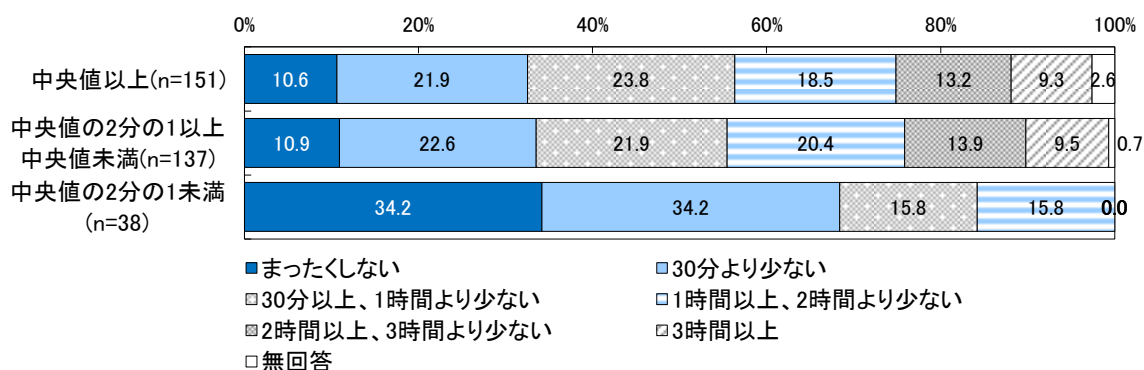
（学校がない日・小学5年生）



等価世帯収入の水準別にみると、小学5年生では、『1時間以上』と回答した割合は、「中央値以上」で25.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で28.2%、「中央値の2分の1未満」で17.2%となっている。

【授業以外の1日あたりの勉強時間（等価世帯収入の水準別）】

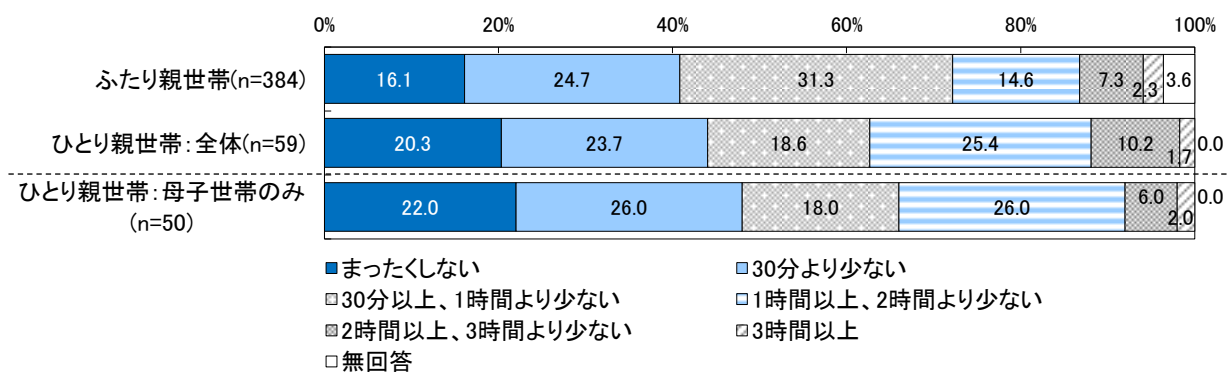
（学校がない日・中学2年生）



等価世帯収入の水準別にみると、中学2年生では、『1時間以上』と回答した割合は、「中央値以上」で41.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で43.8%、「中央値の2分の1未満」で15.8%となっている。

【授業以外の1日あたりの勉強時間（世帯構成別）】

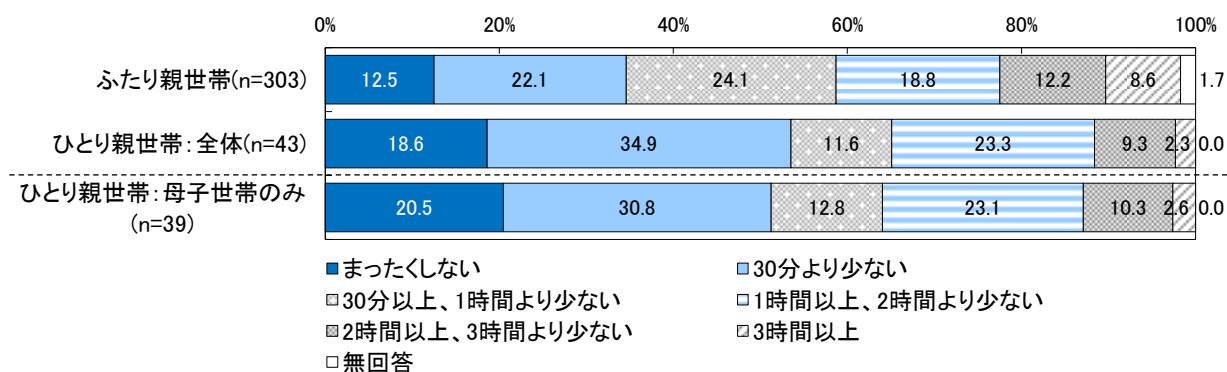
（学校がない日・小学5年生）



世帯構成別にみると、『1時間以上』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で24.2%、「ひとり親世帯」で37.3%、「母子世帯のみ」で34.0%となっている。

【授業以外の1日あたりの勉強時間（世帯構成別）】

（学校がない日・中学2年生）

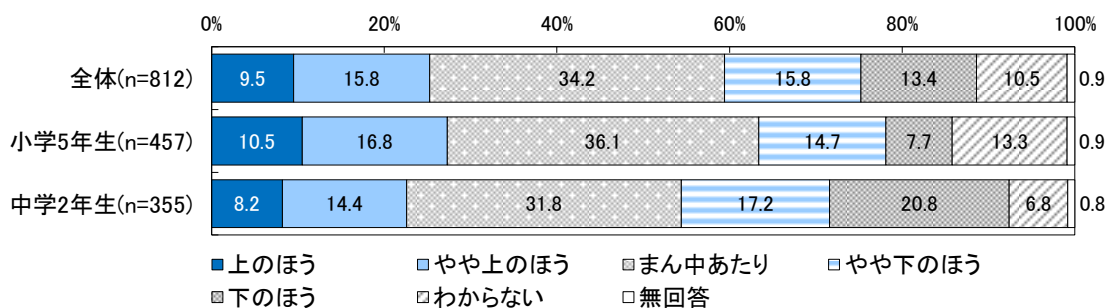


世帯構成別にみると、『1時間以上』と回答した割合は、「ふたり親世帯」で39.6%、「ひとり親世帯」で34.9%、「母子世帯のみ」で36.0%となっている。

## (2) クラス内での成績の順位

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

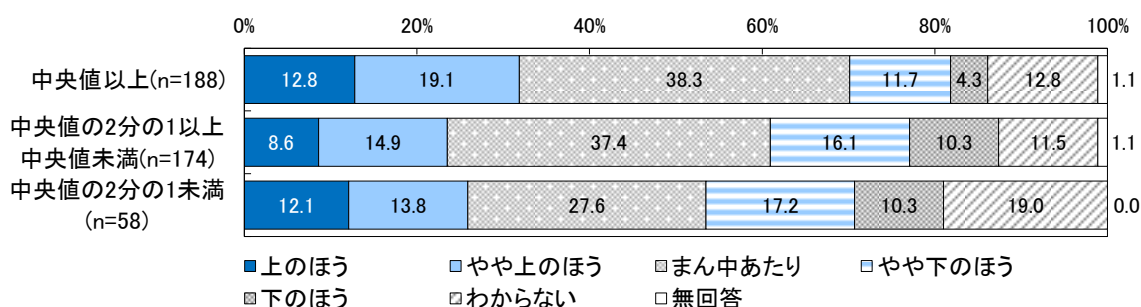
【クラス内での成績の順位】



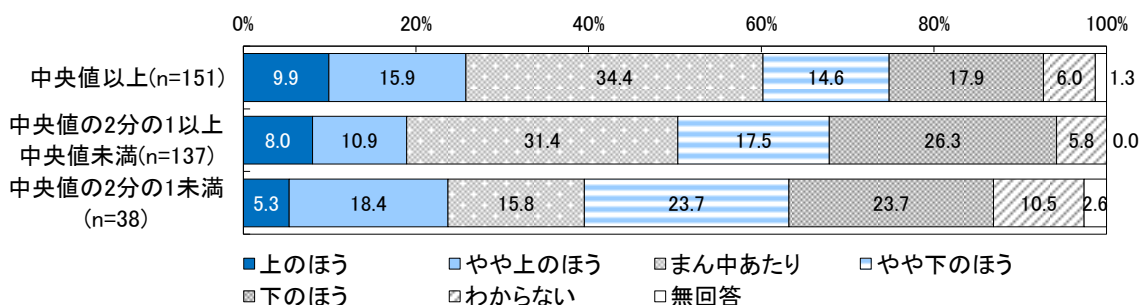
クラス内での成績の順位について、『上のほう』（「上のほう」+「やや上のほう」）と回答した割合が全体で25.3%、小学5年生で27.3%、中学2年生で22.6%、『下のほう』（「下のほう」+「やや下のほう」）と回答した割合が全体で29.2%、小学5年生で22.4%、中学2年生で38.0%となっている。

【クラス内での成績の順位（等価世帯収入の水準別）】

(小学5年生)



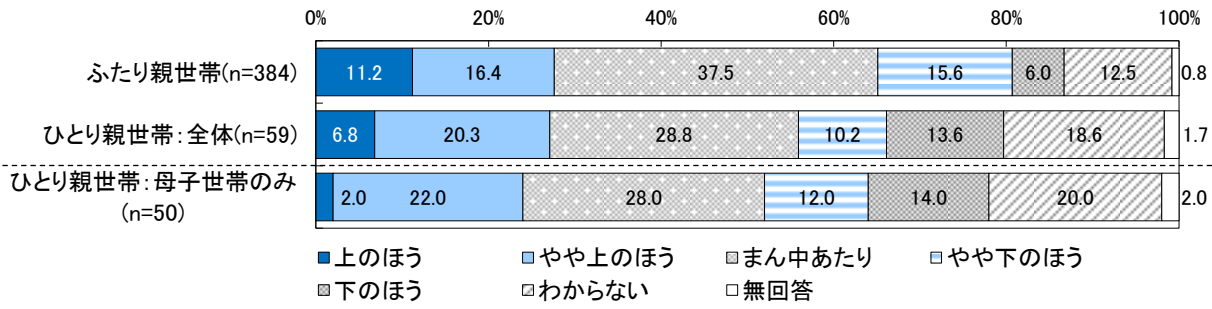
(中学2年生)



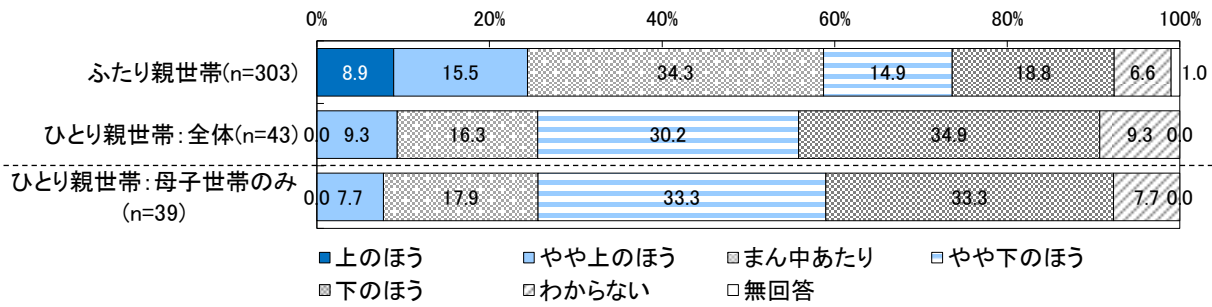
等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で16.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で26.4%、「中央の2分の1未満」で27.5%となっている。中学2年生では、「中央値以上」で32.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で43.8%、「中央値の2分の1未満」で47.4%となっている。

【クラス内での成績の順位（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）

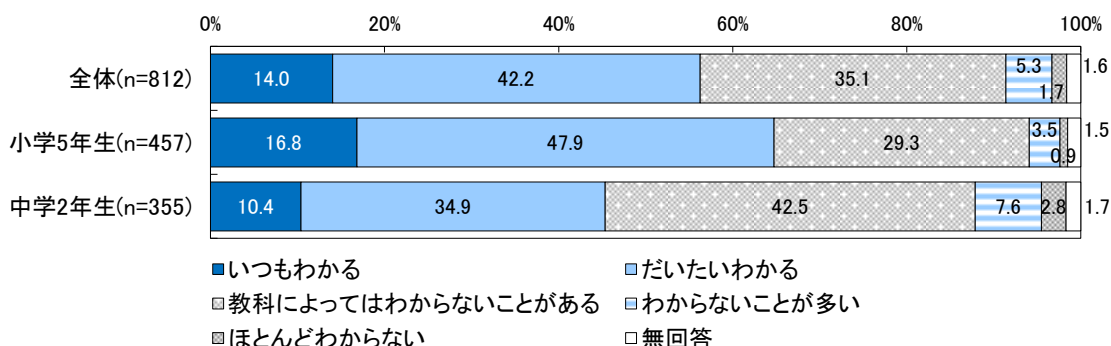


世帯構成別にみると、『下のほう』と回答した割合は、小学5年生では特徴的な差は見られませんが、中学2年生では、「ふたり親世帯」で33.7%、「ひとり親世帯」で65.1%、「母子世帯のみ」で66.6%となっている。

### (3) 授業の理解度

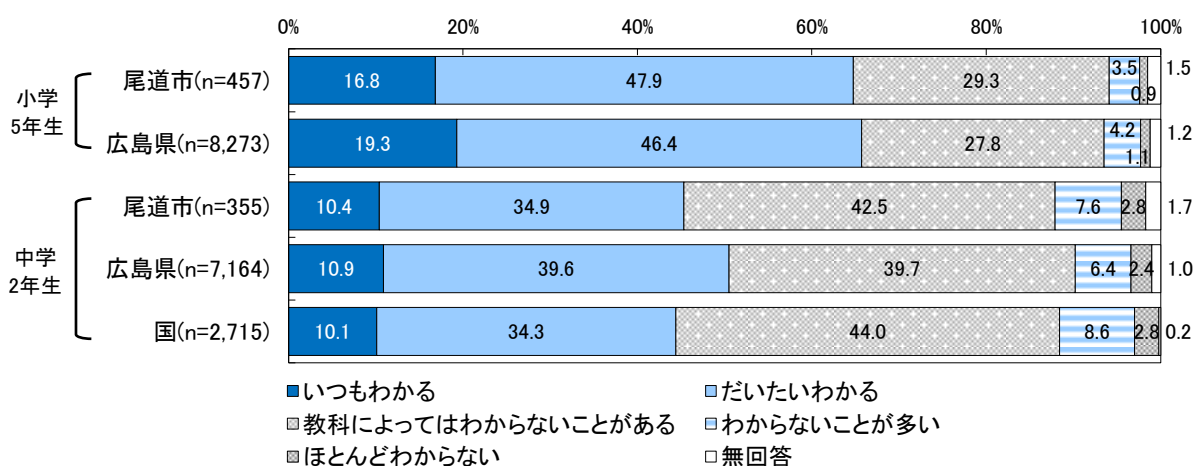
問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

【授業の理解度】



授業の理解度について、『わかる』（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）と回答した割合が全体で56.2%、小学5年生で64.7%、中学2年生で45.3%、『わからない』（「教科によってはわからないことがある」＋「わからないことが多い」＋「ほとんどわからない」）と回答した割合が全体で42.1%、小学5年生で33.7%、中学2年生で52.9%となっている。

【授業の理解度（広島県・国との比較）】



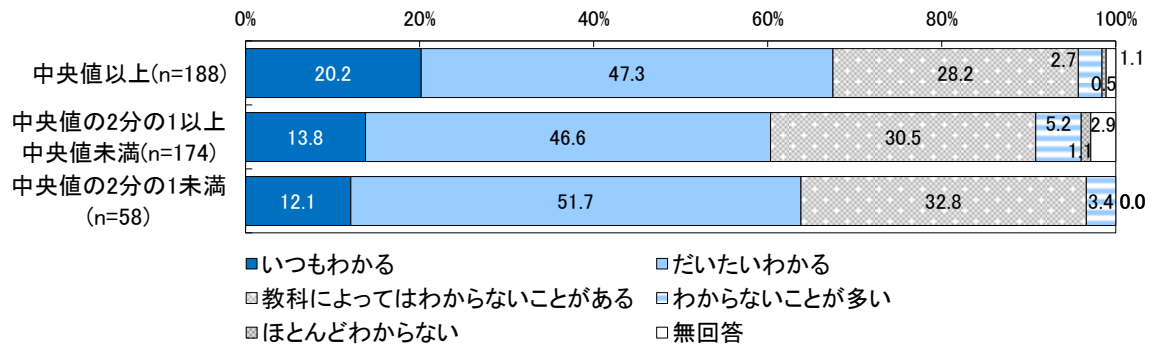
広島県・国と比較すると、小学5年生では、大きな差はみられない。

中学2年生では、『わかる』と回答した割合は、尾道市（45.3%）が広島県（50.5%）を5.2ポイント下回っており、国（44.4%）と大きな差はみられない。

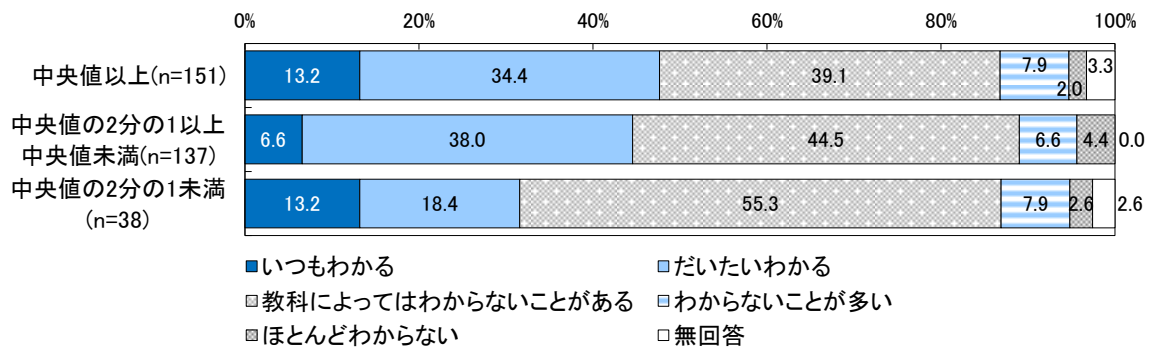


【授業の理解度（等価世帯収入の水準別）】

（小学5年生）



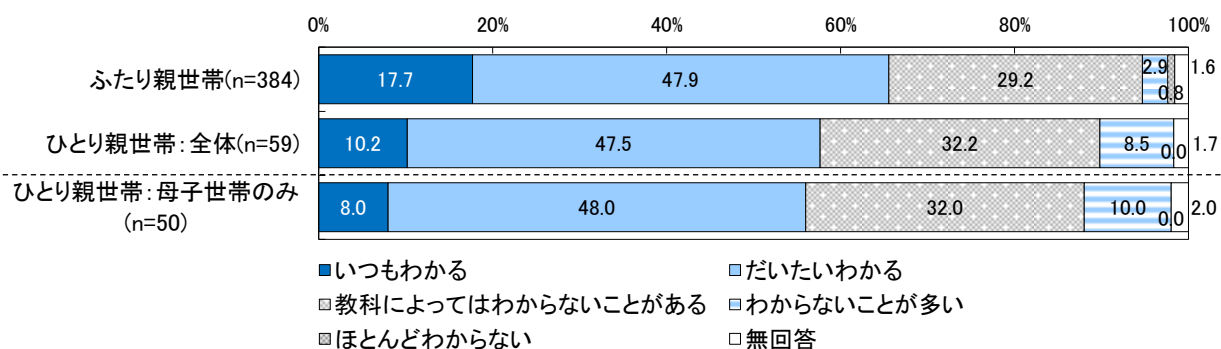
（中学2年生）



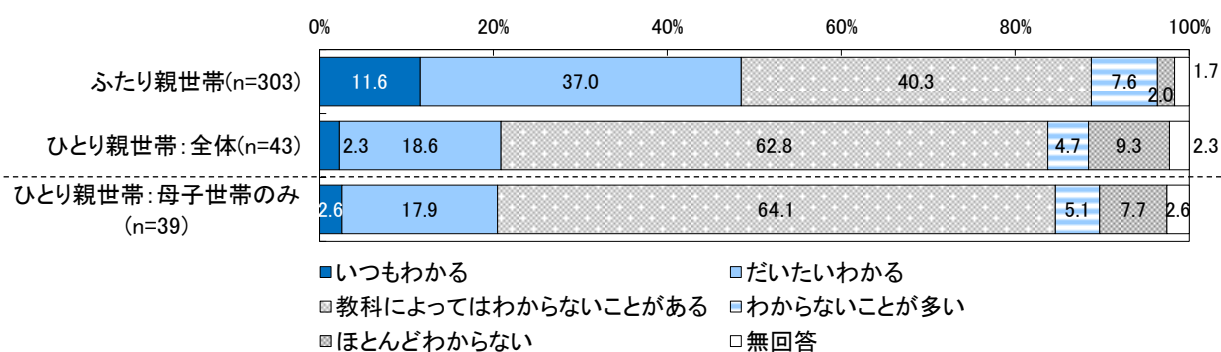
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で34.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で36.8%、「中央値の2分の1未満」で36.2%となっている。中学2年生では、「中央値以上」で49.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で55.5%、「中央値の2分の1未満」で65.8%となっている。

### 【授業の理解度（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）



世帯構成別にみると、『わからない』と回答した割合は、小学5年生では、「ふたり親世帯」で32.9%、「ひとり親世帯」で40.7%、「母子世帯のみ」で42.0%となっている。中学2年生では、「ふたり親世帯」で49.9%、「ひとり親世帯」で76.3%、「母子世帯のみ」で76.2%となっている。

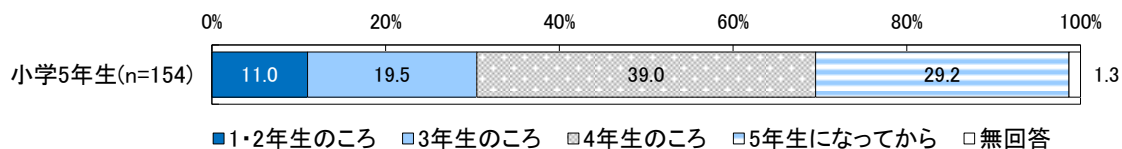
問5で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と回答した人のみ回答

問6 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

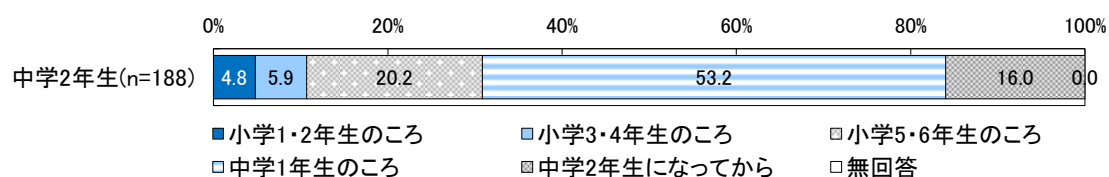
(あてはまるもの1つに○)

【授業がわからなくなり始めた時期】

(小学5年生)



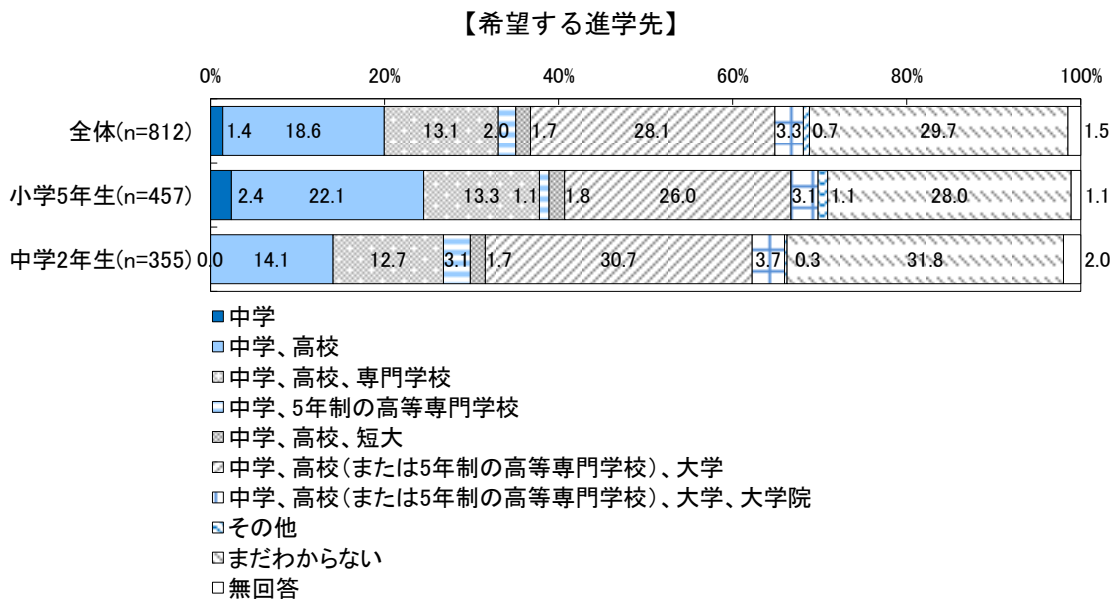
(中学2年生)



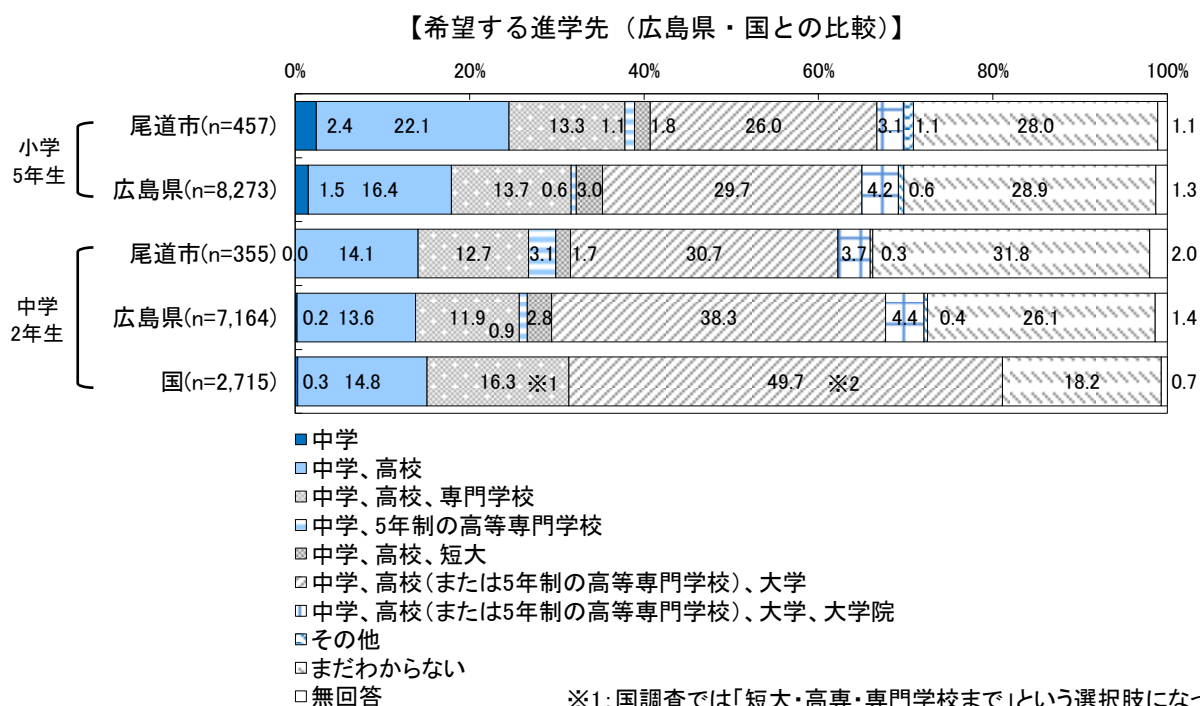
授業がわからなくなり始めた時期について、小学5年生では「4年生のころ」と回答した割合が39.0%、中学2年生では「中学1年生のころ」と回答した割合が53.2%と最も高くなっている。

#### (4) 希望する進学先

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)



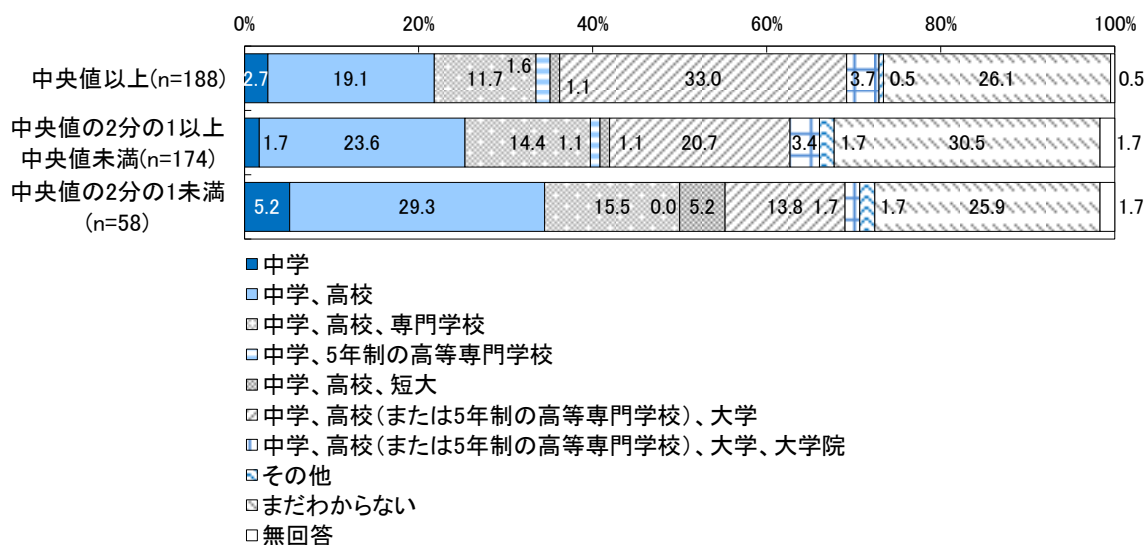
希望する進学先について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合が全体で28.1%、小学5年生で26.0%、中学2年生で30.7%と最も高くなっている。



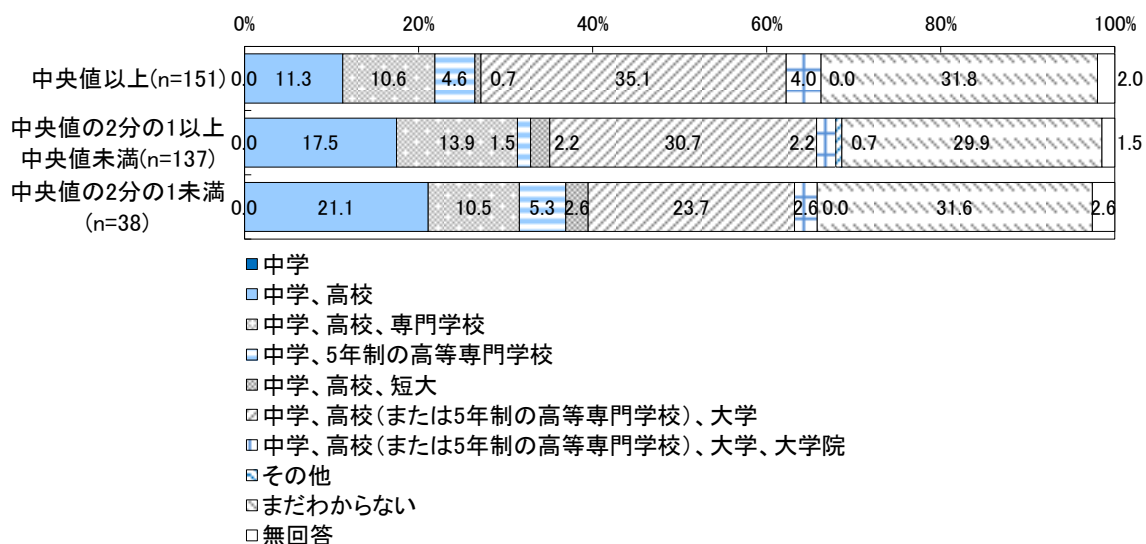
広島県・国と比較すると、小学5年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合に大きな差はみられない。中学2年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、尾道市（30.7%）が広島県（38.3%）を7.6ポイント、国（49.7%）を19.0ポイント下回っている。

【希望する進学先（等価世帯収入の水準別）】

(小学5年生)



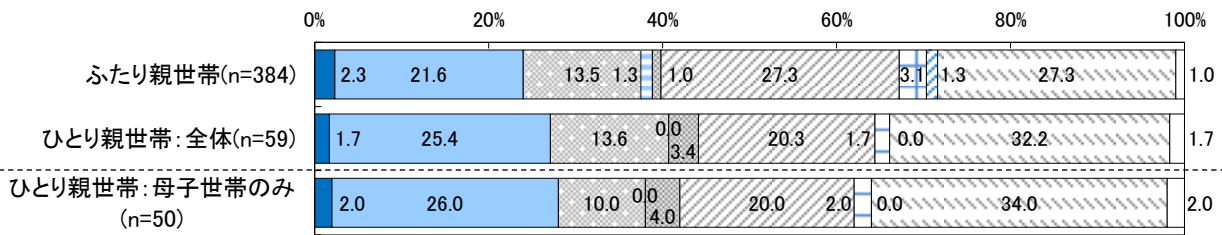
(中学2年生)



等価世帯収入の水準別にみると、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で33.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で20.7%、「中央値の2分の1未満」で13.8%となっている。中学2年生では、「中央値以上」で35.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で30.7%、「中央値の2分の1未満」で23.7%となっている。

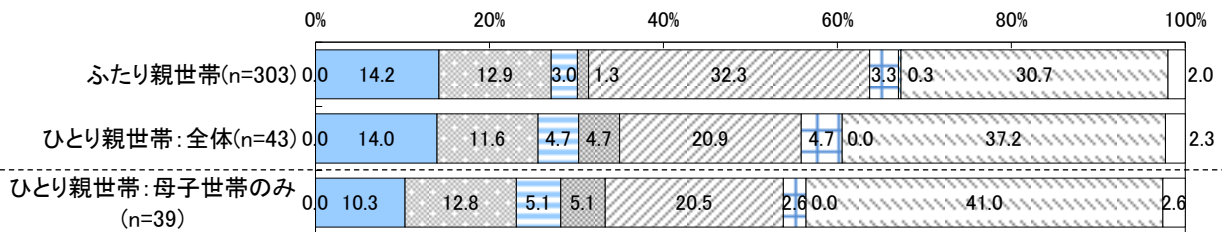
【希望する進学先（世帯構成別）】

(小学5年生)



- 中学
- 中学、高校
- 中学、高校、専門学校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- その他
- まだわからない
- 無回答

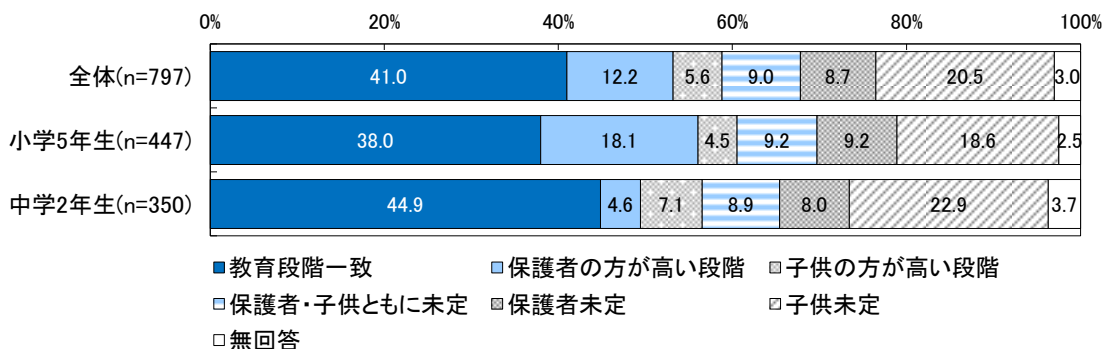
(中学2年生)



- 中学
- 中学、高校
- 中学、高校、専門学校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- その他
- まだわからない
- 無回答

世帯構成別にみると、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で約2割となっている。

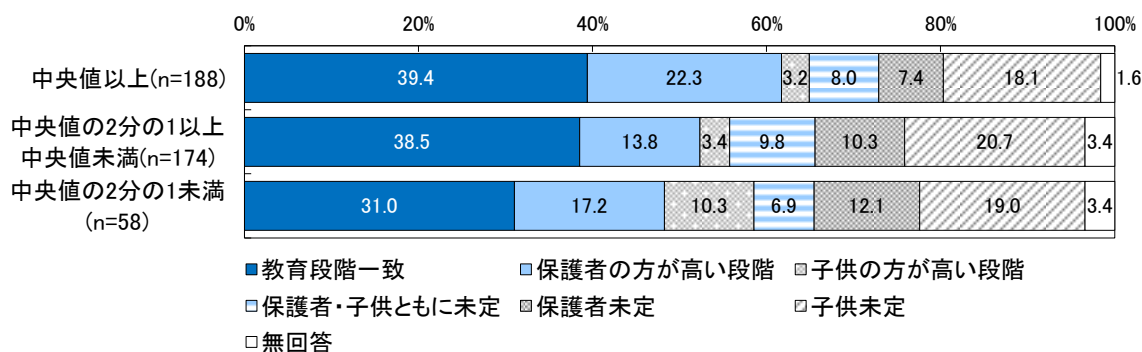
### 【保護者と子供が考える進学希望の一致状況】



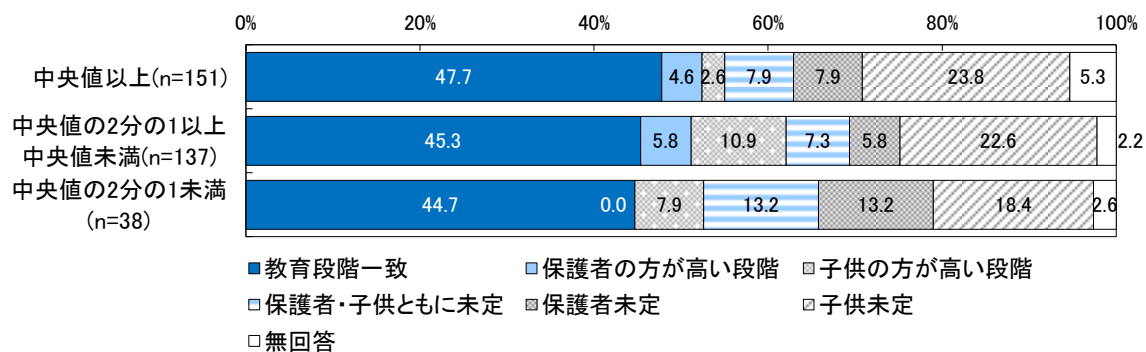
保護者と子供が考える進学希望の一致状況について、「教育段階一致」に該当する割合が全体で41.0%、小学5年生で38.0%、中学2年生で44.9%となっている。

### 【保護者と子供が考える進学希望の一致状況（等価世帯収入の水準別）】

(小学5年生)



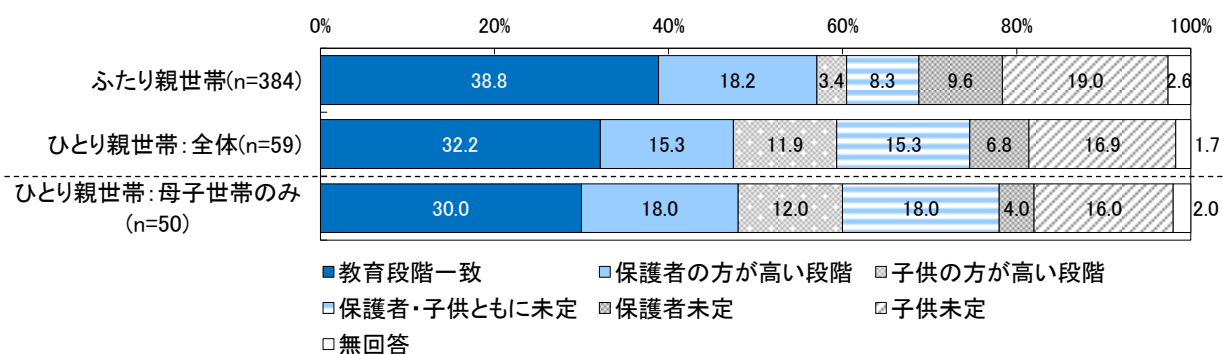
(中学2年生)



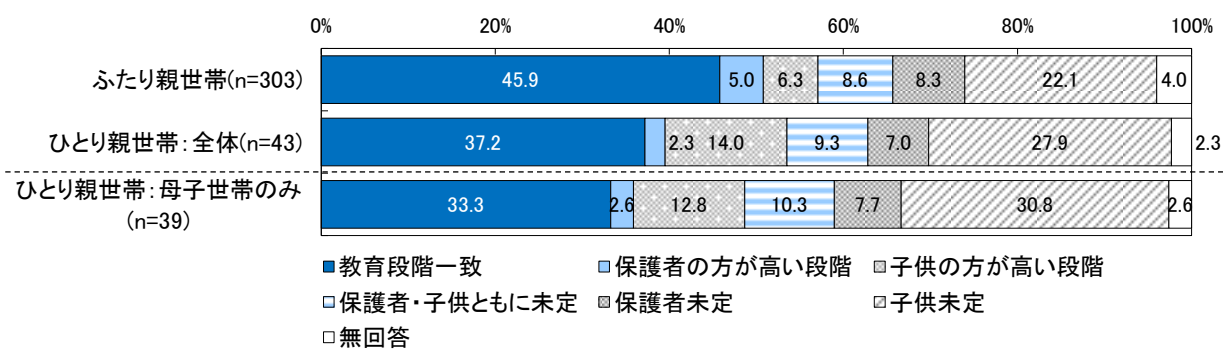
等価世帯収入の水準別にみると、「子供の方が高い段階」に該当する割合は、小学5年生では「中央値の2分の1未満」の層、中学2年生では「中央値の2分の1以上中央値未満」の層で約1割となっている。

【保護者と子供が考える進学希望の一致状況（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）



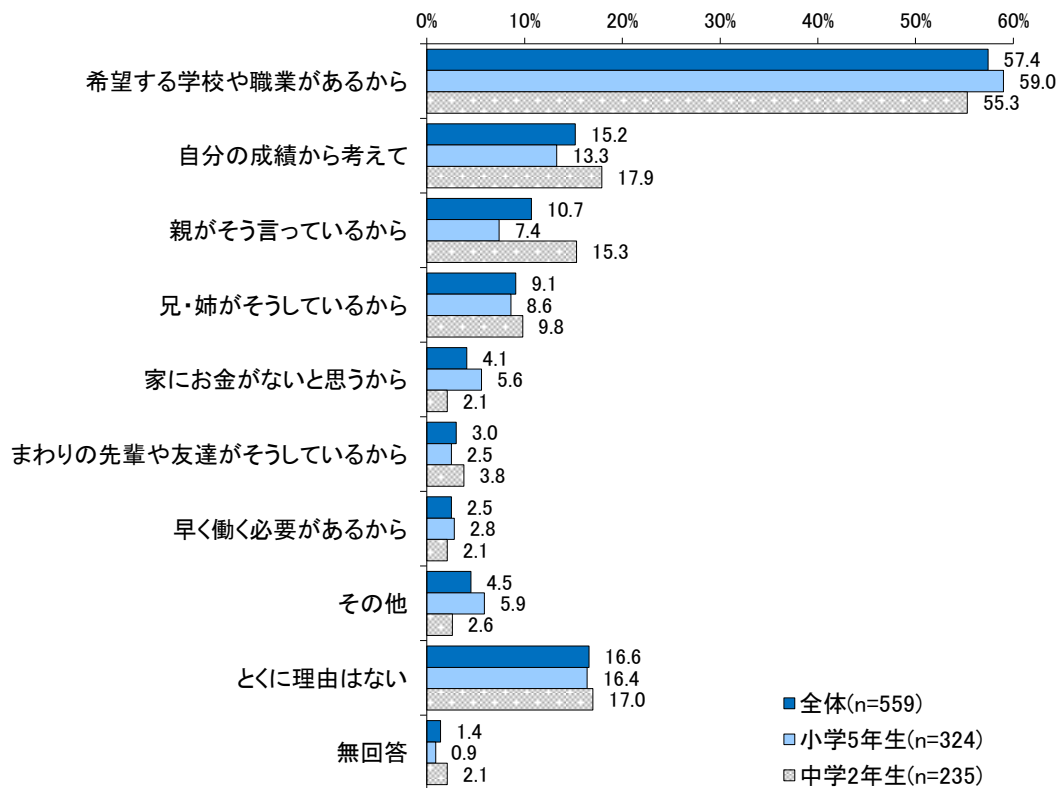
世帯構成別にみると、「子供の方が高い段階」に該当する割合は、小学5年生、中学2年生ともに、「ひとり親世帯」で1割を超えている。



問7で「中学以上に進学」と回答した人のみ回答

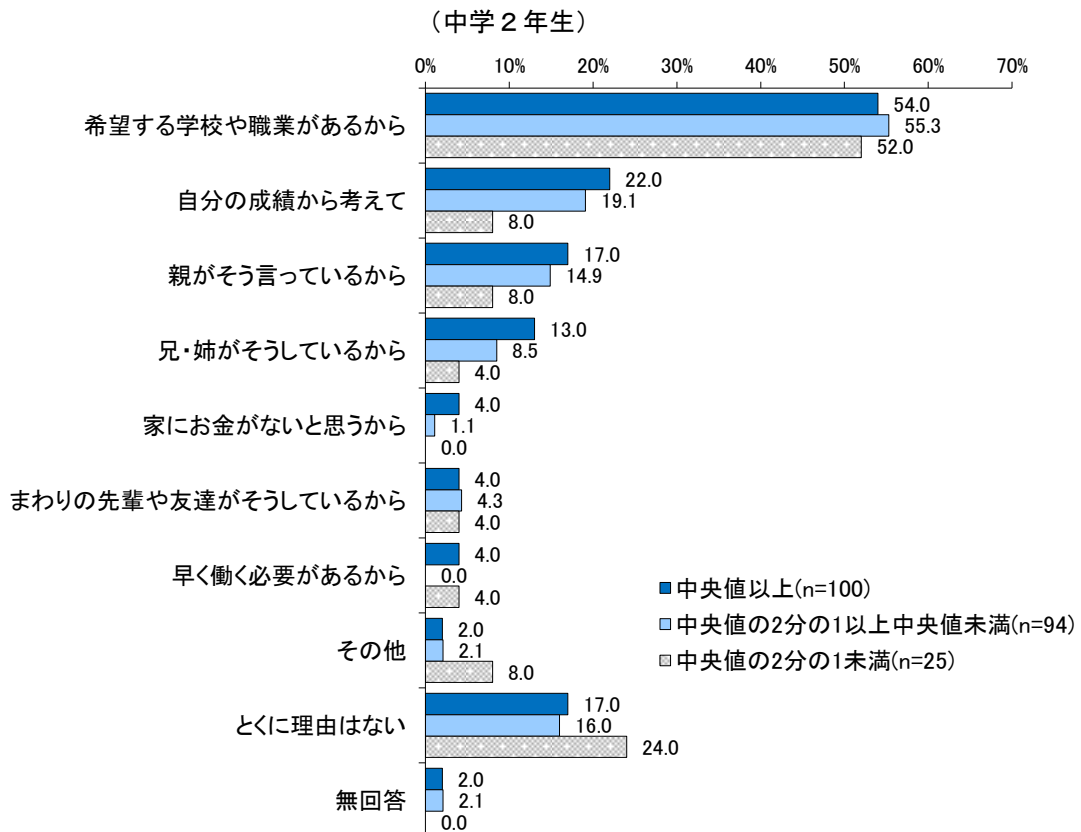
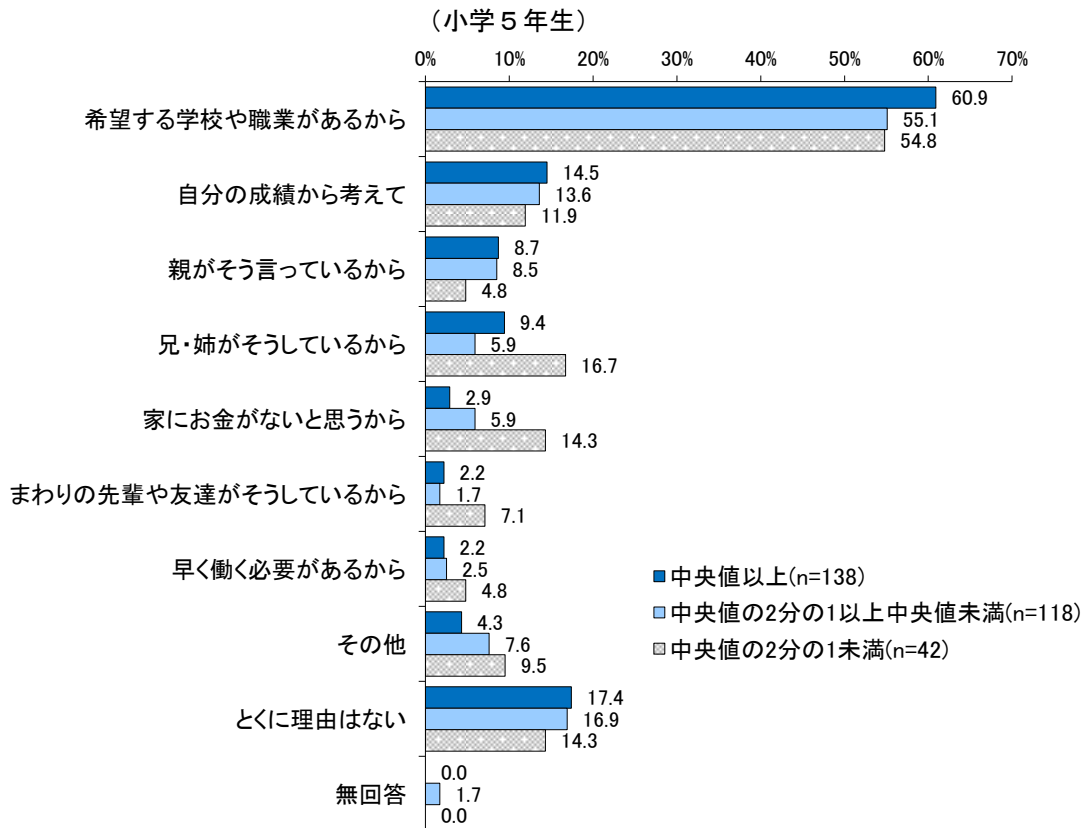
問8 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

【進学先を選んだ理由】



進学先を選んだ理由について、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合が全体で57.4%、小学5年生で59.0%、中学2年生で55.3%と最も高くなっている。

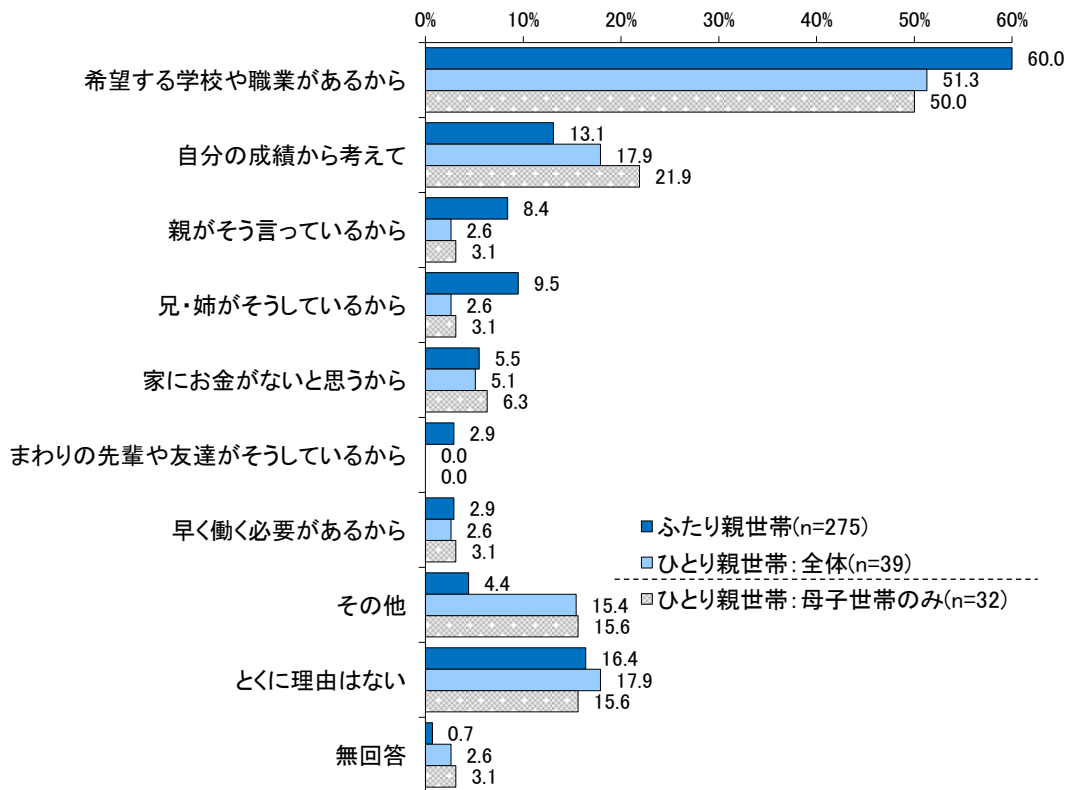
【進学先を選んだ理由（等価世帯収入の水準別）】



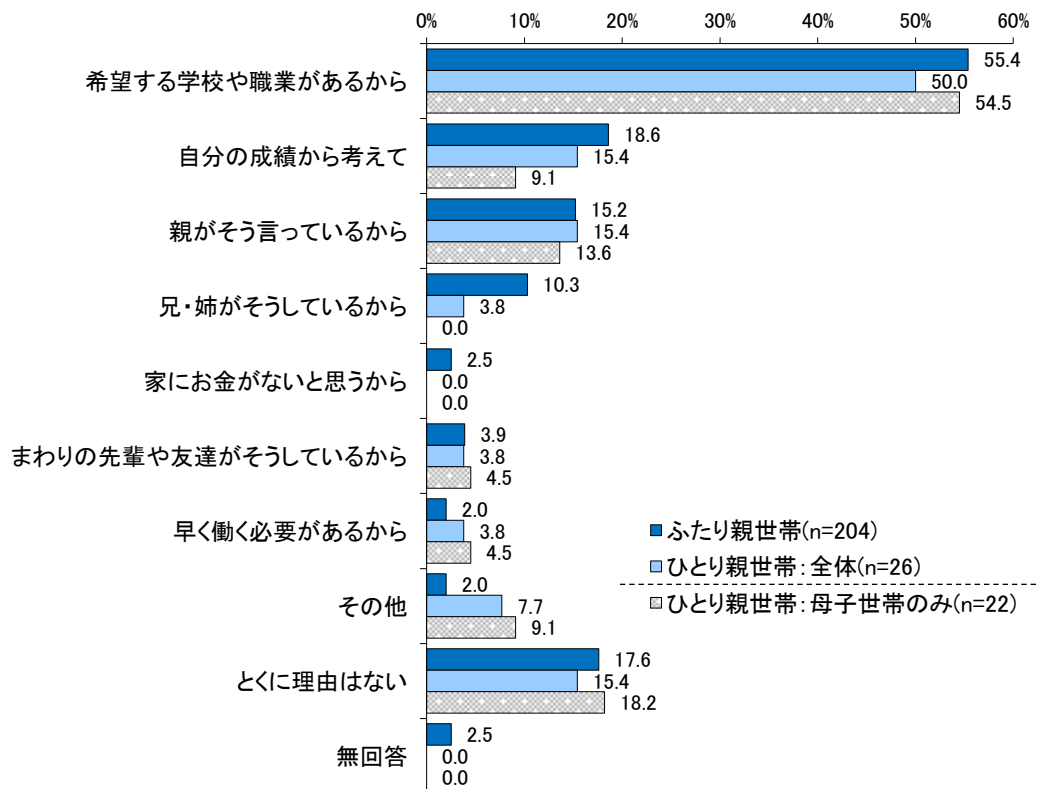
等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で60.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で55.1%、「中央値の2分の1未満」で54.8%となっているが、中学2年生では特徴的な差は見られない。

【進学先を選んだ理由（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）

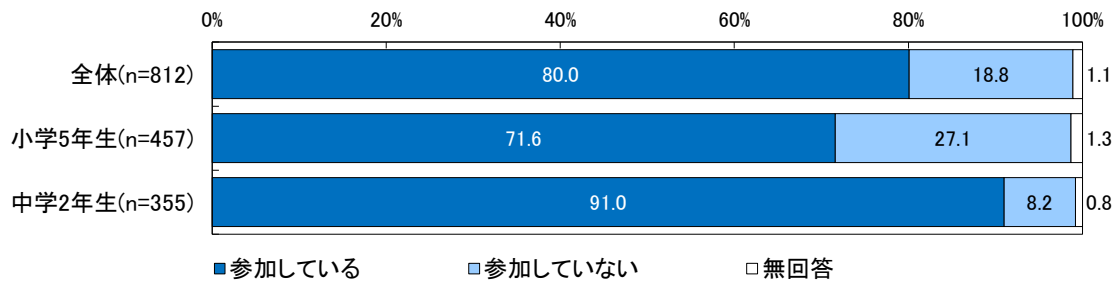


世帯構成別にみると、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合は、小学5年生のふたり親世帯で6割、中学2年生のふたり親世帯で5割後半となっている。

### 3 地域のクラブや学校の部活動への参加状況

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。  
(あてはまるもの1つに○)

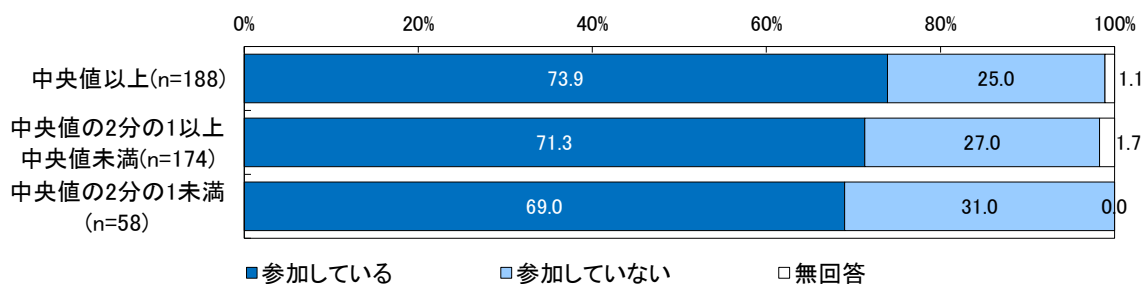
【地域のクラブや学校の部活動への参加状況】



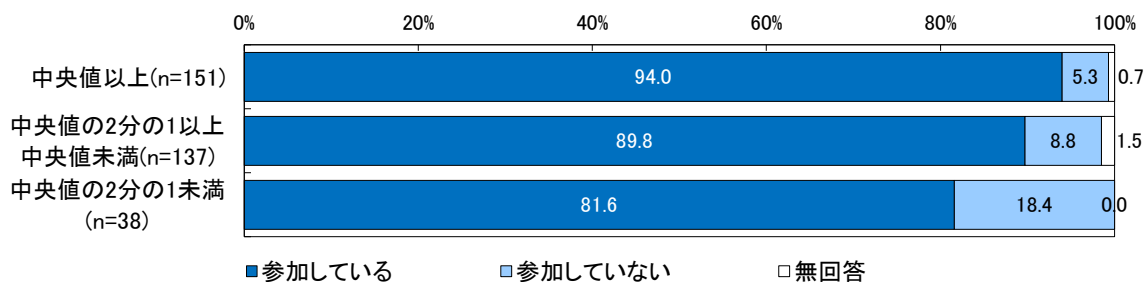
地域のクラブや学校の部活動への参加状況について、「参加している」と回答した割合が全体で80.0%、小学5年生で71.6%、中学2年生で91.0%となっている。

【地域のクラブや学校の部活動への参加状況（等価世帯収入の水準別）】

(小学5年生)



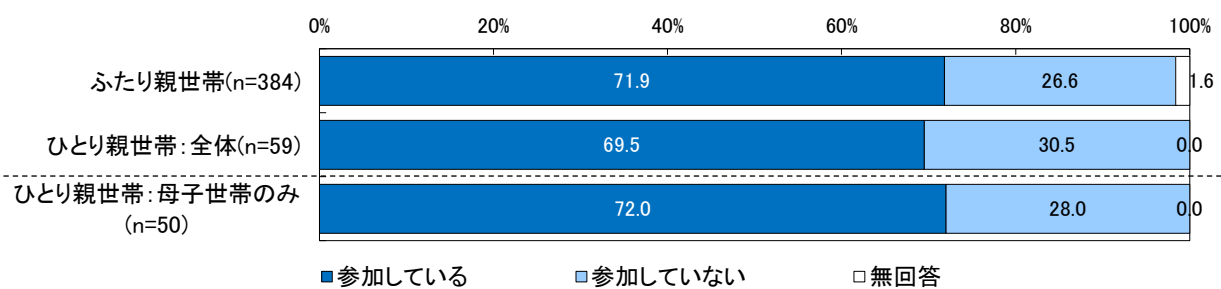
(中学2年生)



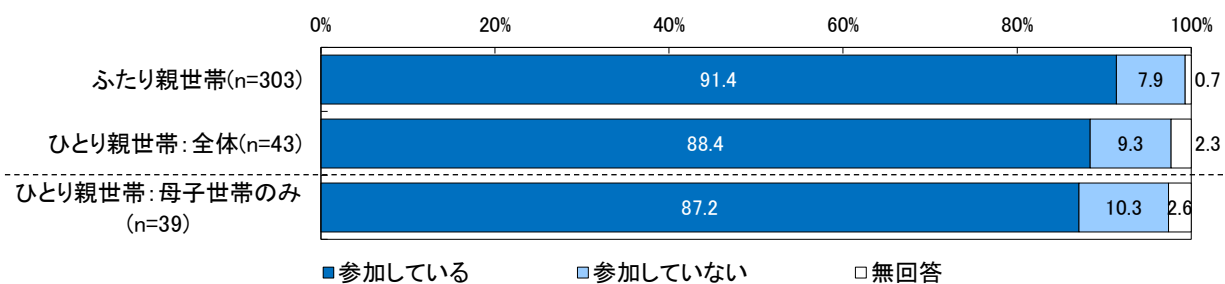
等価世帯収入の水準別にみると、「参加している」と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で73.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で71.3%、「中央値の2分の1未満」で69.0%となっている。中学2年生では、「中央値以上」で94.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で89.8%、「中央値の2分の1未満」で81.6%となっている。

【地域のクラブや学校の部活動への参加状況（世帯構成別）】

（小学5年生）



（中学2年生）

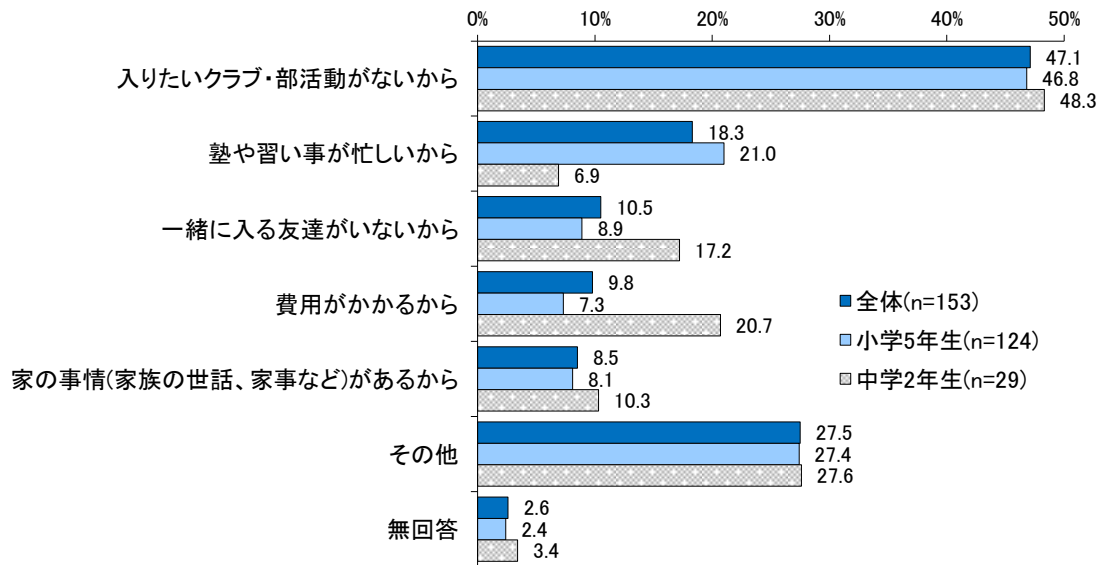


世帯構成別にみると、「参加している」と回答した割合に特徴的な差は見られない。

問9で「2 参加していない」と回答した人のみ回答

問10 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

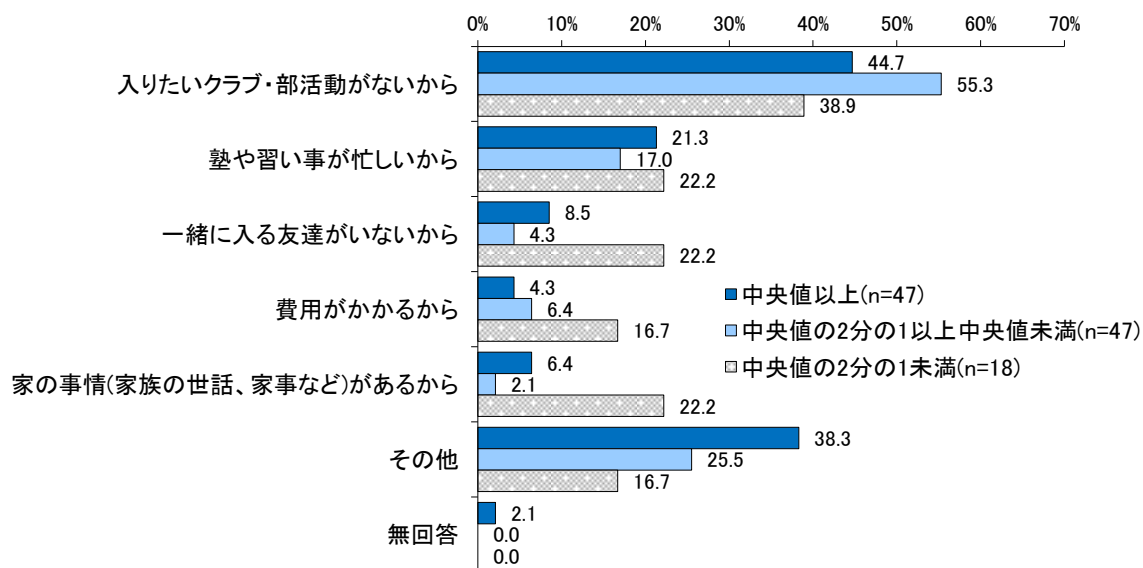
【地域のクラブや学校の部活動に参加していない理由】



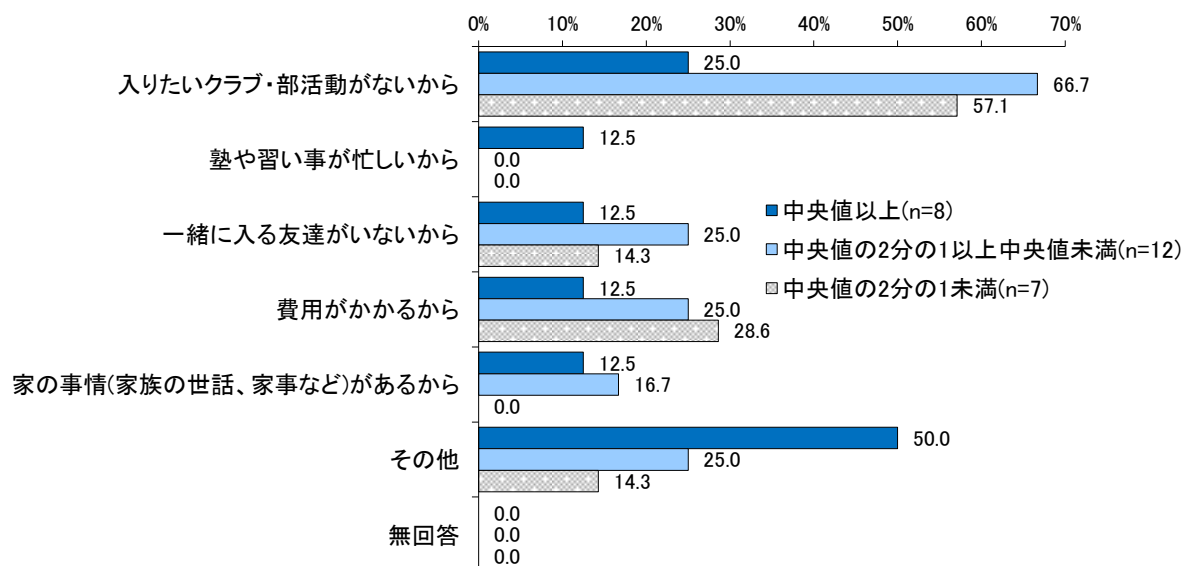
地域のクラブや学校の部活動に参加していない理由について、「入りたいクラブ・部活動がないから」と回答した割合が全体で47.1%、小学5年生で46.8%、中学2年生で48.3%と最も高くなっている。

【地域のクラブや学校の部活動に参加していない理由（等価世帯収入の水準別）】

（小学5年生）



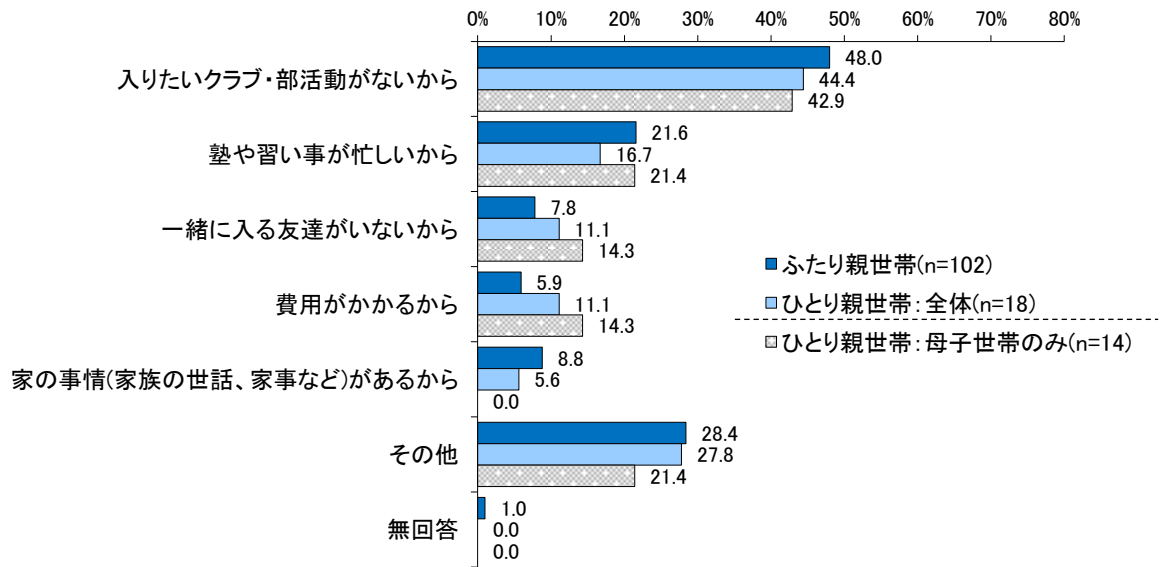
（中学2年生）



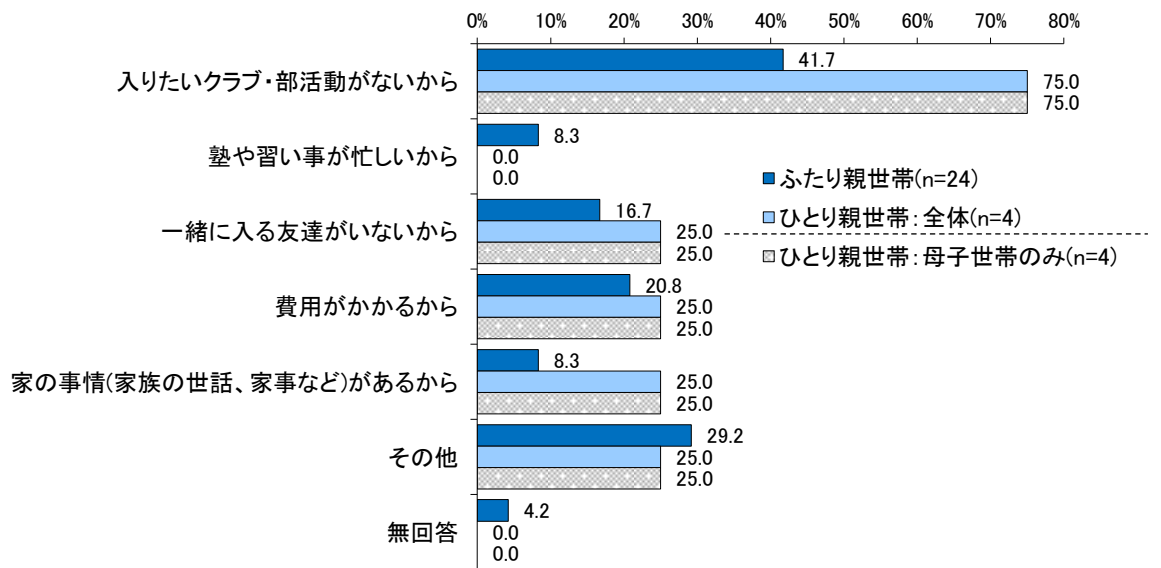
等価世帯収入の水準別にみると、「費用がかかるから」と回答した割合は、小学5年生では、「中央値以上」で4.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で6.4%、「中央値の2分の1未満」で16.7%となっている。中学2年生では、「中央値以上」で12.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で25.0%、「中央値の2分の1未満」で28.6%となっている。

【地域のクラブや学校の部活動に参加していない理由（世帯構成別）】

(小学5年生)



(中学2年生)



世帯構成別にみると、「費用がかかるから」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で高くなっている。

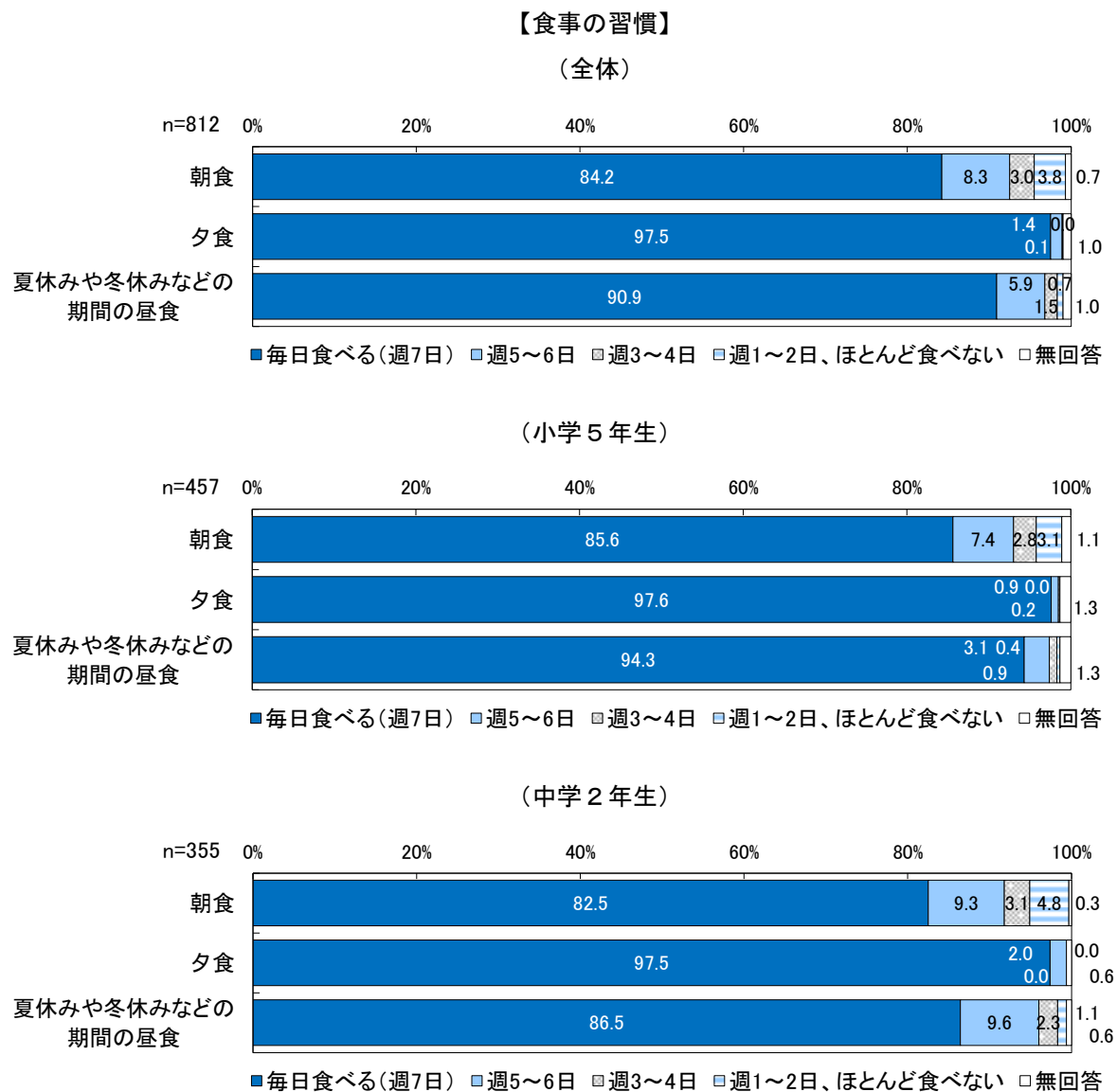


## 4 生活習慣

### (1) 食事習慣

問 11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)



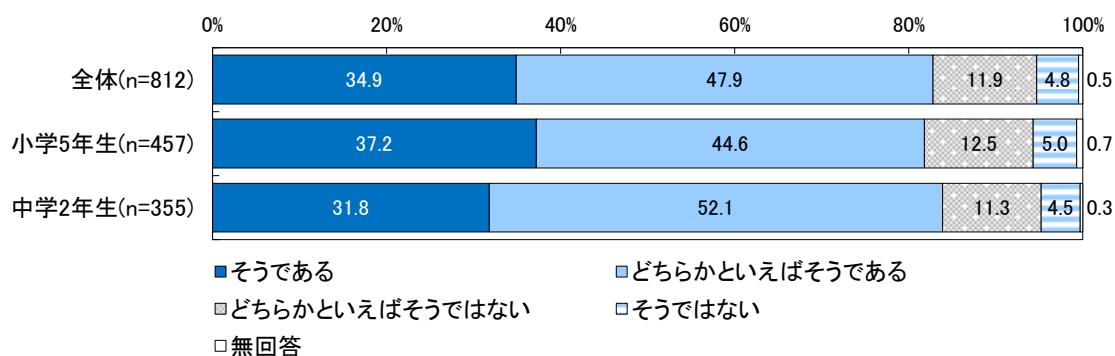
食事の習慣について、「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、朝食では全体で84.2%、小学5年生で85.6%、中学2年生で82.5%、夕食では全体で97.5%、小学5年生で97.6%、中学2年生で97.5%、夏休みや冬休みなどの期間の昼食では全体で90.9%、小学5年生で94.3%、中学2年生で86.5%となっている。

## (2) 睡眠習慣

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの1つに○）

【同じ時間の就寝の習慣】

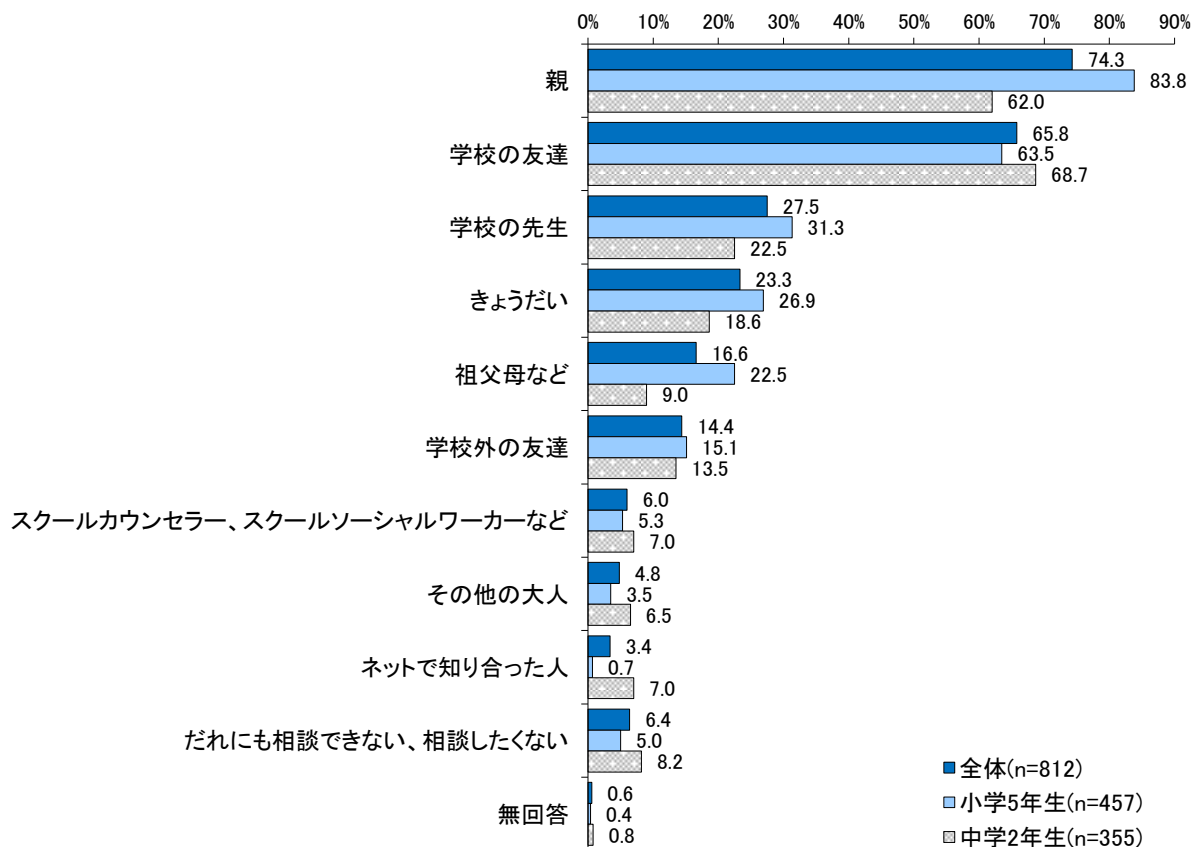


同じ時間の就寝の習慣について、『同じ時間に寝ている』（「そうである」+「どちらかといえ  
ばそうである」）と回答した割合が全体で 82.8%、小学5年生で 81.8%、中学2年生で 83.9%、  
『同じ時間に寝ていない』（「そうではない」+「どちらかといえ  
ばそうではない」）と回答した割合が全体で 16.7%、小学5年生で 17.5%、中学2年生で 15.8%となっている。

## 5 悩みや困りごと

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

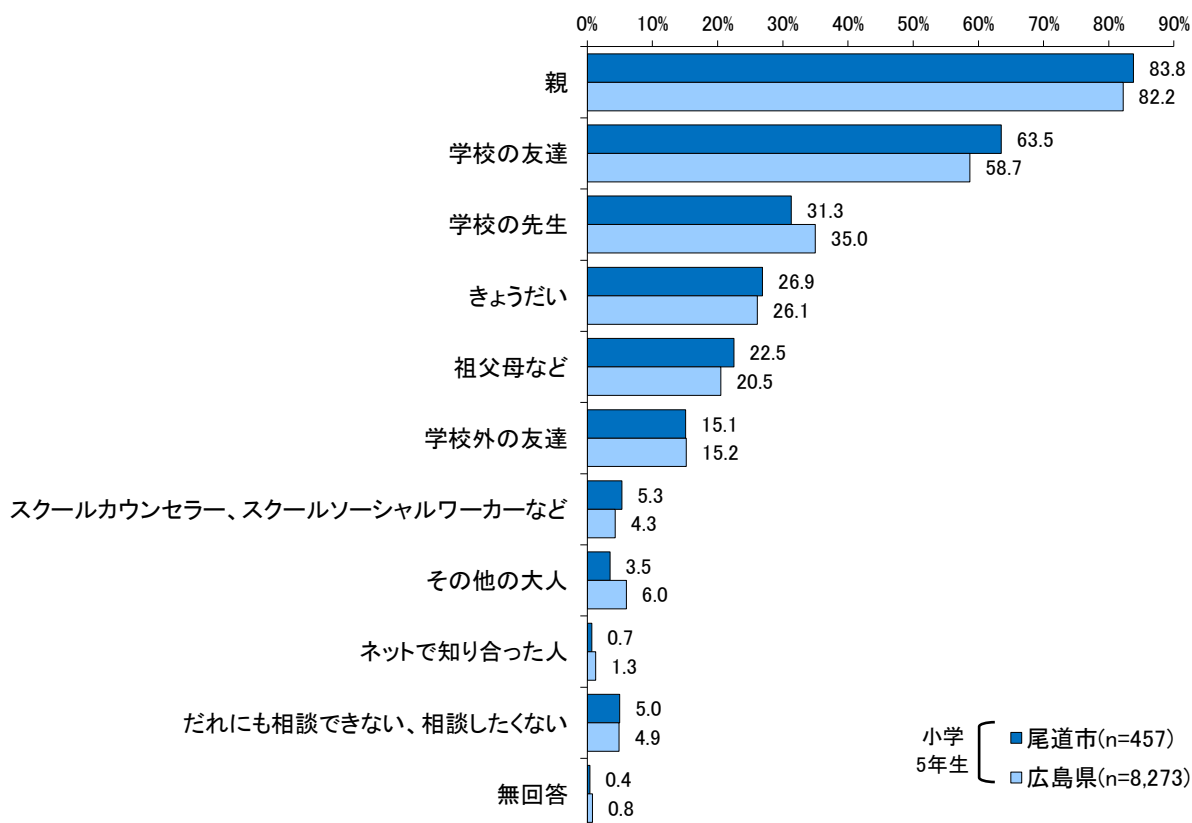
【悩みや困りごとの相談相手】



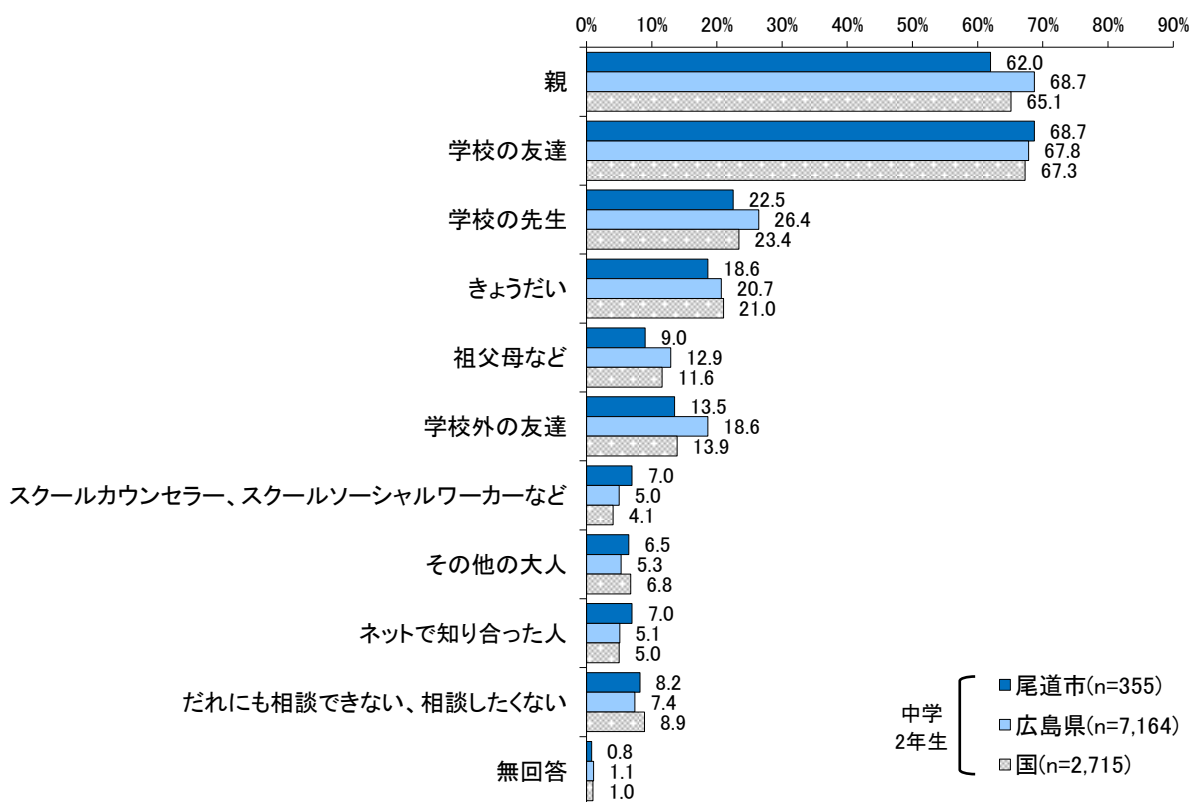
悩みや困りごとの相談相手について、「親」と回答した割合が全体で 74.3%、小学 5 年生で 83.8%、中学 2 年生で 62.0%、「学校の友達」と回答した割合が全体で 65.8%、小学 5 年生で 63.5%、中学 2 年生で 68.7%となっている。

【悩みや困りごとの相談相手（広島県・国との比較）】

（小学5年生）



（中学2年生）



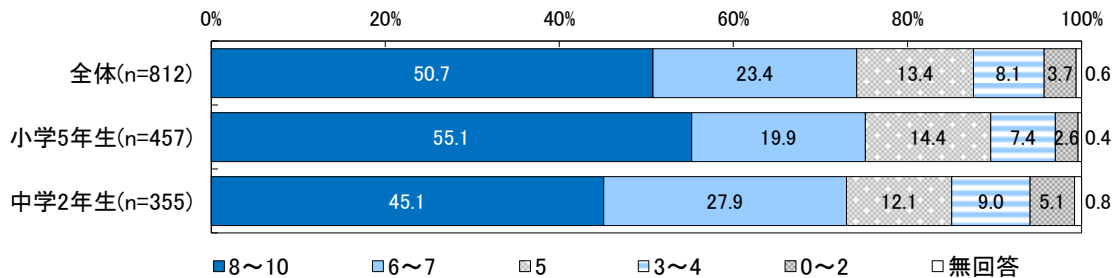
広島県・国と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、大きな差はみられない。

## 6 生活における満足度

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

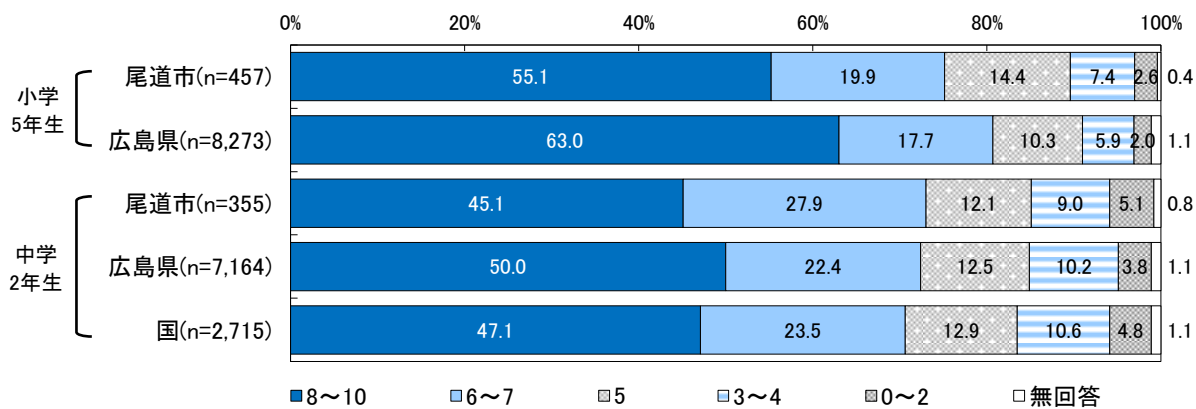
【生活における満足度】



生活における満足度について、「8～10」と回答した割合が全体で 50.7%、小学5年生で 55.1%、中学2年生で 45.1%、「0～2」と回答した割合が全体で 3.7%、小学5年生で 2.6%、中学2年生で 5.1%となっている。

また、平均は全体で 7.2、小学5年生で 7.4、中学2年生で 6.9 となっている。

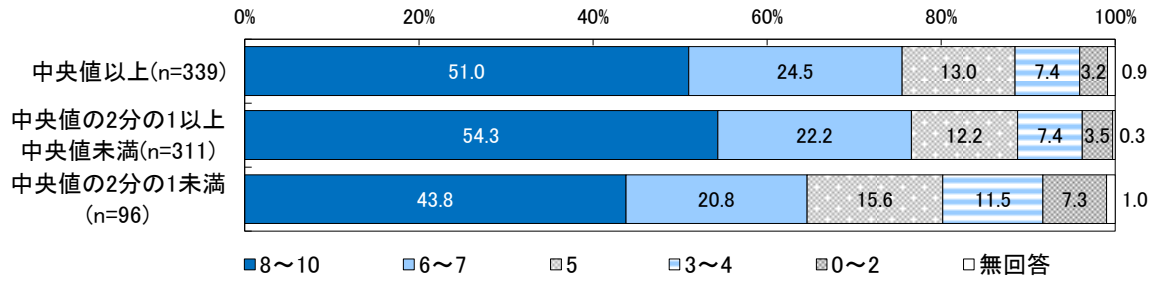
【生活における満足度（広島県・国との比較）】



広島県・国と比較すると、小学5年生では、「8～10」と回答した割合は、尾道市（55.1%）が広島県（63.0%）を 7.9 ポイント下回っている。中学2年生では「8～10」と回答した割合に、大きな差はみられない。

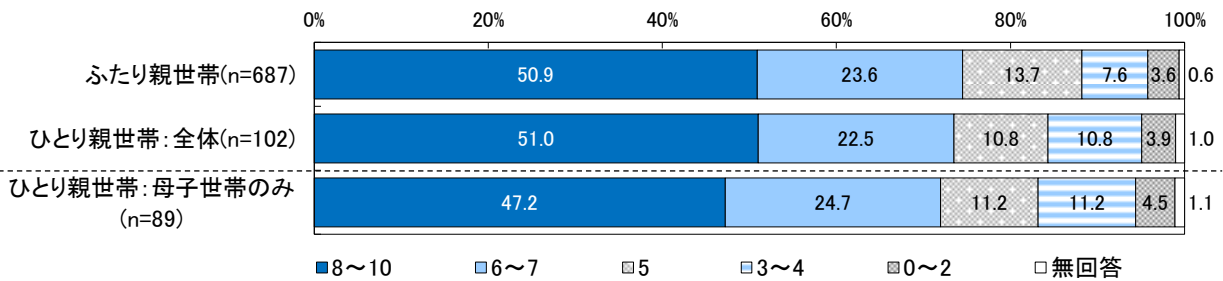
小学5年生、中学2年生ともに、「0～2」と回答した割合に、大きな差はみられない。

【生活における満足度（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上（「6～7」と「8～10」を合わせた割合）』は、「中央値以上」で 75.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で 76.5%、「中央値の2分の1未満」で 64.6%となっている。

【生活における満足度（世帯構成別）】



世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」で 74.5%、「ひとり親世帯」で 73.5%、「母子世帯のみ」で 71.9%となっている。

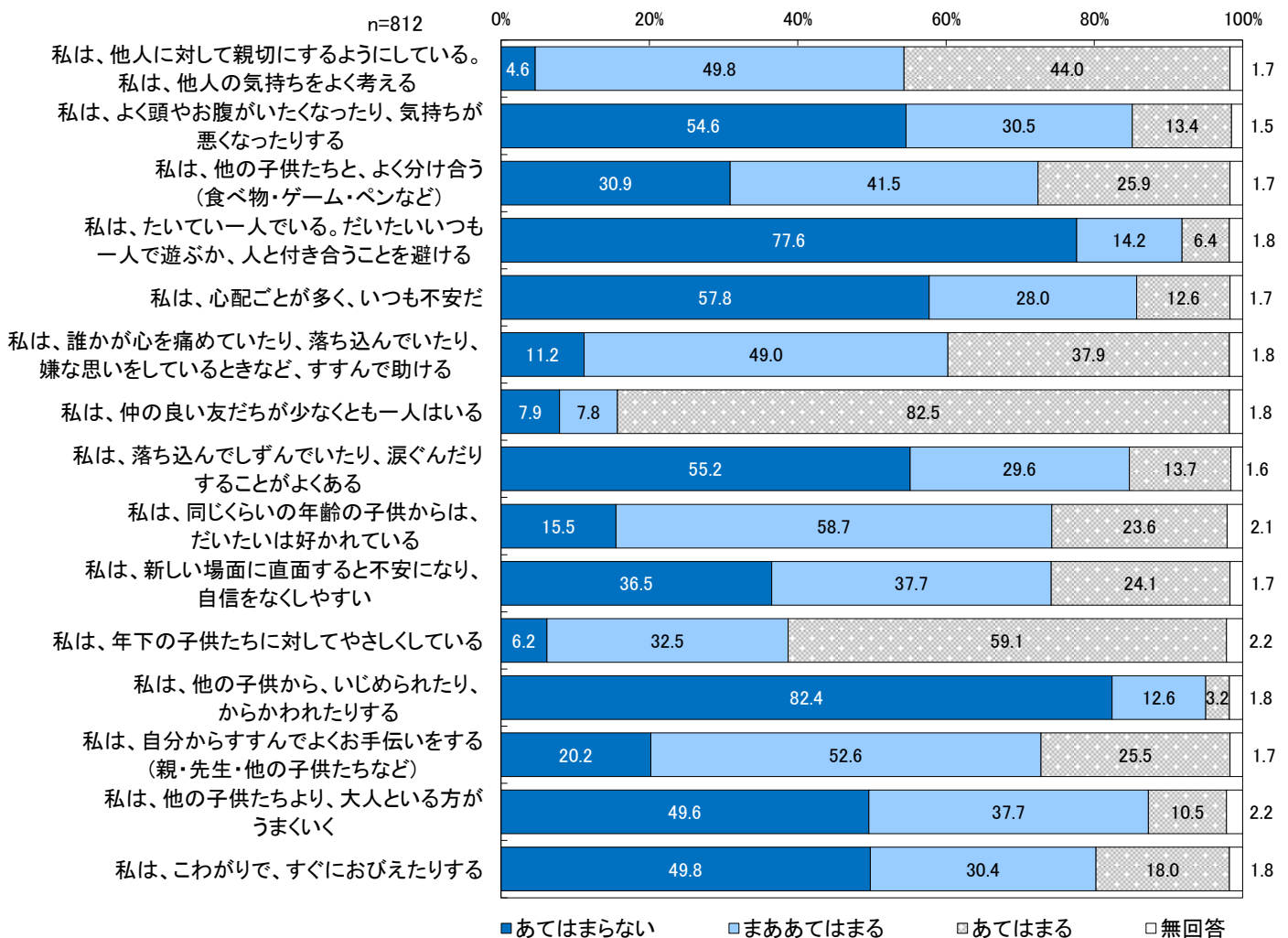
## 7 子供の心理的な状態

問 15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

(a～oそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

### 【自分自身について】

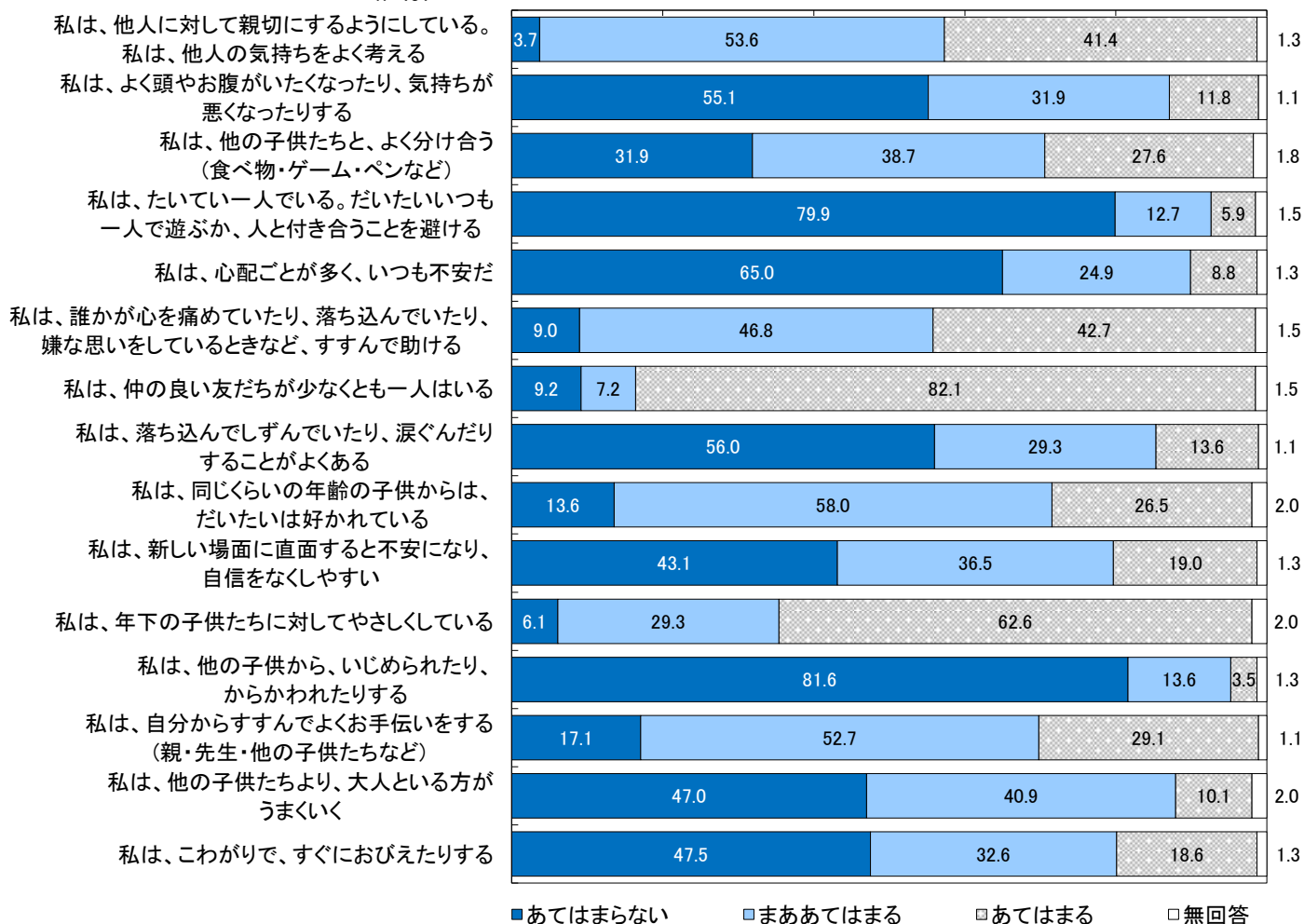
(全体)



(小学5年生)

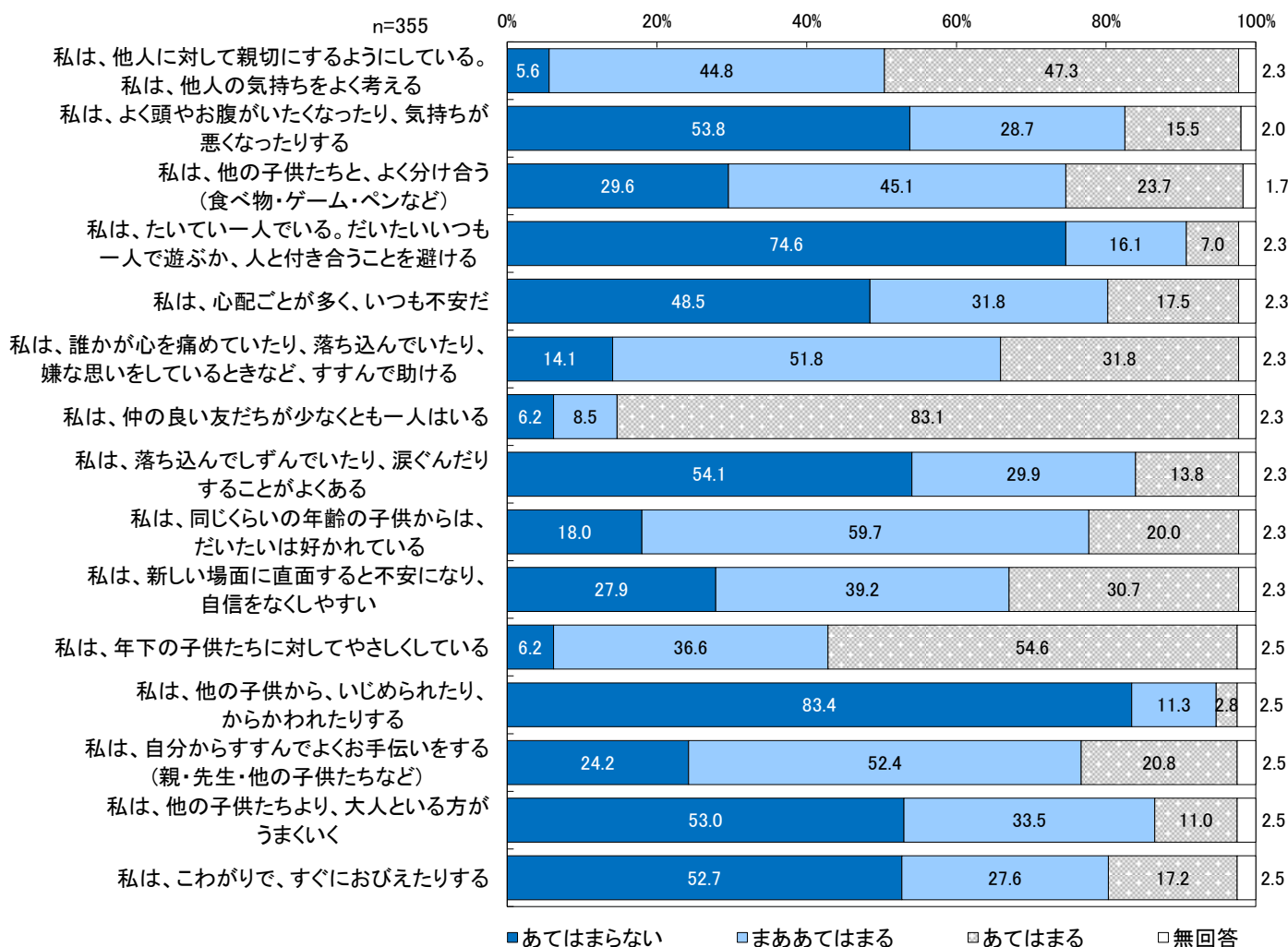
n=457

0% 20% 40% 60% 80% 100%





(中学2年生)

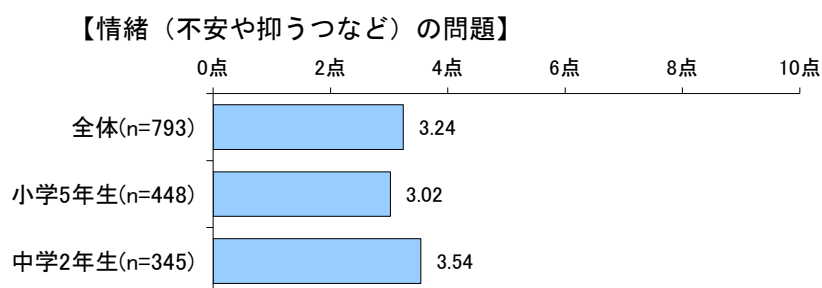


子供の心理的な状態に関して、「情緒（不安や抑うつなど）」の問題、「仲間関係」の問題、「向  
社会性」の問題を把握するための項目を設定し、3段階（あてはまらない：0点、まああては  
まる：1点、あてはまる：2点）で点数化した。

## (1) 情緒(不安や抑うつなど)の問題

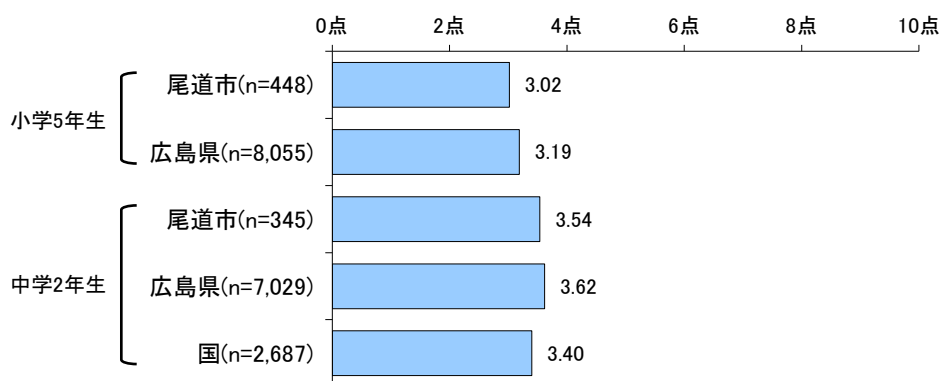
- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、  
得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。



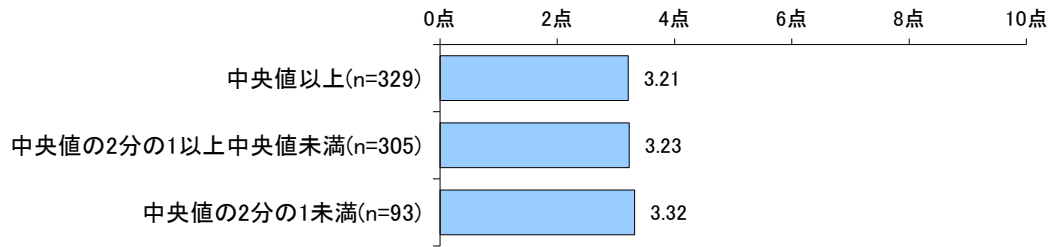
情緒（不安や抑うつなど）の問題について、平均は全体で 3.24 点、小学 5 年生で 3.02 点、  
中学 2 年生で 3.54 点となっている。

### 【情緒（不安や抑うつなど）の問題（広島県・国との比較）】



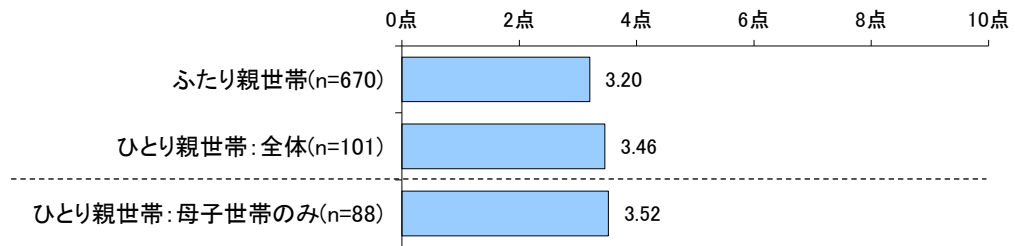
広島県・国と比較すると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに、大きな差はみられない。

【情緒（不安や抑うつなど）の問題（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、中央値の2分の1未満の層で3.32となっている。

【情緒（不安や抑うつなど）の問題（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、「ひとり親世帯」で3.46、「母子世帯のみ」で3.52となっている。

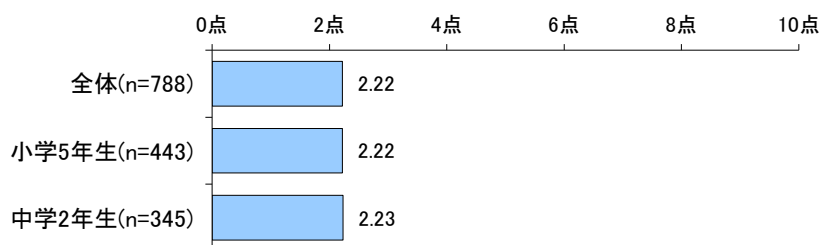
## (2) 仲間関係の問題

- d. 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

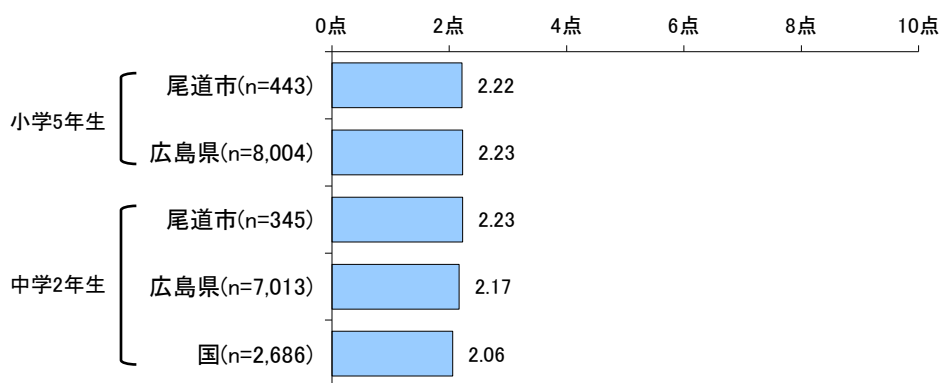
※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

【仲間関係の問題】



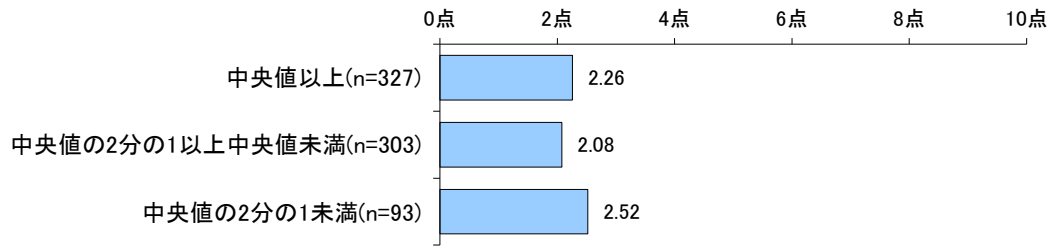
仲間関係の問題について、平均は全体で2.22点、小学5年生で2.22点、中学2年生で2.23点となっている。

【仲間関係の問題（広島県・国との比較）】



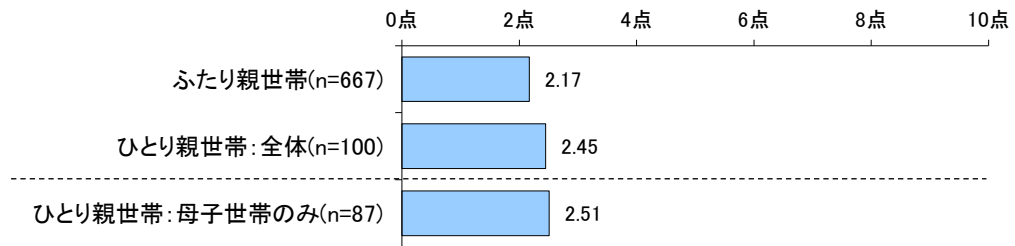
広島県・国と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、大きな差はみられない。

【仲間関係の問題（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、中央値の2分の1未満の層で2.52となっている。

【仲間関係の問題（世帯構成別）】

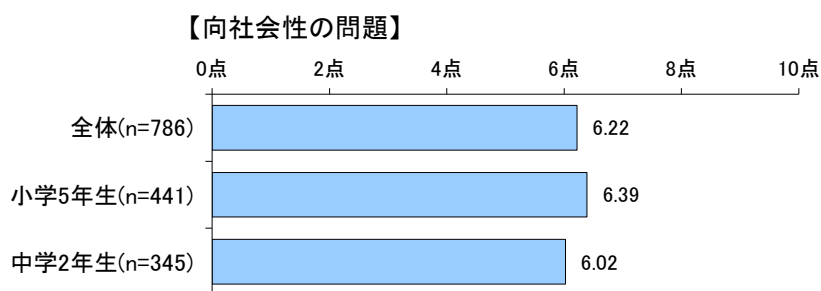


世帯構成別にみると、ひとり親世帯で2.45、「母子世帯のみ」で2.51となっている。

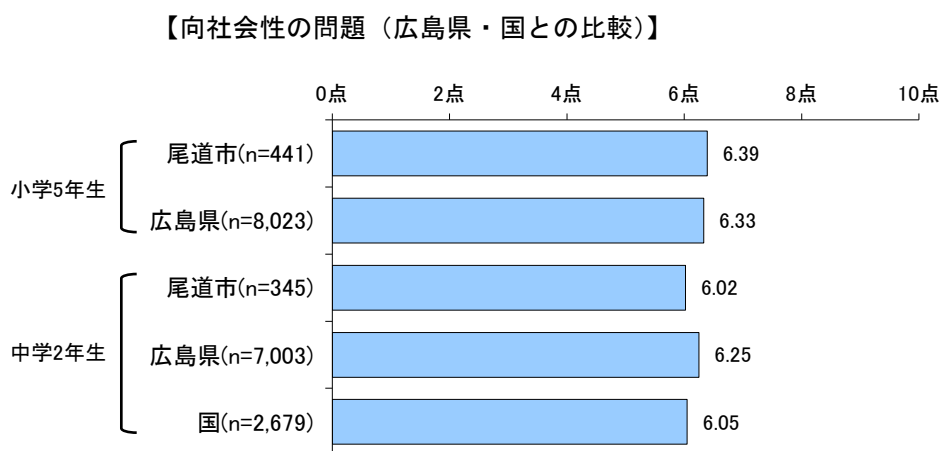
### (3) 向社会性の問題

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

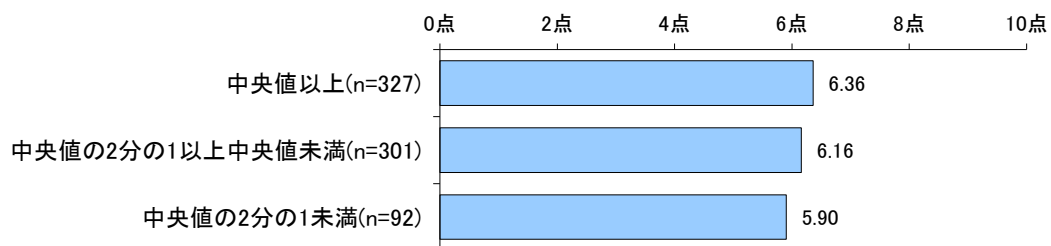


向社会性の問題について、平均は全体で6.22点、小学5年生で6.39点、中学2年生で6.02点となっている。



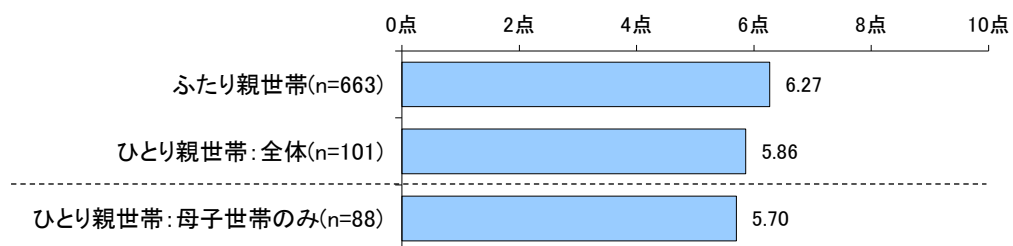
広島県・国と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、大きな差はみられない。

### 【向社会性の問題（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、中央値の2分の1未満の層で5.90となっている。

### 【向社会性の問題（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、ひとり親世帯で5.86、「母子世帯のみ」で5.70となっている。

## 8 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大後の変化

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

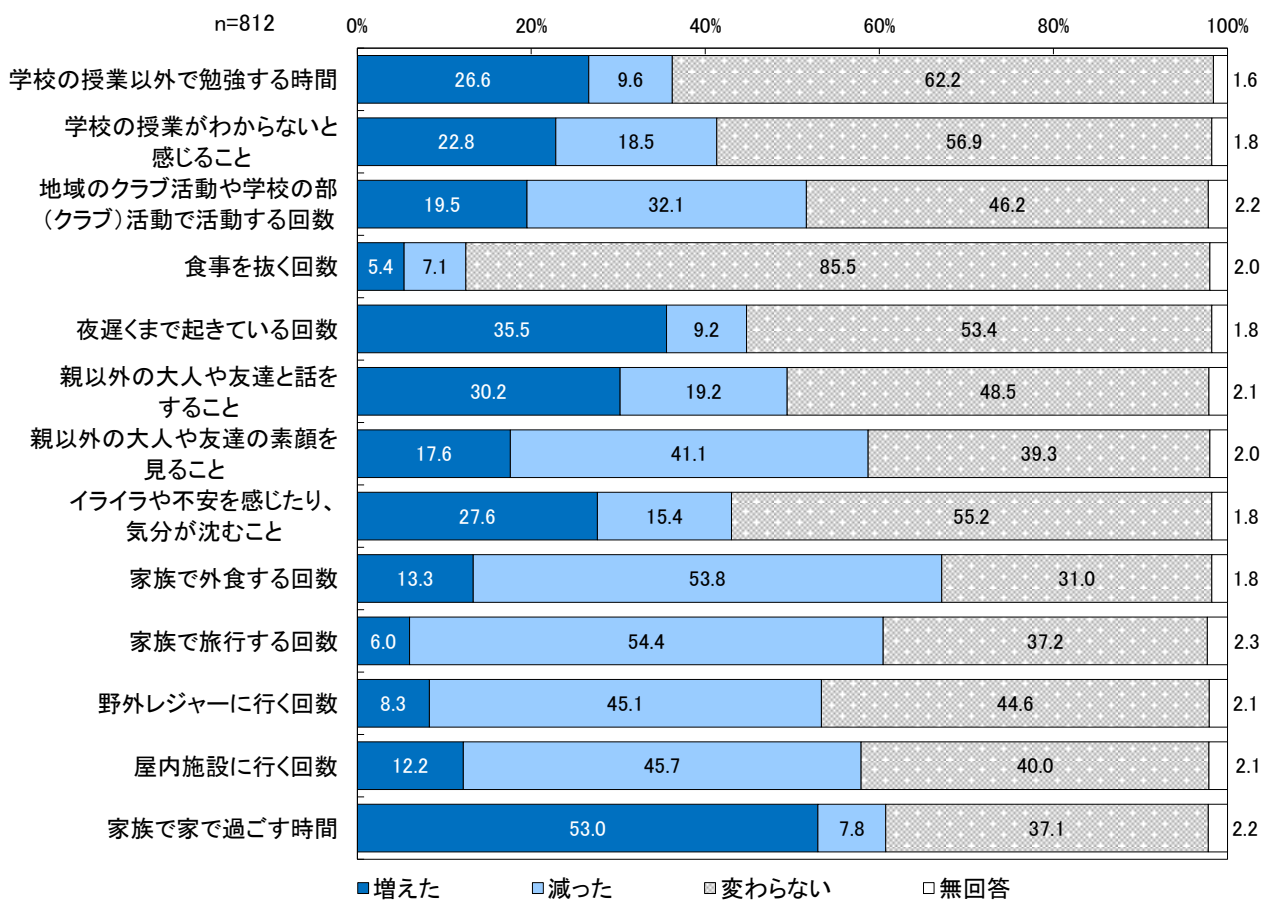
問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

(a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

### 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響】

(全体)

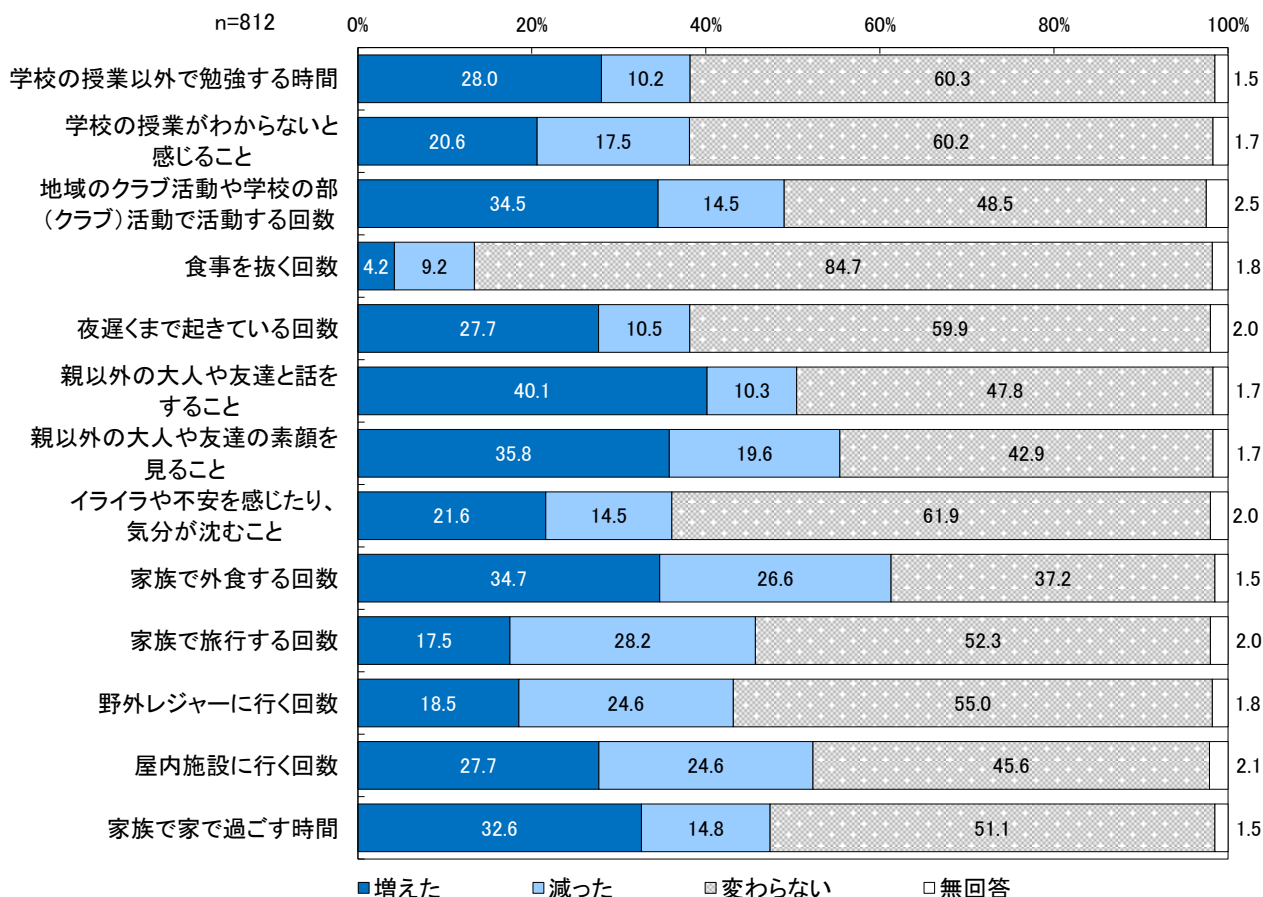
#### ①コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について、コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、全体では、「増えた」と回答した割合は、「家族で家で過ごす時間」で 53.0%、「減った」と回答した割合は、「家族で外食する回数」で 53.8%、「家族で旅行する回数」で 54.4% となっている。



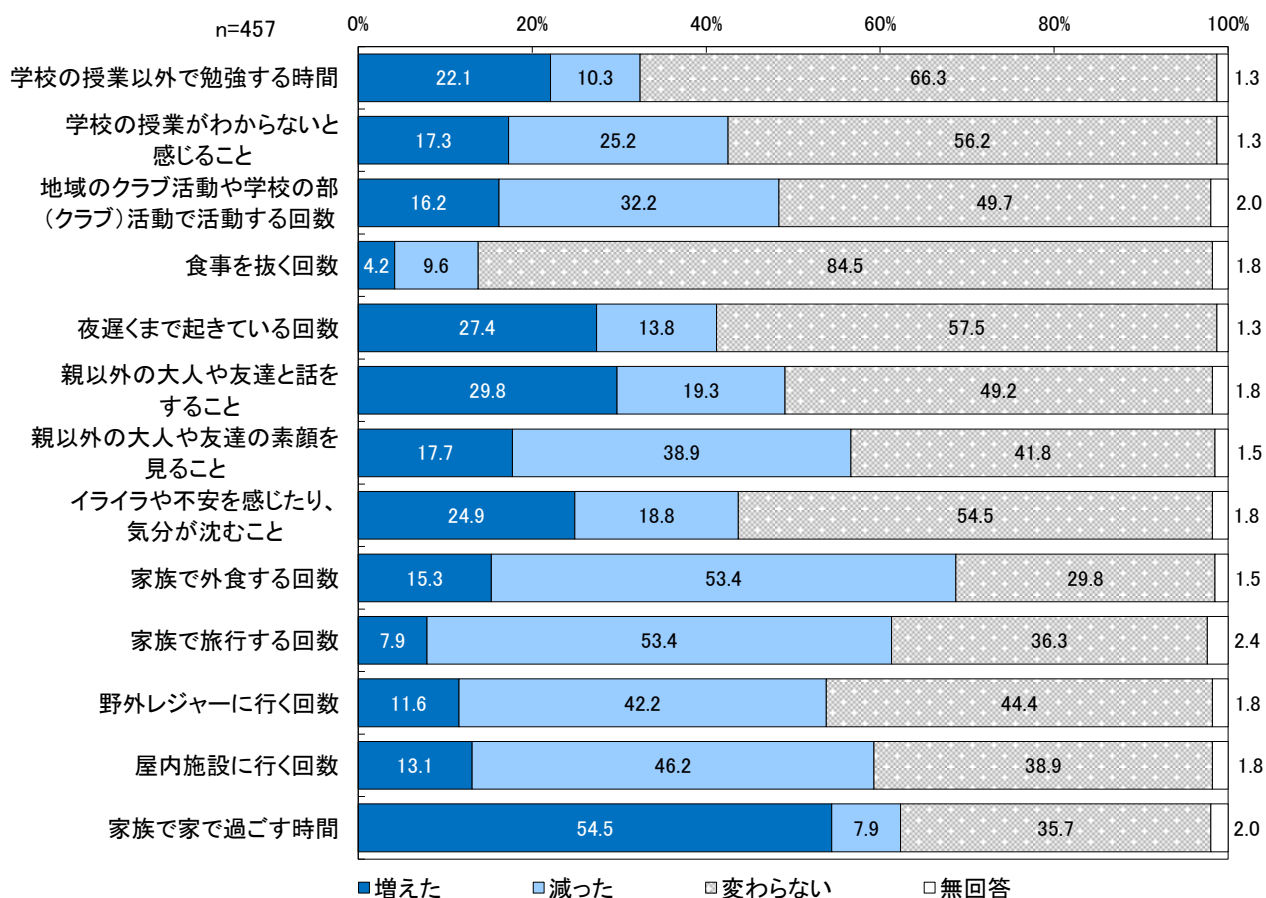
## ②コロナ拡大期と現在の比較



コロナ拡大期と現在を比較すると、全体では、「増えた」と回答した割合は、「親以外の大人や友達と話をすること」で 40.1%、「減った」と回答した割合は、「家族で旅行する回数」で 28.2%となっている。

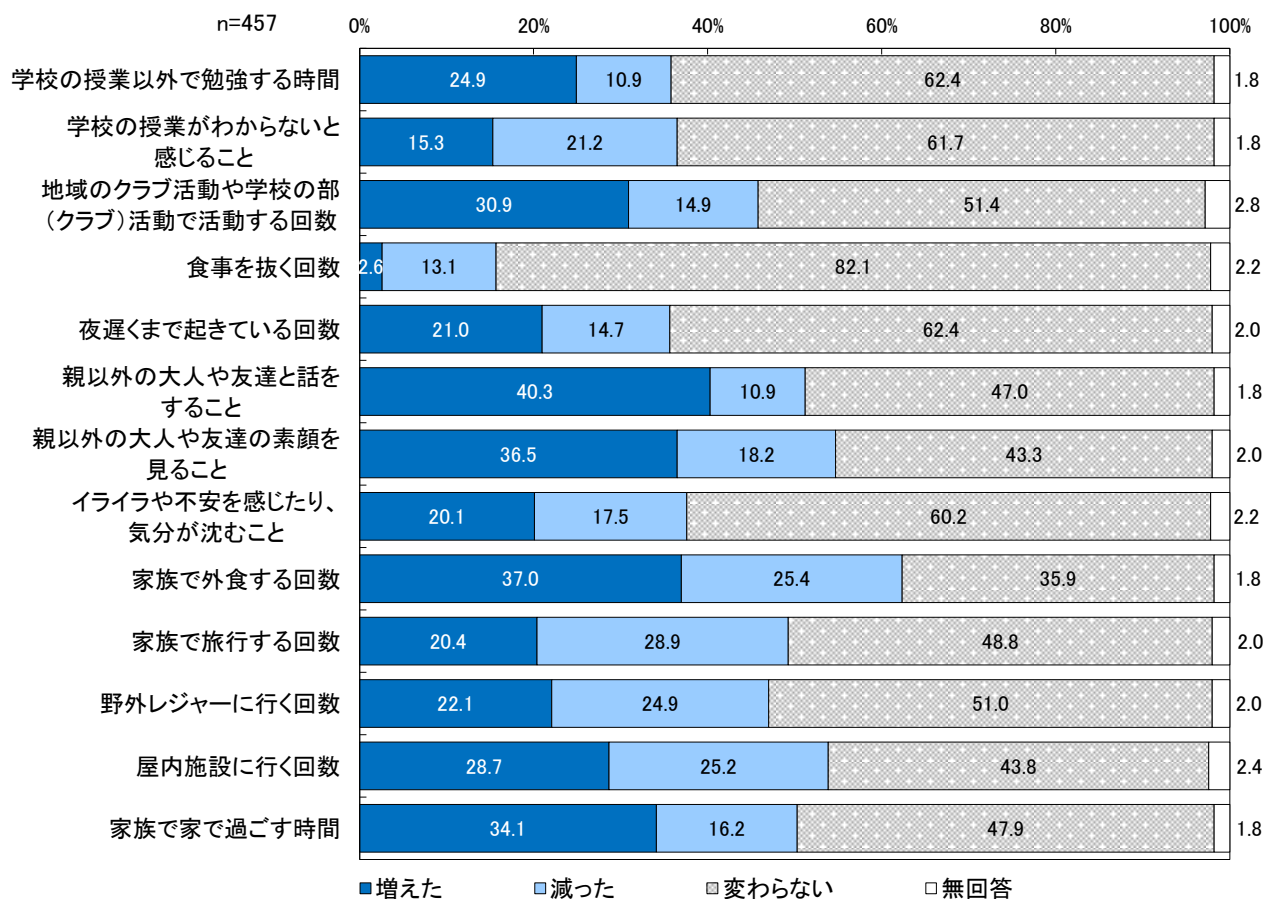
(小学5年生)

①コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、小学5年生では、「増えた」と回答した割合は、「家族で家で過ごす時間」で54.5%、「減った」と回答した割合は、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」で53.4%となっている。

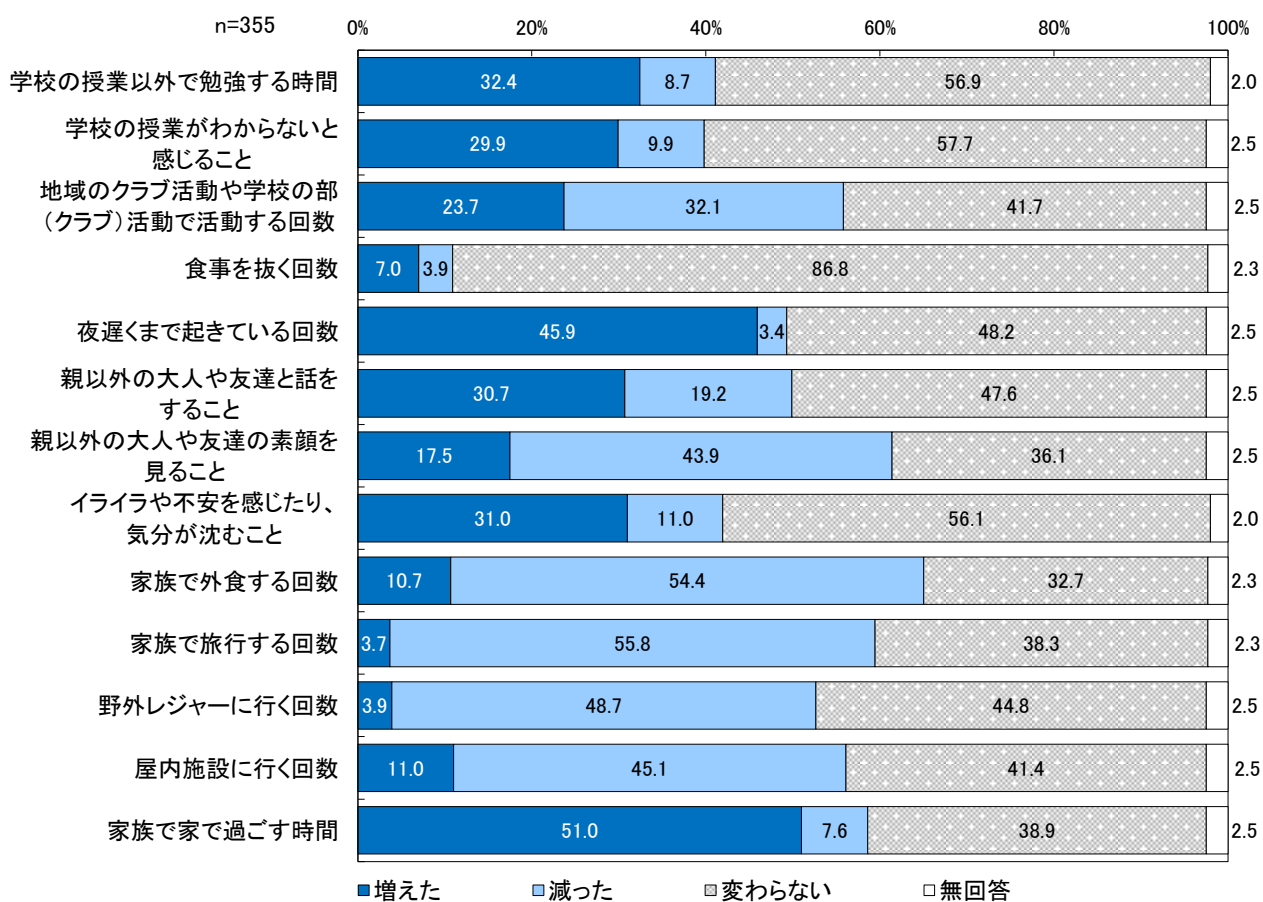
## ②コロナ拡大期と現在の比較



コロナ拡大期と現在を比較すると、小学5年生では、「増えた」と回答した割合は、「親以外の大人や友達と話をすること」で40.3%、「減った」と回答した割合は、「家族で旅行する回数」で28.9%となっている。

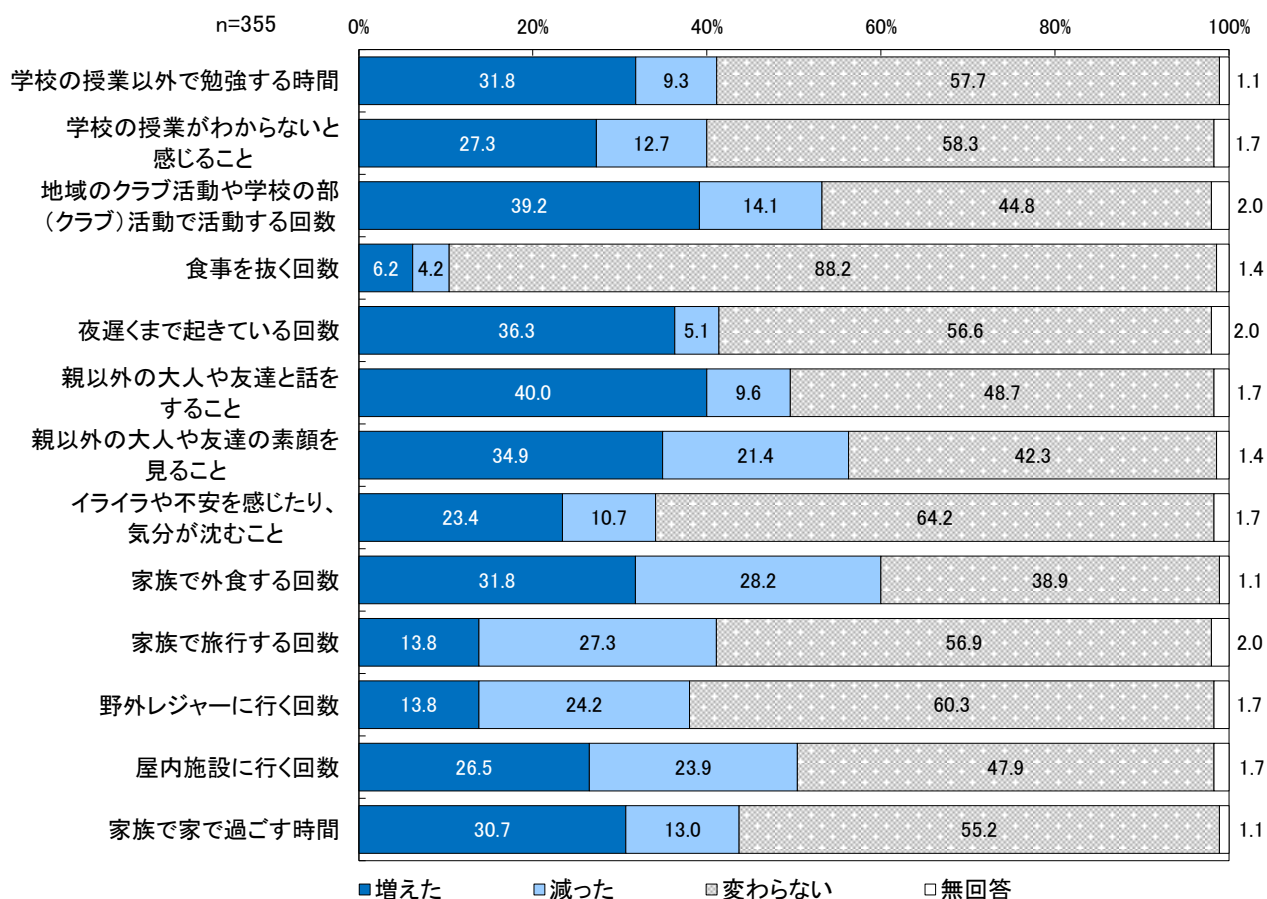
(中学2年生)

①コロナ禍前とコロナ拡大期の比較



コロナ禍前とコロナ拡大期を比較すると、中学2年生では、「増えた」と回答した割合は、「家族で家で過ごす時間」で51.0%、「減った」と回答した割合は、「家族で外食する回数」で54.4%、「家族で旅行する回数」で55.8%となっている。

## ②コロナ拡大期と現在の比較



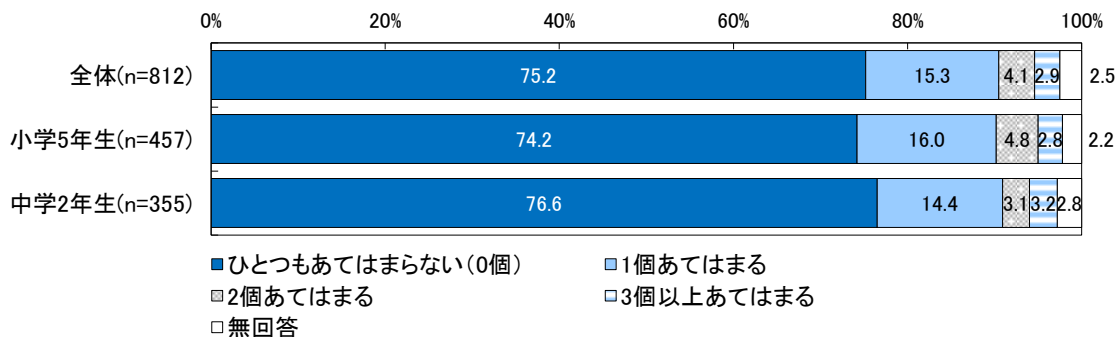
コロナ拡大期と現在を比較すると、中学2年生では、「増えた」と回答した割合は、「地域のクラブ活動や学校の部(クラブ)活動で活動する回数」で39.2%、「親以外の大人や友達と話すこと」で40.0%、「減った」と回答した割合は、「家族で外食する回数」で28.2%となっている。

## 9 逆境体験

問 18 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。(個数について 0～8 のどれか 1 つに○)

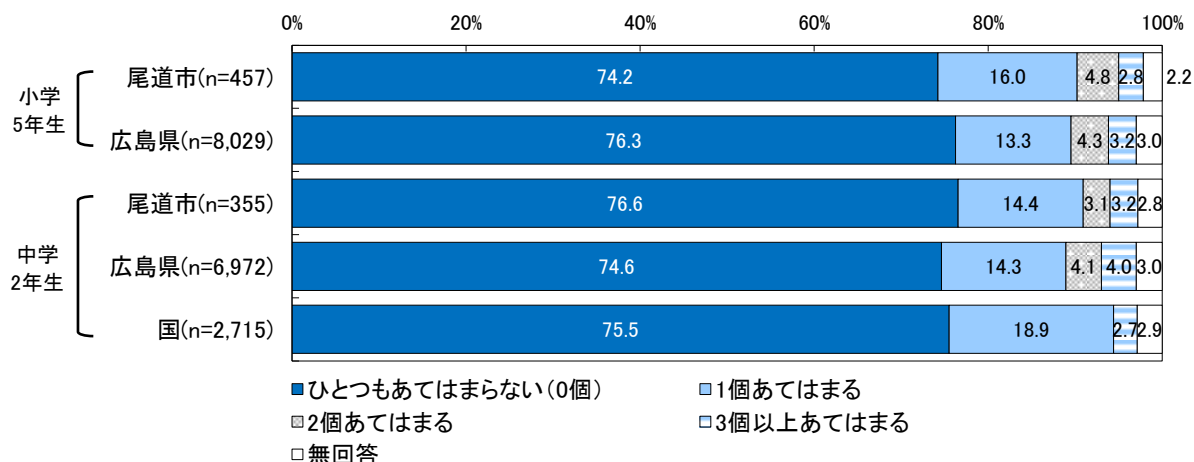
- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

【逆境体験】



逆境体験について、『1個以上該当する』割合が全体で 22.3%、小学5年生で 23.6%、中学2年生で 20.7%となっている。

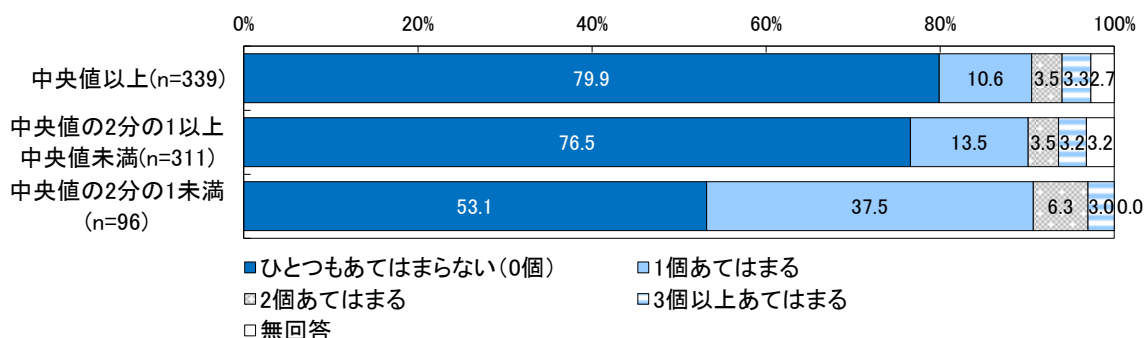
### 【逆境体験（広島県・国との比較）】



※国調査では「1～2個あてはまる」という選択肢になっている

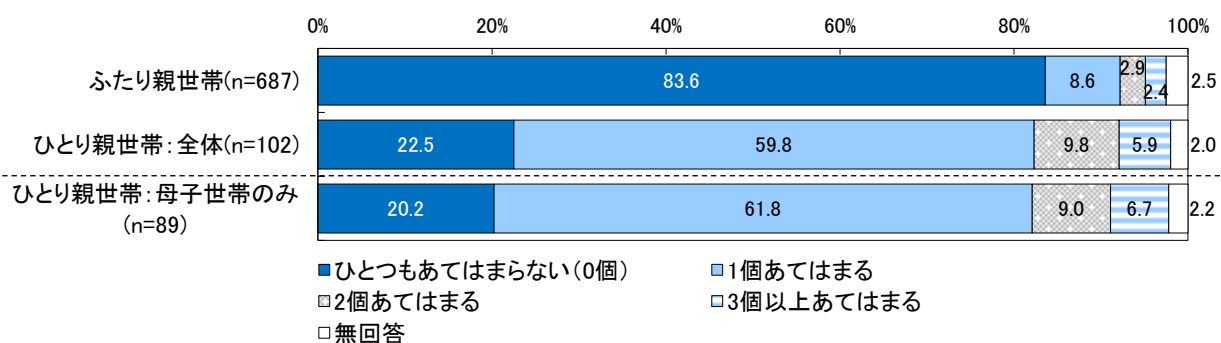
広島県・国と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、『1個以上該当する』割合に、大きな差はみられない。

### 【逆境体験（等価世帯収入の水準別）】



等価世帯収入の水準別にみると、1個以上該当する割合は、「中央値以上」で17.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」で20.2%、「中央値の2分の1未満」で46.8%となっている。

### 【逆境体験（世帯構成別）】



世帯構成別にみると、1個以上該当する割合は、ひとり親世帯で7割を超えている。  
 なお、ひとり親世帯において1個以上該当する割合が高い理由は、「e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の選択割合が高いためと考えられる。

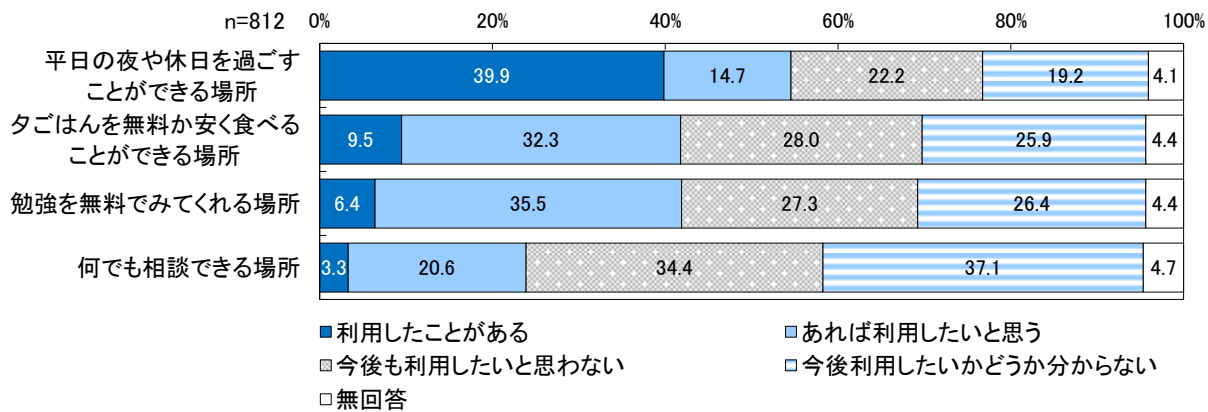
## 10 子供の居場所

問 19 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

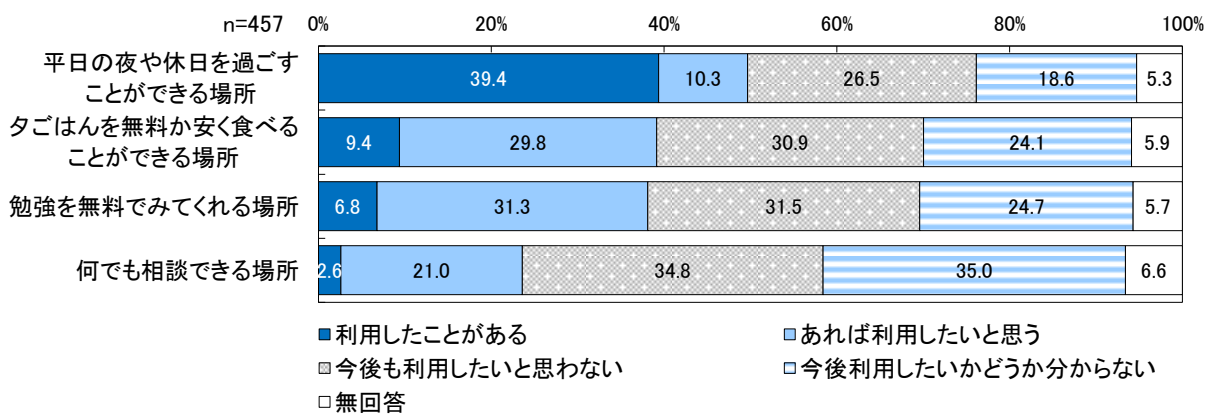
(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

【子供の居場所の利用状況】

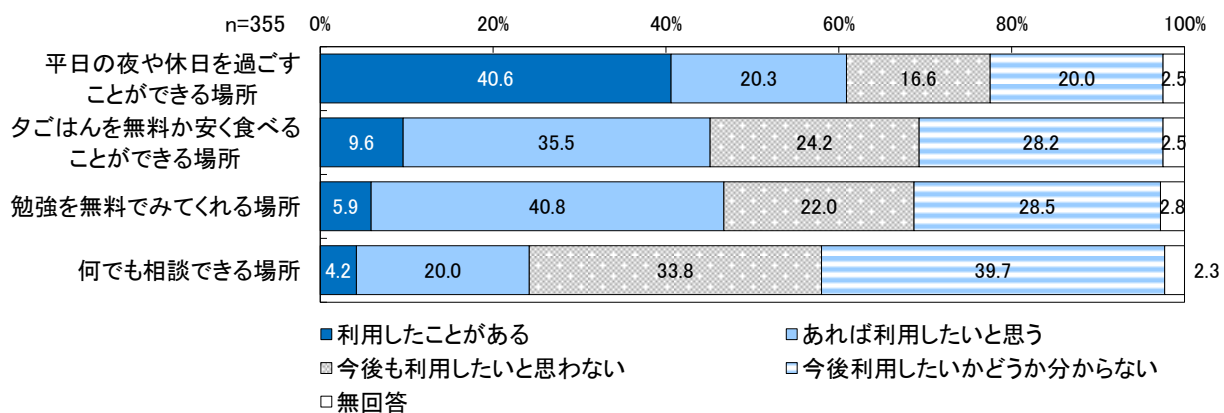
(全体)



(小学5年生)



(中学2年生)



子供の居場所の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合は、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」が全体で 39.9%、小学5年生で 39.4%、中学2年生で 40.6% となっている。

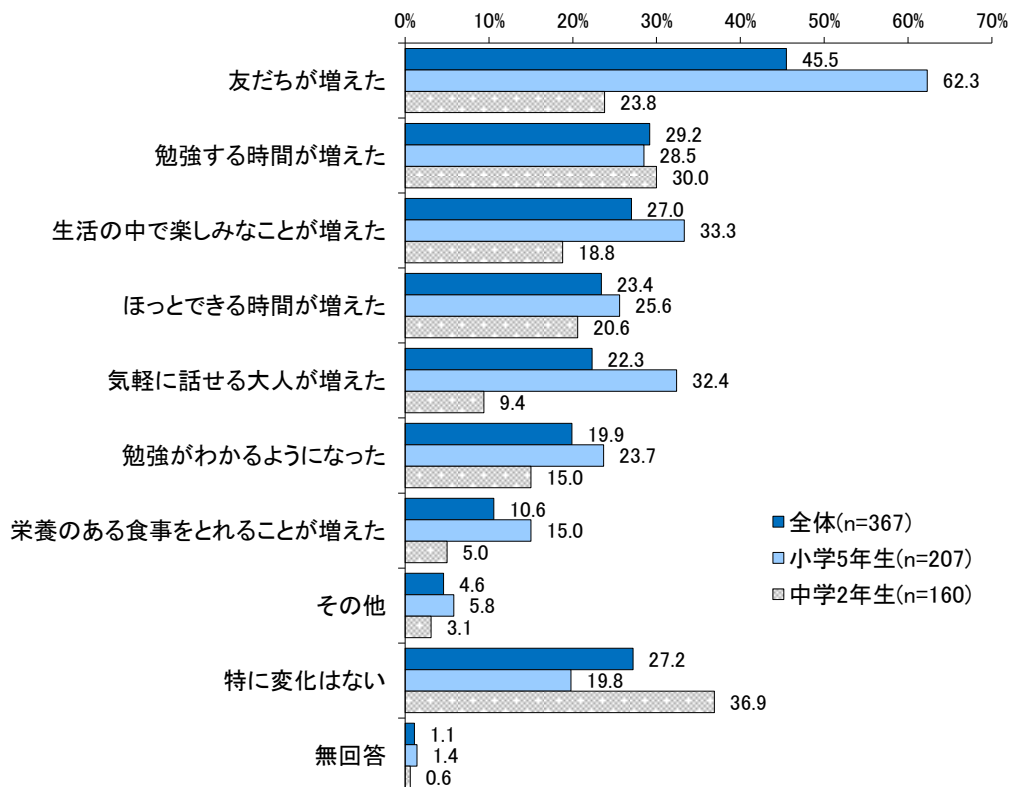


問 19 で1つでも「1 利用したことがある」と回答した人のみ回答

問 20 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

【子供の居場所を利用したことによる変化】



子供の居場所を利用したことによる変化について、「友だちが増えた」と回答した割合が全体で45.5%、小学5年生で62.3%、中学2年生で23.8%、「勉強する時間が増えた」と回答した割合が全体で29.2%、小学5年生で28.5%、中学2年生で30.0%、「生活の中で楽しいことが増えた」と回答した割合が全体で27.0%、小学5年生で33.3%、中学2年生で18.8%となっている。

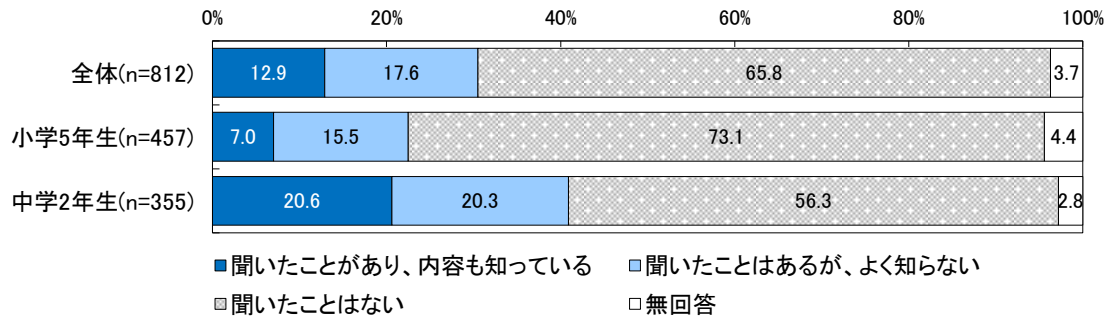
## 11 家族の世話の状況

### (1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。

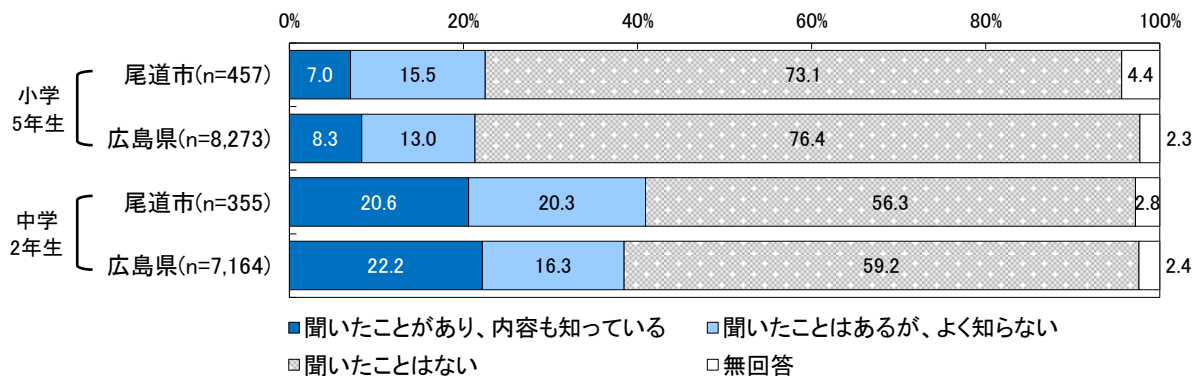
(あてはまるもの1つに○)

【「ヤングケアラー」という言葉の認知度】



「ヤングケアラー」という言葉の認知度について、「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した割合が全体で12.9%、小学5年生で7.0%、中学2年生で20.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した割合が全体で17.6%、小学5年生で15.5%、中学2年生で20.3%、「聞いたことはない」と回答した割合が全体で65.8%、小学5年生で73.1%、中学2年生で56.3%となっている。

【「ヤングケアラー」という言葉の認知度（広島県・国との比較）】



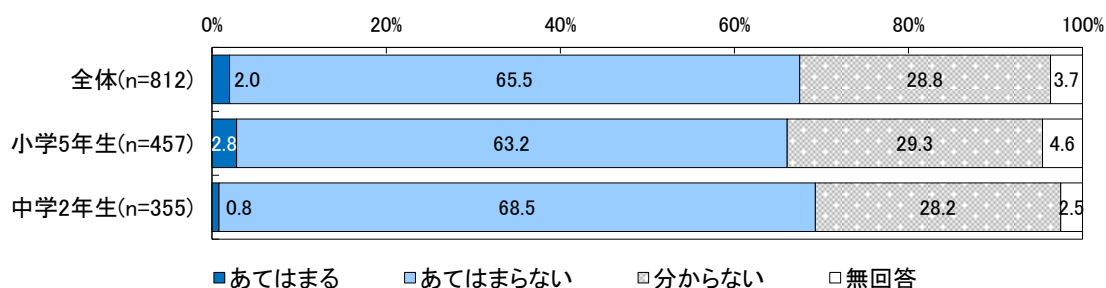
広島県と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、大きな差はみられない。

## (2) 自身の「ヤングケアラー」への該当状況

問 22 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。

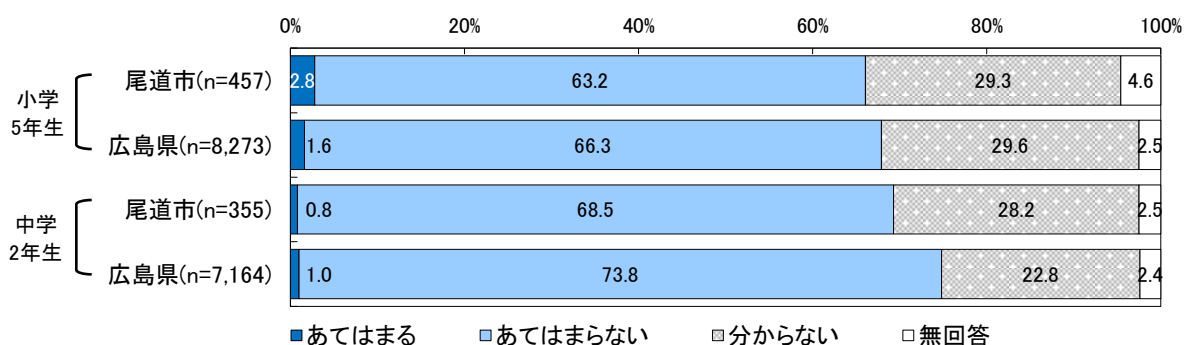
(あてはまるもの1つに○)

【自身の「ヤングケアラー」への該当状況】



自身の「ヤングケアラー」への該当状況について、「あてはまる」と回答した割合が全体で2.0%、小学5年生で2.8%、中学2年生で0.8%となっている。

【自身の「ヤングケアラー」への該当状況（広島県・国との比較）】

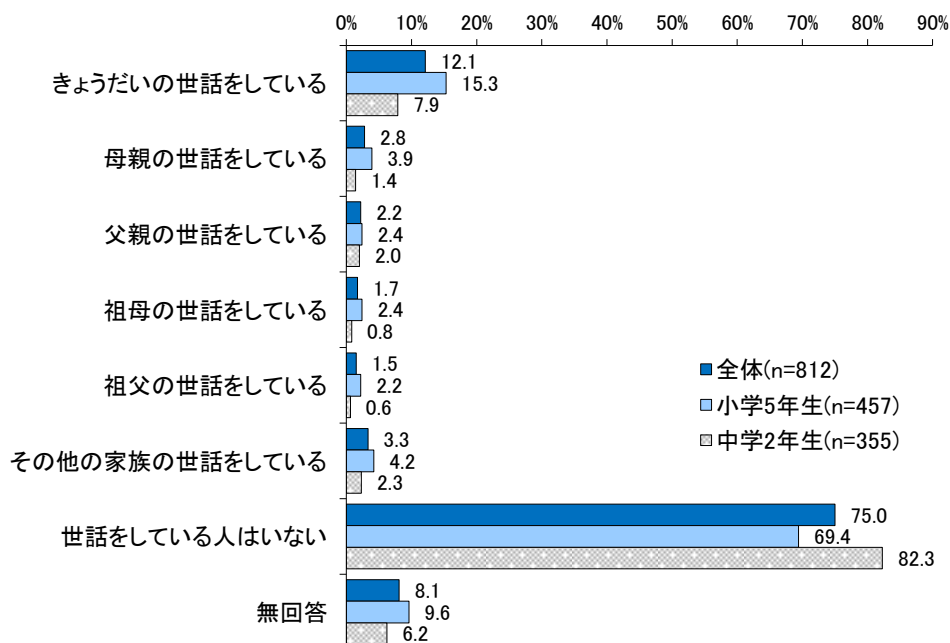


広島県と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、『あてはまる』と回答した割合に、大きな差はみられない。

### (3) 家族の中での世話が必要な人の有無

問 23 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

【家族の中での世話が必要な人の有無】



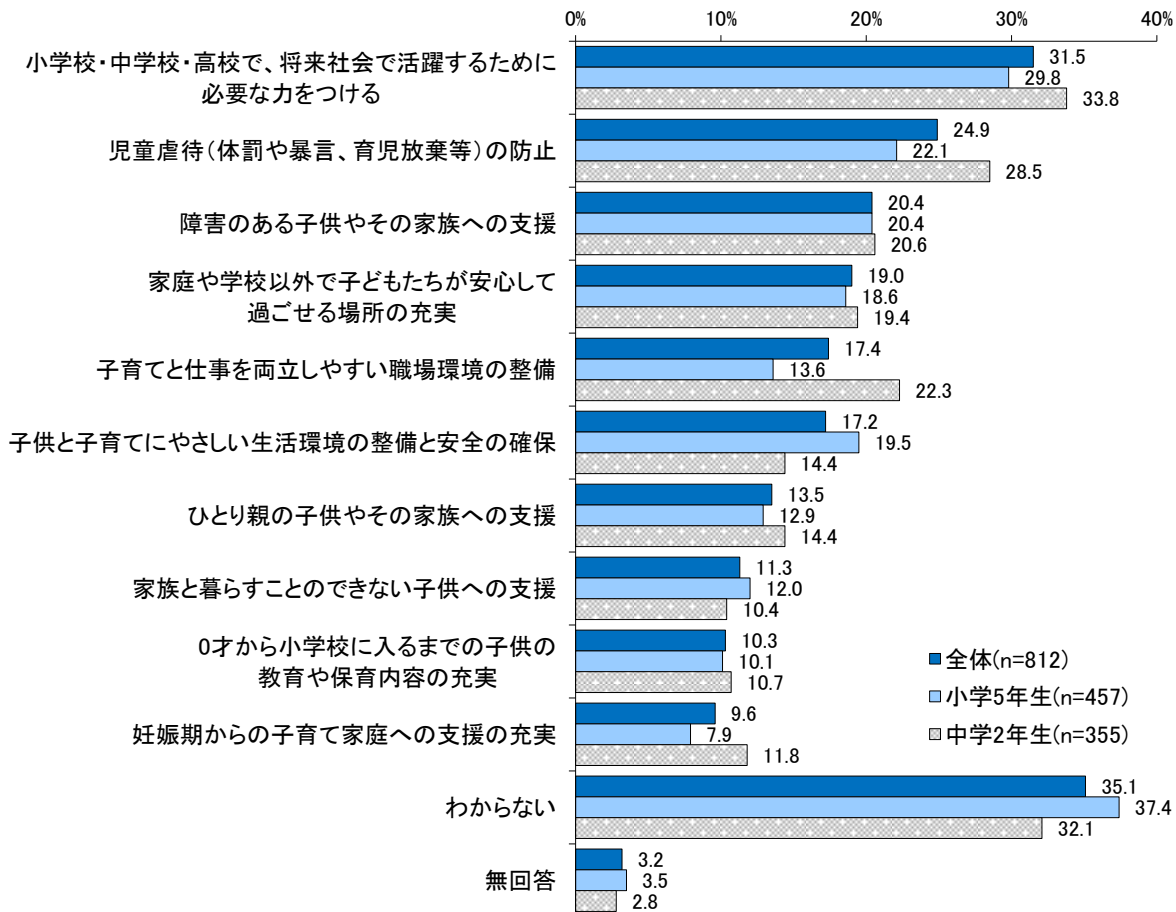
家族の中での世話が必要な人の有無について、「きょうだいの世話をしている」と回答した割合が全体で12.1%、小学5年生で15.3%、中学2年生で7.9%となっている。

また、「世話をしている人はいない」と回答した割合が全体で75.0%、小学5年生で69.4%、中学2年生で82.3%となっている。

## 12 子供に関する取組で力を入れてほしいこと

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（あてはまるもの上位3つまでに○）

【子供に関する取組で力を入れてほしいこと】



子供に関する取組で力を入れてほしいことについて、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」と回答した割合が全体で31.5%、小学5年生で29.8%、中学2年生で33.8%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」と回答した割合が全体で24.9%、小学5年生で22.1%、中学2年生で28.5%となっている。